Canon

レーザビームプリンタ

LASER SHOT
LBP-1610

ＬＩＰＳ機能ガイド

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

マニュアルの構成について

キヤノンLASER SHOT LBP-1610をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
本プリンタには、次のようなマニュアルが用意されています。目的に応じてマニュアルをお読みいただき、本プリンタを十分にご活用ください。また、マニュアルはお読みいただいた後も、大切に保管しておいてください。

本体添付のマニュアル

プリンタを設置したい
プリンタの操作方法を知りたい
困ったときには
→ **ユーザーズガイド**

プリンタドライバをインストールしたい
印刷したい
添付ソフトウェアの使いかたを知りたい
→ **LIPSソフトウェアガイド**

より詳しく知りたい
→ **LIPS機能ガイド**（本書）

操作パネルによるメニュー機能の使いかたなどを解説しています。プリンタが持つ機能に関するリファレンス的なマニュアルです。

その他のマニュアル

＊別売のマニュアルやオプション品のお求めについては販売店にご相談ください。

プログラマーズマニュアル（別売）

LIPS対応のプリンタドライバや印刷設定プログラムなどを作成するための、プログラマー用のマニュアルです。

オプション品のマニュアル

各オプション品の設置のしかたや使いかたを説明しています。

LIPS機能ガイドの使いかた

●本マニュアルの巻末に、各機能のメニューが一目で理解できる「メニュールートマップ」が添付されています。各メニューの設定項目や内容を知りたいときに参考にしてください。

●本プリンタに付属のソフトウェア「NetSpot」を使い、パソコンからリモートでプリンタを設定する場合は、添付の『LIPSソフトウェアガイド』もお読みください。

目次

第1章　メニュー機能とは

第2章　メニュー機能の使いかた

第3章　共通セットアップメニューの設定

第4章　LIPS専用セットアップメニューの設定

第5章　N201専用セットアップメニューの設定

第6章　ESC/P専用セットアップメニューの設定

第7章　セットアップ以外のメニューの設定

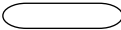
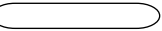
付録A

付録B

巻末

本書の読みかた

マークについて

本書では、操作するうえでの制限や参考にしていただきたい事の説明には、次のようなマークを付けています。

●操作上必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。機械の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。

●操作の参考になることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キーの表記について

本書の説明文中で、操作パネルのキーを表すときは、キーの名称を（　　　）の枠で囲んでいます。

＜例＞（オンライン）　：　操作パネルの「オンライン」キーを表しています。

略称について

EUC は、Extended Unix Code の略称です。
本書では Microsoft® Windows® を Windows と表記しています。

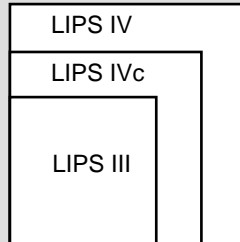
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は，家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本プリンタが対応しているコントロールコマンドについて

●３種類のコントロールコマンドに標準対応

本プリンタは標準でLIPS、N201エミュレーションコマンド、ESC/Pエミュレーションコマンドの３種類のコントロールコマンドに対応しています。
コントロールコマンドとは､プリンタを制御するためのコマンド体系のことで､パソコンからのデータをプリントするという一連の作業は、すべてパソコンから送られてくるコントロールコマンドによって指示されています。

本プリンタが標準で対応している３種類のコントロールコマンドのうち、LIPS は、LBP Image Processing System の略で、キヤノンのページプリンタをコントロールするためのコマンド体系です。
N201 エミュレーションコマンドは日本電気（株）の PC-PR201/80A プリンタを、ESC/P エミュレーションコマンドは ESC/P 準拠プリンタをエミュレートする（まねをする）コマンドです。

LIPS には、現在 LIPS II、LIPS II⁺、LIPS III、LIPS IVc、LIPS IV のバージョンがあります。これらのうち本プリンタでは、LIPS II⁺、LIPS III、LIPS IV に対応しています。

＊ LIPS II⁺対応アプリケーションソフトを使用する場合、従来のレーザショットシリーズで行ったプリントとは解像度が異なります。
＊LIPS IVc対応アプリケーションソフトからも本プリンタでプリントすることができますが、カラープリントはできません。また、解像度の違いにより、プリント結果の見た目も異なります。

＊本プリンタを IBM5577、FMPR359、N5273 などの標準プリンタとしてエミュレートさせることもできます。この場合、オプションのコントロール ROM が必要です。

●コントロールコマンドごとの動作モード

それぞれのコントロールコマンドを認識してプリントできる状態にするには、「動作モード」を各コントロールコマンドに対応させる必要があります。LIPSのコントロールコマンドでデータを受け取ってプリントできる状態にするには「LIPS モード」、N201 のコントロールコマンドでデータを受け取ってプリントできる状態にするには「N201 エミュレーションモード」、ESC/Pのコントロールコマンドでデータを受け取ってプリントできる状態にするには「ESC/P エミュレーションモード」に切り替えます。
本プリンタでは、操作パネルのメニュー機能を使って動作モードを切り替えたり、プリントするときの環境を設定することができます。
詳しくは「メニュー機能とは」P.2 をご覧ください。

第 1 章

メニュー機能とは

1 メニュー機能とは

メニュー機能とは

プリント時にはプリント枚数や用紙サイズなどを設定します。これらの一般的な設定は、通常はアプリケーションソフトやプリンタドライバで行います。
しかし、本プリンタには、プリント枚数や用紙サイズ設定などのほかにも多数の設定項目が用意されており、用途に応じて設定しプリントできます。本プリンタの設定項目の中には、アプリケーションソフトやプリンタドライバで設定できないものもあり、その場合は「メニュー機能」で設定します。
メニュー機能では、多数の設定項目が目的別にメニューの形式でまとめられているので、設定がしやすくなっています。
メニュー機能を設定する方法には次の2種類があります。

プリンタ前面の操作パネルで設定する方法
　プリンタのディスプレイの表示を見ながらキーを押して操作します。

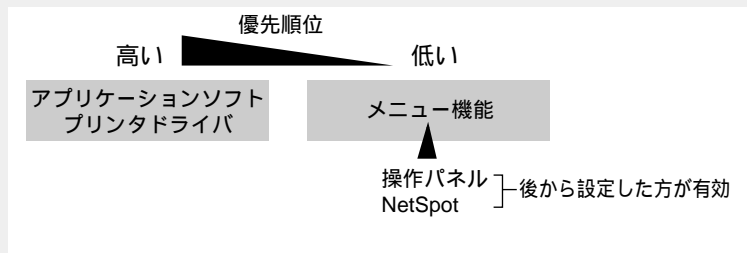
本プリンタに付属のソフトウェア「NetSpot」で設定する方法
　操作パネルで行う設定とほぼ同様の設定が、パソコン側から行うことができます。

本書では操作パネルでメニュー機能を設定する場合に限って説明します。「NetSpot」で設定する方法については「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

メモ

●メニュー機能の設定内容は、通常は電源を切っても消えないメモリ（NVRAM）に登録されます。したがって電源を入れ直しても、電源を切る前と同じ設定で起動します。

▶設定の優先順位

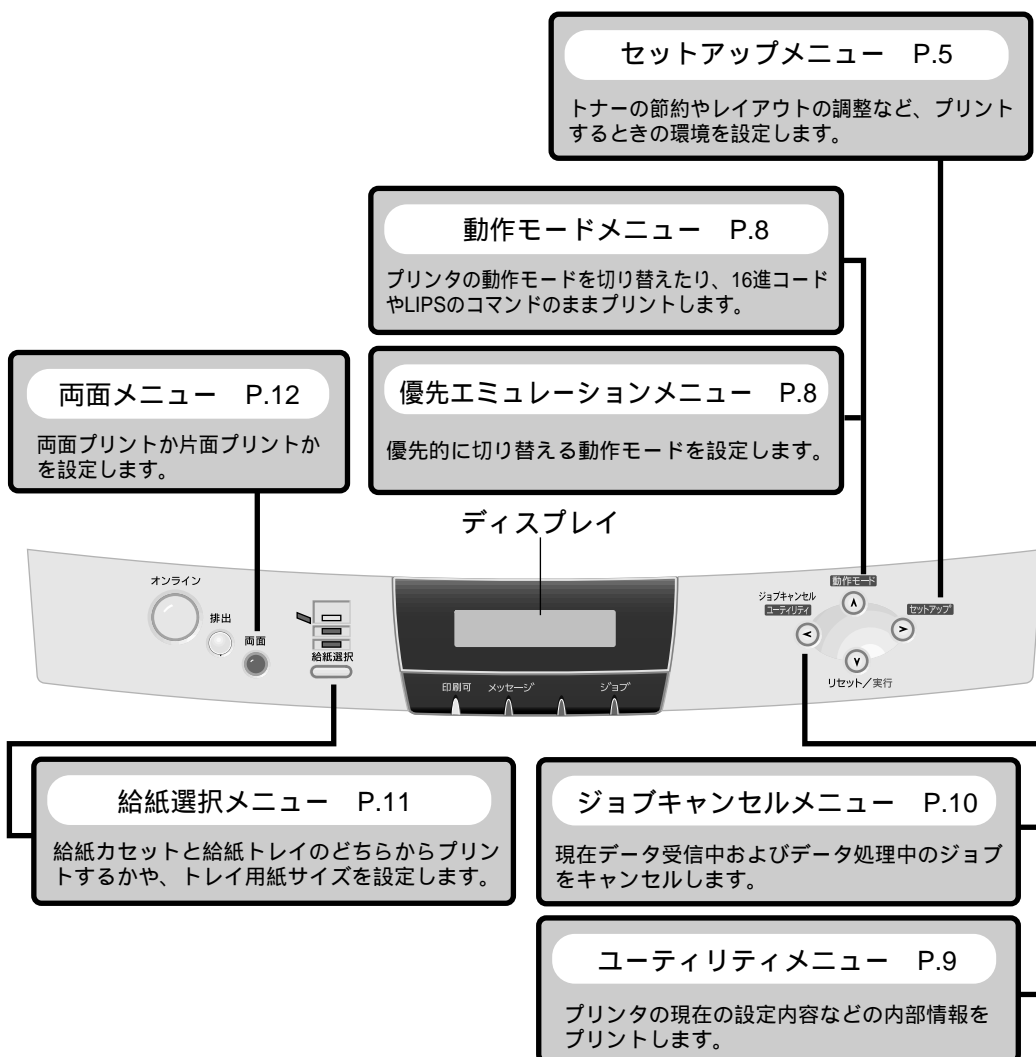
メニュー機能とアプリケーションソフトやプリンタドライバとで、同じ設定項目がある場合には、アプリケーションソフトやプリンタドライバで設定した内容のほうが有効になります。また、メニュー機能にしかない項目を、操作パネルで行う場合とNetSpotで行う場合では、後から設定した方の内容が有効になります。

＊プリンタドライバやNetSpotは、本プリンタに付属しています。操作については、「LIPSソフトウェアガイド」をご覧ください。

＊設定項目によっては、プリンタの電源を入れ直すか、ハードリセットを行ったときに有効になるものもあります。

メニューの種類

メニューには次の7種類があります。

- **セットアップメニュー**
- **動作モードメニュー**
- **優先エミュレーションメニュー**
- **ユーティリティメニュー**
- **ジョブキャンセルメニュー**
- **給紙選択メニュー**
- **両面メニュー**

それぞれのメニューは、プリンタをオフラインにした状態で操作パネルの以下のキーを押して、ディスプレイに表示します。

2 メニューの機能と構造

セットアップメニューの機能と構造

ここでは、セットアップメニューの機能とメニュー構造について説明します。操作の方法については、「メニューの操作の流れ」P.18～P.31をご覧ください。

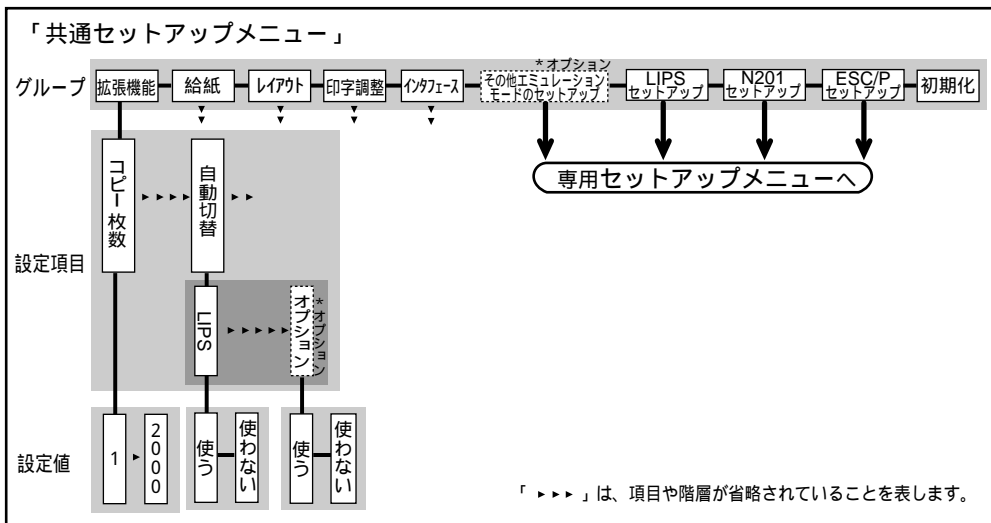
●セットアップメニューの機能

プリンタをオフライン状態にして、操作パネルの（セットアップ）キーを押すと、ディスプレイにセットアップメニューが表示されます。
セットアップメニューでは、印字する位置や文字の種類、パソコンと接続するときのインタフェースの設定などをはじめ、さまざまなプリント環境を設定することができます。
通常、プリント環境は、接続しているパソコンのアプリケーションソフトで設定できます。しかし、中にはインタフェースの設定など、プリンタのセットアップメニューでしか行えないものもあります。また、印刷条件を設定できないアプリケーションソフトを使用しているときや、MS-DOSのコマンドでテキストファイルを直接プリントするときなども、プリンタのセットアップメニューでプリント環境を設定します。

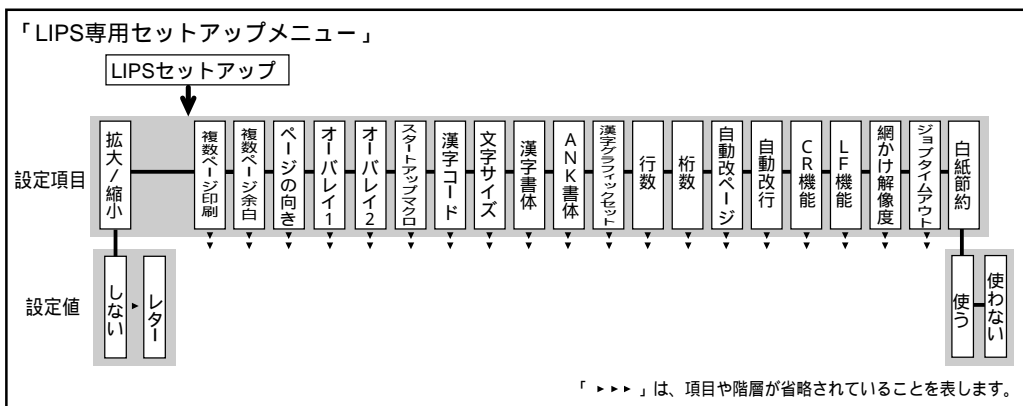
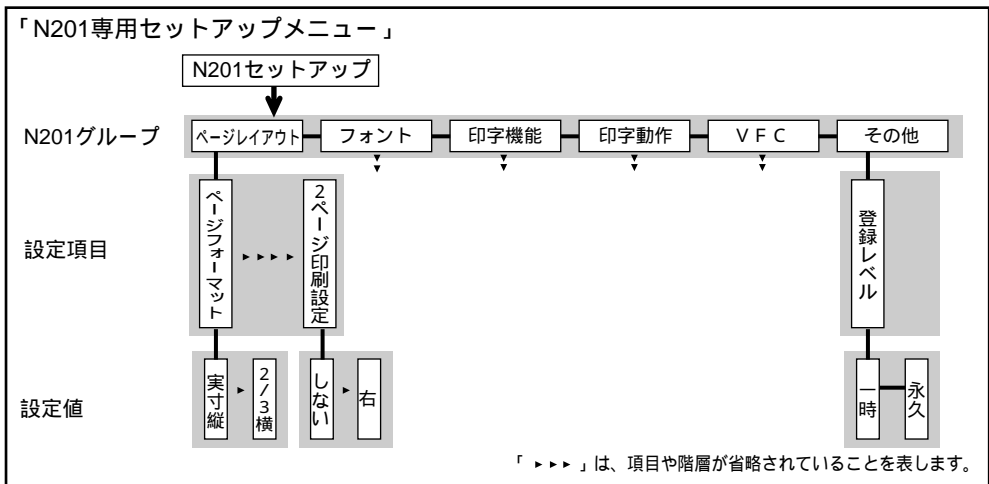
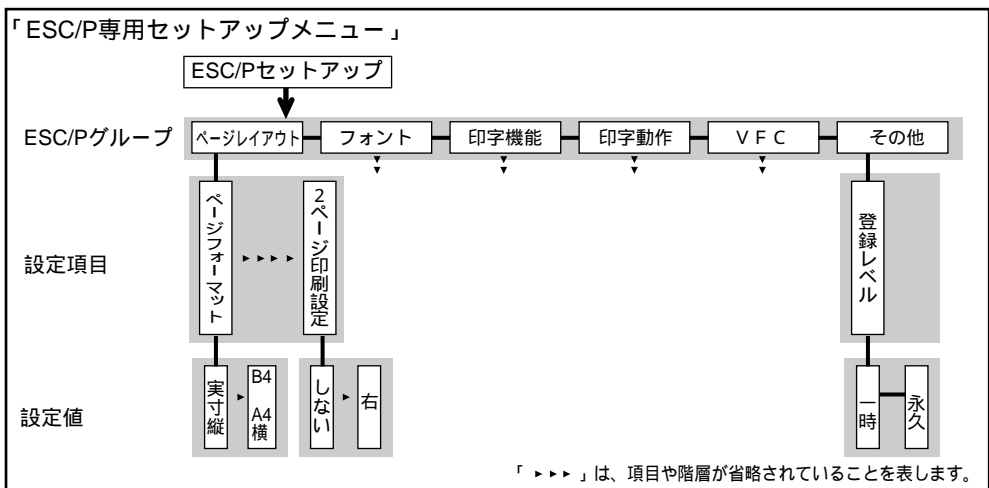
本プリンタでは、LIPS、N201エミュレーション、ESC/Pエミュレーションの３種類の動作モードが標準で内蔵されています。
セットアップメニューには、どの動作モードを使用していても有効な項目を設定する「共通セットアップメニュー」と、それぞれの動作モード個別の項目を設定する「専用セットアップメニュー」があります。
詳しい項目の内容については以下をご覧ください。

「第３章　共通セットアップメニューの設定」→P.33
「第４章　LIPS専用セットアップメニューの設定」→P.65
「第５章　N201専用セットアップメニューの設定」→P.81
「第６章　ESC/P専用セットアップメニューの設定」→P.103

●セットアップメニューの構造

共通セットアップメニューは「グループ」「設定項目」「設定値」の３つの階層に分かれています。グループは、いくつかの設定項目が機能別にまとめられたもので、その中から設定項目を選び、設定項目ごとに設定値が選択できる構造になっています。
グループの階層で「LIPSセットアップ」「N201セットアップ」「ESC/Pセットアップ」のいずれかを選択すると、それぞれの専用セットアップメニューに移行します。

- 上図の「拡張機能」グループの「自動切替」のように、設定項目の階層が２つに分かれているものや、「初期化」のように階層が１つだけのものもあります。
- 動作モードメニューで、特定の動作モード（LIPS など）に設定した場合は、選択した動作モード以外の専用セットアップメニューに移行することはできません。
- 点線枠の項目は、オプションのコントロール ROM を装着している場合のみ、追加して表示され、選択できるようになります。オプションエミュレーションの専用セットアップメニューについては、オプションのコントロール ROM のマニュアルをご覧ください。

共通セットアップメニューのグループの階層で「LIPS セットアップ」を選択すると、LIPS 専用セットアップメニューに移行します。

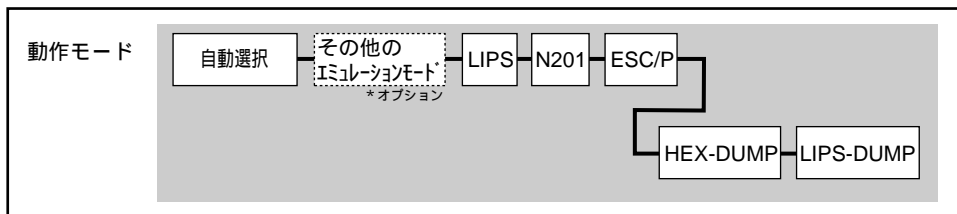
LIPS 専用セットアップメニューは、「設定項目」と「設定値」の２つの階層に分かれています。

共通セットアップメニューのグループの階層で「N201セットアップ」を選択すると、N201専用セットアップメニューに移行します。
N201専用セットアップメニューは、「N201グループ」「設定項目」「設定値」の３つの階層に分かれています。

共通セットアップメニューのグループの階層で「ESC/Pセットアップ」を選択すると、ESC/P専用セットアップメニューに移行します。
ESC/P専用セットアップメニューは、「ESC/Pグループ」「設定項目」「設定値」の３つの階層に分かれています。

動作モードメニューの機能と構造

ここでは、動作モードメニューの機能とメニュー構造について説明します。操作の方法については、「動作モードメニューの操作の流れ」P.24をご覧ください。

●動作モードメニューの機能

プリンタをオフライン状態にして、操作パネルの（動作モード）キーを押すと、ディスプレイに動作モードメニューが表示されます。
動作モードメニューでは、お使いのアプリケーションソフトで選択したプリンタの種類に合わせて、LIPSモードで動作するのか、N201やESC/Pなどのエミュレーションモードで動作するのかを設定することができます。しかし工場出荷時の設定で自動的に切り替わるようになっているので、通常はこの設定を変える必要はありません。また、データを文字や図形に変換せずに16進コードやLIPSのコントロールコマンドの状態でプリントするダンプモードに切り替えることもできます。
詳しい項目の内容については「動作モードメニューを設定する」P.124をご覧ください。

●動作モードメニューの構造

動作モードメニューの階層は１つです。

●点線枠の項目は、オプションのコントロールROMを装着している場合のみ、追加して表示され、選択できるようになります。

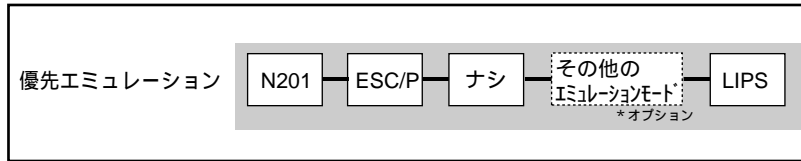
優先エミュレーションメニューの機能と構造

ここでは、優先エミュレーションメニューの機能とメニュー構造について説明します。操作の方法については、「優先エミュレーションメニューの操作の流れ」P.25をご覧ください。

●優先エミュレーションメニューの機能

プリンタをオフライン状態にして、操作パネルの（動作モード）キーを約３秒以上押すと、ディスプレイに優先エミュレーションメニューが表示されます。
優先エミュレーションメニューでは、動作モードの自動切り替えを設定した状態で、プリンタがコントロールコマンドを識別できなかった場合に、優先的に切り替える「優先エミュレーション」を設定しておくことができます。
詳しい項目の内容については「優先エミュレーションメニューを設定する」P.127をご覧ください。

●優先エミュレーションメニューの構造

優先エミュレーションメニューの階層は１つです。

●点線枠の項目は、オプションのコントロールROMを装着している場合のみ、名前が追加して表示され、選択できるようになります。

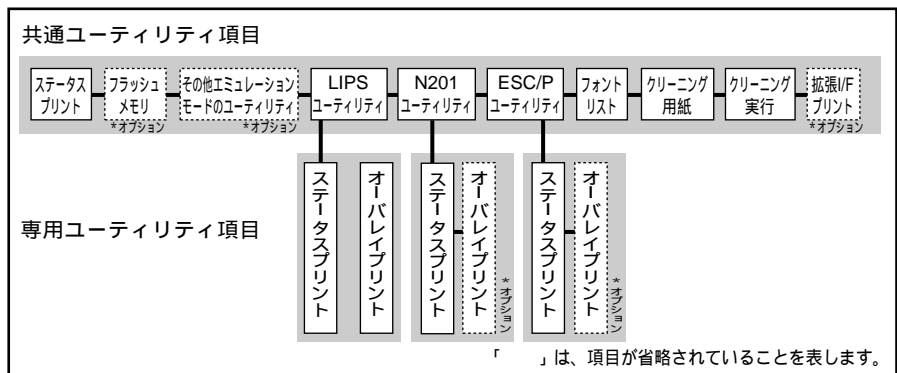
ユーティリティメニューの機能と構造

ここでは、ユーティリティメニューの機能とメニュー構造について説明します。操作の方法については、「ユーティリティメニューの操作の流れ」P.26をご覧ください。

●ユーティリティメニューの機能

プリンタをオフライン状態にして、操作パネルの（ユーティリティ）キーを押すと、ディスプレイにユーティリティメニューが表示されます。
ユーティリティメニューでは、セットアップメニューの設定内容や、搭載されているフォントなどの情報をプリントして確認することができます。
詳しい項目の内容については「ユーティリティメニューを設定する」P.128をご覧ください。

●ユーティリティメニューの構造

ユーティリティメニューは、LIPS、N201エミュレーション、ESC/Pエミュレーションなどの各動作モードに共通して選択できる「共通ユーティリティ項目」と、各動作モードごとに選択する「専用ユーティリティ項目」の２つの階層に分かれています。

●点線枠の項目は、オプションのフラッシュメモリやコントロールROMを装着している場合のみ、追加して表示され、選択できるようになります。
●動作モードメニューで、特定の動作モード（LIPSなど）に設定した場合は、選択した動作モード以外の専用ユーティリティ項目を設定することはできません。

ジョブキャンセルメニューの機能

ここでは、ジョブキャンセルメニューの機能について説明します。操作の方法については、「ジョブキャンセルメニューの操作の流れ」P.28をご覧ください。

●ジョブキャンセルメニューの機能

ジョブキャンセルメニューを使うと、データ受信中およびデータ処理中のジョブだけをキャンセルすることができます。
キャンセルしたいジョブの処理中にプリンタをオフライン状態にし、操作パネルの（ジョブキャンセル）キーを押すと、ジョブキャンセル処理が開始されます。

メモ

●本プリンタ専用でないプリンタドライバから送信されたデータが混在している場合、複数のデータがキャンセルされることがあります。

●ジョブキャンセルの処理は、約2秒間行われます。この間にデータの受信を完了しなかった場合、ジョブスキップ処理に移行します。ジョブキャンセル処理が開始されると、ディスプレイに「03　ジョブ　キャンセル」と表示され、この状態（ジョブキャンセル状態）ではリセット処理はできません。

●ジョブスキップ処理に時間がかかり、ジョブスキップを途中で中止したいときは、リセット処理を行ってください。ジョブスキップ状態に移行すると、ディスプレイに「00　ジョブ　スキップ」と表示され、この状態（ジョブスキップ状態）でリセット処理が行えるようになります。

→ユーザーズガイド第6章「現在実行中の処理を中止する（ソフトリセット）」「すべての作業を中止する（ハードリセット）」

●すでにデータ処理が終わり印刷処理中のデータは、キャンセルできません。その場合、その次のプリントデータがキャンセルされることがありますので、ご注意ください。

●オフライン状態で、かつジョブランプが消灯している場合、（ジョブキャンセル）／（ユーティリティ）キーは、（ユーティリティ）キーとして動作します。

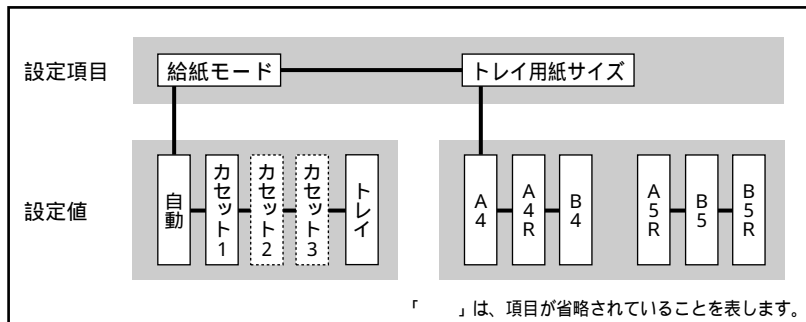
給紙選択メニューの機能と構造

ここでは、給紙選択メニューの機能とメニュー構造について説明します。操作の方法については、「給紙選択メニューの操作の流れ」P.29をご覧ください。

●給紙選択メニューの機能

プリンタをオフライン状態にして、操作パネルの（給紙選択）キーを押すと、給紙選択メニュー、トレイ用紙サイズ選択メニューのいずれかをディスプレイで選ぶことができます。
給紙モードでは、どの給紙カセットまたは給紙トレイからプリントするかを選択できます。選択後、操作パネル上の該当する位置の給紙元表示ランプが点灯します。
トレイ用紙サイズでは、給紙トレイにセットして使う用紙のサイズを設定します。給紙トレイは自動的に用紙のサイズを検知できないので、本メニューで用紙のサイズを設定する必要があります。
詳しい項目の内容については「給紙選択メニューを設定する」P.132をご覧ください。

●給紙選択メニューの構造

給紙選択メニューは、「設定項目」「設定値」の2つの階層に分かれています。

「給紙トレイにセットした用紙サイズを設定する」→P.40

メモ

- **トレイ用紙サイズは、共通セットアップメニューの給紙グループの「トレイヨウシサイズ」でも同様の設定ができます。**
- **点線枠の項目は、オプションのペーパーフィーダPF-62（250枚用）またはPF-62K（500枚用）を装着している場合のみ、追加して表示され、選択できるようになります。**

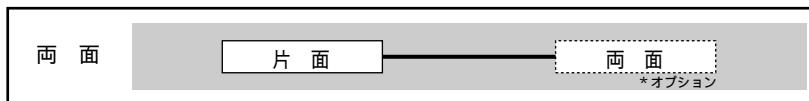
両面メニューの機能と構造

ここでは、両面メニューの機能とメニュー構造について説明します。操作の方法については、「両面メニューの操作の流れ」P.31をご覧ください。

●両面メニューの機能

オプションの両面ユニットが装着されている場合は、両面メニューで両面プリントの設定をすることができます。
両面メニューはディスプレイには表示されません。プリント可能な状態からオフラインにしたときに、（両面）キーを押して両面ランプを点灯させたり消灯させたりすることで、両面プリントと片面プリントの設定をします。両面ランプが点灯した場合は両面印刷、消灯した場合は片面印刷の設定です。
両面ユニットが装着されていないとき、（両面）キーを押しても両面ランプは点灯せず、ブザーが１回鳴ります。
詳しい項目の内容については「両面メニューを設定する」P.135をご覧ください。

●両面メニューの構造

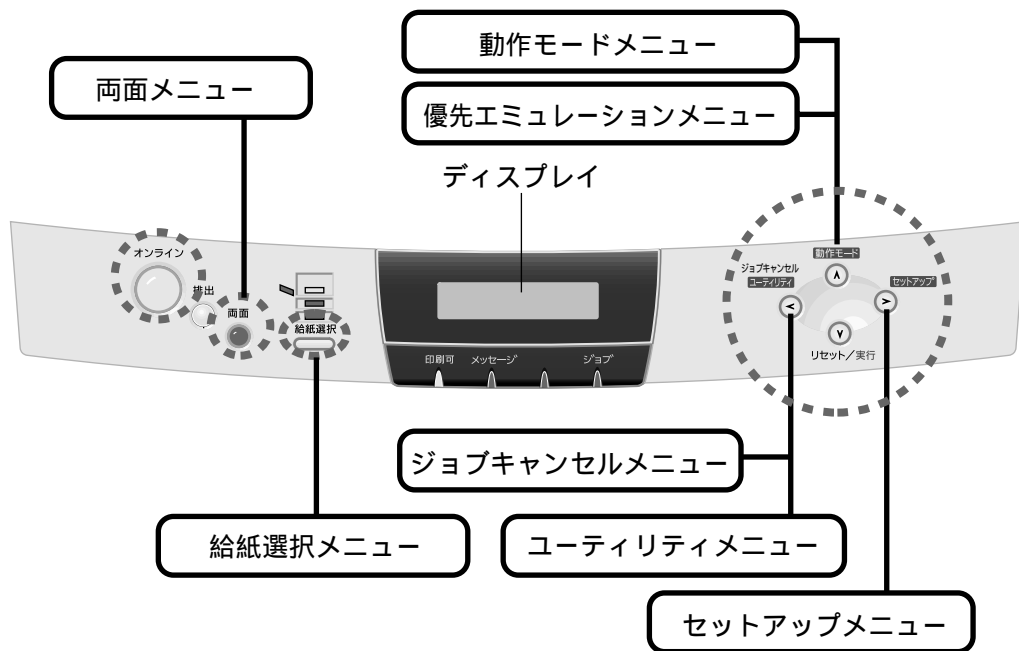
両面メニューの階層は１つです。

→ユーザーズガイド「オプションについて」

●両面プリントを行う場合は、オプションの両面ユニット DU-62が必要です。
●A3、B4、A4、A4R（A4縦）、B5、A5、LD（レジャー）、LG（リーガル）、LT（レター）、EX（エグゼクティブ）サイズの用紙にのみ給紙カセットまたは給紙トレイから両面プリントが行えます。（ただし、LTR（レター縦）を使って両面プリントする場合、給紙トレイおよびオプションの500枚カセットからのみ可能。）上記以外のサイズの用紙には両面プリントは行えません。また、A5サイズより小さな用紙にも両面プリントは行えません。
●A5サイズの用紙を両面プリントすると、表面の用紙端の部分のプリント結果が不鮮明になる場合がありますので、ご注意ください。
●両面プリントを行う場合は、１ページ目がプリントされる用紙面が片面プリントのときとは逆になります。カセット給紙の場合は、セットした用紙の表面が１ページ目になり、トレイ給紙の場合は、セットした用紙の裏面が１ページ目になります。ロゴ入りの用紙などをセットするときにはご注意ください。

第 2 章

メニュー機能の使いかた

1 操作キーの使いかた

メニューの操作には、以下の点線で囲まれたキーを使います。
それらのうち、(動作モード)キー、(セットアップ)キー、(ユーティリティ)／(ジョブキャンセル)キー、(給紙選択)キーには、メニューを表示する機能があります。

＊(動作モード)キー、(ユーティリティ)／(ジョブキャンセル)キーには複数のメニューが割り当てられています。キーを押す時間の長さやプリンタの状態によって表示するメニューが決まります。

メモ

●(ユーティリティ)／(ジョブキャンセル)キーは、オフライン状態で有効ですが、ジョブランプが消灯した状態では(ユーティリティ)キーとして、ジョブランプが点灯または点滅した状態（ジョブのデータ処理中またはデータ受信中）では(ジョブキャンセル)キーとしてはたらきます。

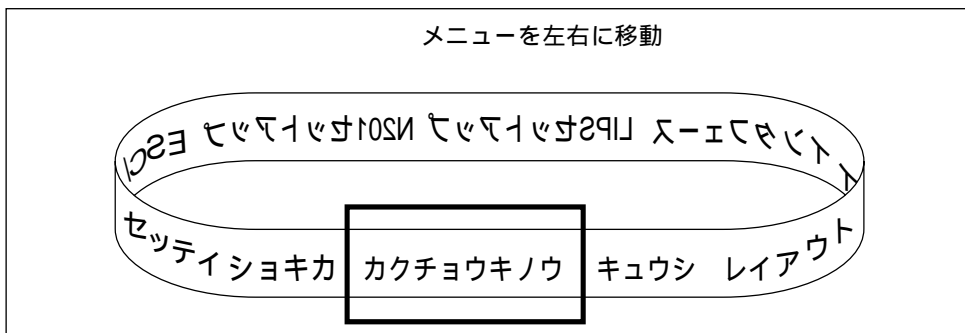
＊両面メニューはディスプレイには表示されません。両面ランプを点灯させたり（両面時）消灯させたり（片面時）することで、両面／片面プリントの設定を行います。両面プリントを行う場合は、オプションの両面ユニット DU-62 が必要です。

各キーの機能は次のとおりです。

キー	機能	
オンライン	オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。メニューの操作は、すべてこのキーを押してオフライン状態に切り替えてから行います。キーが点灯しているときがオンライン状態、消灯しているときがオフライン状態です。 本文中では（オンライン）キーと表記します。	
	オフライン状態に切り替えた直後	**メニューの表示中**
セットアップ ＞	セットアップメニューを表示します。本文中では（セットアップ）キーと表記します。	同じ階層の右側の項目を表示します。項目が数値の場合は数値が増えます。そのまま押し続けると、数値の増す速度が速くなる項目もあります。本文中では（＞）キーと表記します。
動作モード ∧	動作モードメニューまたは優先エミュレーションメニューを表示します。本文中では（動作モード）キーと表記します。	上の階層の項目を表示します。本文中では（∧）キーと表記します。
ジョブキャンセル ユーティリティ ＜	ジョブランプが消灯している状態のときは、ユーティリティメニューを表示します。本文中では（ユーティリティ）キーと表記します。 ジョブランプが点灯・点滅している状態（データ処理中・データ受信中）のときは、現在処理中のジョブをキャンセルします。本文中では（ジョブキャンセル）キーと表記します。	同じ階層の左側の項目を表示します。項目が数値の場合は数値が減ります。そのまま押し続けると、数値の減る速度が速くなる項目もあります。本文中では（＜）キーと表記します。
∨ リセット／実行	1秒以上押すと、ソフトリセットを行います。 5秒以上押すと、ハードリセットを行います。本文中では（リセット／実行）キーと表記します。	選択した項目を実行します。または次の階層に進みます。本文中では（∨）キーと表記します。
排出	用紙を強制的に排出します。本文中では（排出）キーと表記します。	
給紙選択	給紙選択メニューを表示します。本文中では（給紙選択）キーと表記します。	
両面	両面プリントの設定ができます。両面プリントの設定になっているときは、このキーが点灯します。本文中では（両面）キーと表記します。	

2 ディスプレイの見かた

メニューの構造

メニューは下の図のように、１つのつながった輪のような構造（ループ構造）になっており、この輪の中の一項目がディスプレイに表示されています。したがって、<キーや>キーを押して、同じ方向に続けてメニューを移動すると、最初の項目が再び表示されます。
メニューは、階層ごとにそれぞれ別のループ構造になっています。

メニュー操作に入れる状態

プリント可能な状態のときに、オフライン状態にしてメニュー操作を行うことができます。
プリント可能な状態とは、次の２つの条件を満たしている状態です。

1. ジョブランプとメッセージランプが消灯している
2. ディスプレイに「00　■■■■」のメッセージが表示されている

例）
動作モードが自動選択の場合のプリント可能表示

００　インサツ　カノウ　　　Ａ４

LIPS モードの場合のプリント可能表示

００　ＬＩＰＳ　　　　　　　Ａ４

N201エミュレーションモードの場合のプリント可能表示

```
00　N201　　　　　A4
```

ESC/Pエミュレーションモードの場合のプリント可能表示

```
00　ESC／P　　　　A4
```


ディスプレイの見かた

ディスプレイは上下2段表示になっています。上の段には前の階層で選択した項目が、下の段には現在の階層内で選択できる項目が表示されます。
同じ階層の中で他に選択できる項目がある場合は、ディスプレイの右端に「→」が表示されます。

```
カクチョウ　キノウ
コピーマイスウ　　　　→
```

現在の階層の下にさらに階層がある場合は、ディスプレイの右端に「↓」が表示されます。

```
カクチョウ　キノウ
コピーマイスウ　　　　↓
```

他に選択できる項目と、下の階層が同時にある場合は「→」と「↓」が交互に表示されます。

表示中の設定値がこれまでメモリ（NVRAM）に記憶されていた設定と同じ場合は、ディスプレイの左端に「＝」が表示されます。

```
コピーマイスウ
＝1　　　　　　　　　→
```

3 メニューの操作の流れ

共通セットアップメニューの操作の流れ

「セットアップメニューの機能と構造」→P.5

共通セットアップメニューには、「グループ」「設定項目」「設定値」の３つの階層があります。
それぞれの階層で目的の項目を選択します。

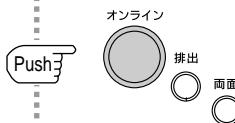
メモ

●下図のディスプレイの表示は、印字調整グループの解像度の項目を「クイック」に設定する場合を例にしています。

オフライン状態にする

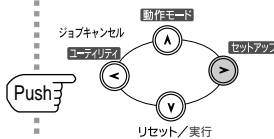
オンライン キーを押して、キーを消灯させます。

プリント可能な状態のときに、オフライン状態にします。プリント可能な状態とは、「00 ■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。

セットアップメニューを表示する

セットアップ キーを押します。

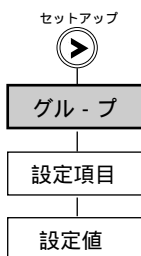
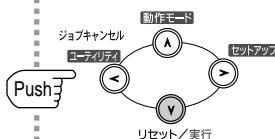
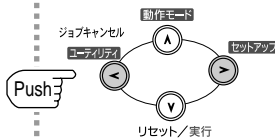
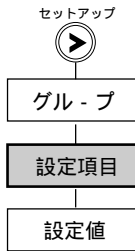
セットアップメニューが表示されます。

セットアップ
カクチョウ　キノウ　→

グループを選択する

セットアップ
グループ
設定項目
設定値

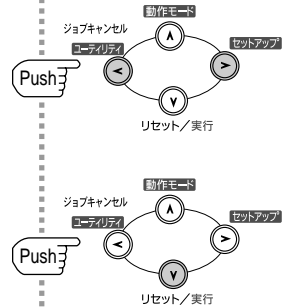
1．目的のグループを表示します。
< キーまたは > キーを押します。
ここでは「インジ　チョウセイ」を表示します。

セットアップ
インジ　チョウセイ　→

2．下の階層へ進みます。
∨ キーを押します。

設定項目を選択する

1．目的の設定項目を表示します。
＜キーまたは＞キーを押します。
ここでは「カイゾウド」を表示します。

インジ　チョウセイ
カイゾウド　→

2．下の階層へ進みます。
∨キーを押します。

設定値を選択する

1．目的の設定値を表示します。
＜キーまたは＞キーを押します。
ここでは「クイック」を表示します。

カイゾウド
　クイック　→

2．設定値を確定します。
∨キーを押します。
▶この操作をしないと、設定は変更されません。

オンライン状態に戻す

オンラインキーを押して、キーを点灯させます。

メモ

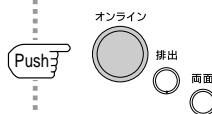
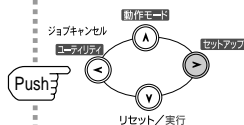
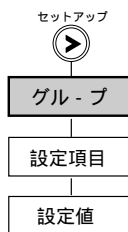
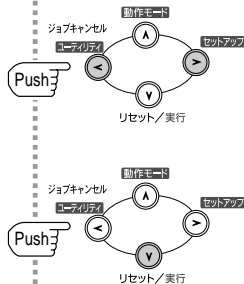
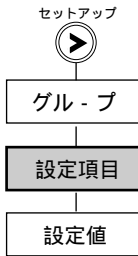
- **操作の途中で１つ前の階層に戻るには、∧キーを押します。**
- **途中で操作を中止したいときは、オンラインキーを押します。メニューのどの階層を表示していても、オンライン状態に戻ります。**
- **グループの階層で、「LIPS セットアップ」「N201 セットアップ」「ESC/P セットアップ」を選択した場合は、「LIPS 専用セットアップメニューの操作の流れ」P.20、「N201,ESC/P 専用セットアップメニューの操作の流れ」P.22 をご覧ください。**
- **項目によっては、設定項目の階層が２つまたは3つ以上の階層に分かれている場合があります。「初期化」の機能は、グループの下の階層がありません。初期化の操作の方法については「セットアップメニューの設定を工場出荷状態に戻す」P.64 をご覧ください。**
- **以下の設定項目は設定値として数値を指定します。その場合＞キーを押すと数値が増え、＜キーを押すと数値が減ります。また、＞キーや＜キーを押し続けていると、数値の加減速度が早くなります。**
  - **拡張機能グループの「コピー枚数」「タイムアウト」**
  - **レイアウトグループの「縦補正」「横補正」「綴じ幅」**

LIPS専用セットアップメニューの操作の流れ

「セットアップメニューの機能と構造」→P.5

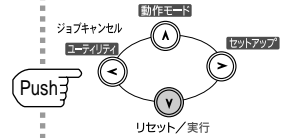
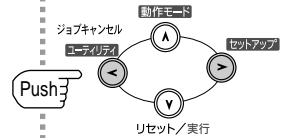
共通セットアップメニューの「グループ」の階層で「LIPS セットアップ」を選択すると、LIPS 専用セットアップメニューを表示できます。
LIPS 専用セットアップメニューは「設定項目」と「設定値」の２つの階層があります。
それぞれの階層で目的の項目を選択します。

メモ

●下図のディスプレイの表示は、拡大／縮小の項目を「→ A4」に設定する場合を例にしています。

設定項目を選択する

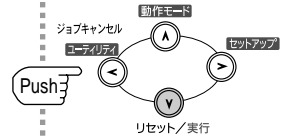
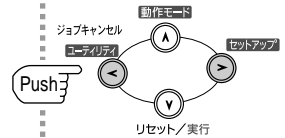
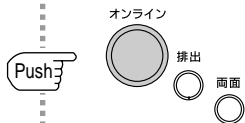
1．目的の設定項目を表示します。
＜キーまたは＞キーを押します。
ここでは「カクダイ／シュクショウ」を表示します。

LIPS　セットアップ
カクダイ／シュクショウ　→

2．下の階層へ進みます。
∨キーを押します。

設定値を選択する

1．目的の設定値を表示します。
＜キーまたは＞キーを押します。
ここでは「→A4」を表示します。

カクダイ／シュクショウ
→A4　→

2．設定値を確定します。
∨キーを押します。
▶ この操作をしないと、設定は変更されません。

オンライン状態に戻す

キーを押して、キーを点灯させます。

メモ

- **操作の途中で１つ前の階層に戻るには、∧キーを押します。**
- **途中で操作を中止したいときは、オンラインキーを押します。メニューのどの階層を表示していても、オンライン状態に戻ります。**
- **以下の設定項目は設定値として数値を指定します。その場合＞キーを押すと数値が増え、＜キーを押すと数値が減ります。また、＞キーや＜キーを押し続けていると、数値の加減速度が早くなります。**
  「オーバレイ1、2」「スタートアップマクロ」「行数」「桁数」

N201,ESC/P専用セットアップメニューの操作の流れ

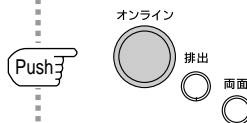
「セットアップメニューの機能と構造」→P.5

共通セットアップメニューの「グループ」の階層で、「N201セットアップ」「ESC/Pセットアップ」のいずれかを選択すると、N201またはESC/Pの専用セットアップメニューを表示できます。
N201とESC/Pの専用セットアップメニューは、「N201（ESC/P）グループ」「設定項目」「設定値」の３つの階層があります。
それぞれの階層で目的の項目を選択します。

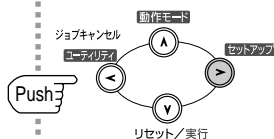
メモ

●**下図のディスプレイの表示は、ESC/P専用セットアップメニューのページレイアウトグループのページフォーマットの項目を「10"→A4　タテ」に設定する場合を例にしています。**

オフライン状態にする

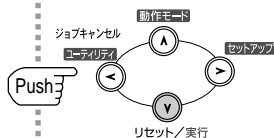
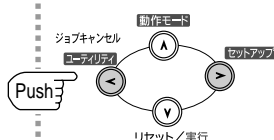
（オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。
プリント可能な状態のときに、オフライン状態にします。プリント可能な状態とは、「00 ■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。

セットアップメニューを表示する

（セットアップ）キーを押します。
セットアップメニューが表示されます。

```
セットアップ
カクチョウ　キノウ　　　→
```

グループを選択する

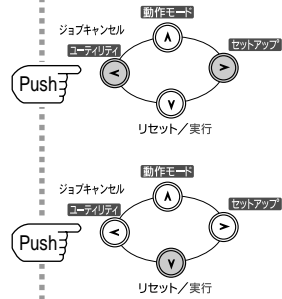
1．グループの階層で「N201セットアップ」「ESC/Pセットアップ」のいずれかを表示します。
（<）キーまたは（>）キーを押します。
ここでは「ESC/Pセットアップ」を表示します。

```
セットアップ
ESC/P　セットアップ　　→
```

2．下の階層へ進みます。
（∨）キーを押します。

N201 ESC/P グループを選択する

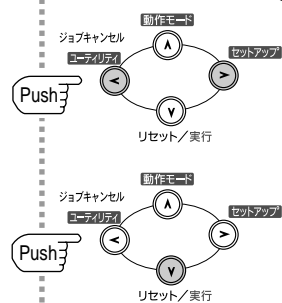
1．N201グループまたはESC/Pグループの階層で目的のグループ名を表示します。
＜キーまたは＞キーを押します。
ここでは「ページレイアウト」を表示します。

ESC/P　セットアップ
ページレイアウト　→

2．下の階層へ進みます。
∨キーを押します。

設定項目を選択する

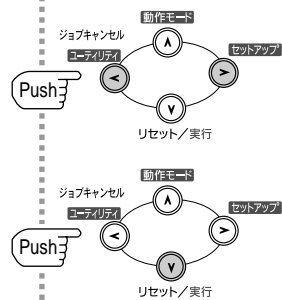
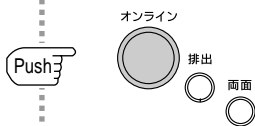
1．目的の設定項目を表示します。
＜キーまたは＞キーを押します。
ここでは「ページフォーマット」を表示します。

ページレイアウト
ページフォーマット　→

2．下の階層へ進みます。
∨キーを押します。

設定値を選択する

1．目的の設定値を表示します。
＜キーまたは＞キーを押します。
ここでは「10"→A4　タテ」を表示します。

ページフォーマット
10"→A4　タテ　→

2．設定値を確定します。
∨キーを押します。
▶ この操作をしないと、設定は変更されません。

オンライン状態に戻す

オンラインキーを押して、キーを点灯させます。

- **操作の途中で１つ前の階層に戻るには、∧キーを押します。**
- **途中で操作を中止したいときは、オンラインキーを押します。メニューのどの階層を表示していても、オンライン状態に戻ります。**

●以下の設定項目は設定値として数値を指定します。その場合 > キーを押すと数値が増え、 < キーを押すと数値が減ります。また、 > キーや < キーを押し続けていると、数値の加減速度が早くなります。
・ページレイアウトグループの「上余白」「用紙位置微調整」
・フォントグループの「フォントID」
・VFCグループの「ミシン目スキップ」「用紙長設定（N201のみ）」「連続用紙長（ESC/Pのみ）」「単票用紙長（ESC/Pのみ）」

動作モードメニューの操作の流れ

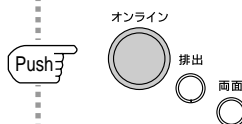
「動作モードメニューの機能と構造」→P.8

動作モードメニューは、「動作モード」の階層で目的の項目を選択します。

●下図のディスプレイの表示は、動作モードを「ジドウセンタク」から「ESC/P」に切り替える場合を例にしています。

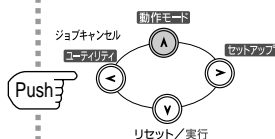
オフライン状態にする

オンライン キーを押して、キーを消灯させます。

プリント可能な状態のときに、オフライン状態にします。プリント可能な状態とは、「00 ■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。

動作モードメニューを表示する

動作モード キーを押します。

動作モードメニューが表示されます。

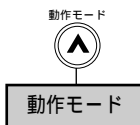
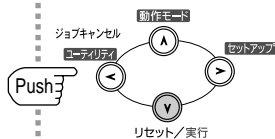
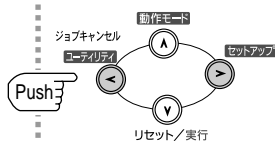
ドウサモード =ジドウ　センタク　→

動作モードを選択する

1．目的の動作モードを表示します。
< キーまたは > キーを押します。

ここでは「ESC/P」を表示します。

ドウサモード ESC/P　→

2．動作モードを確定します。
∨ キーを押します。

▶ この操作をしないと、設定は変更されません。

オンライン状態に戻す

オンライン キーを押して、キーを点灯させます。

メモ

●途中で操作を中止したいときは、オンライン キーを押します。メニューのどの階層を表示していても、オンライン状態に戻ります。

優先エミュレーションメニューの操作の流れ

優先エミュレーションメニューは、「優先エミュレーション」の階層で目的の項目を選択します。

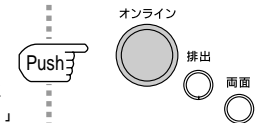
「優先エミュレーションメニューの機能と構造」→P. 8

メモ

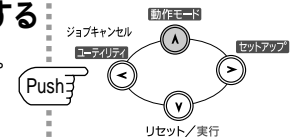
●下図のディスプレイの表示は、優先エミュレーションモードを「N201」から「LIPS」に切り替える場合を例にしています。

オフライン状態にする

オンライン キーを押して、キーを消灯させます。

プリント可能な状態のときに、オフライン状態にします。プリント可能な状態とは、「００ ■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。

優先エミュレーションメニューを表示する

動作モード キーを約３秒以上押します。

優先エミュレーションメニューが表示されます。

ユウセン　エミュレーション
＝N201　→

優先エミュレーションを選択する

1．目的の優先エミュレーションを表示します。
＜キーまたは＞キーを押します。

ここでは「LIPS」を表示します。

ユウセン　エミュレーション
LIPS →

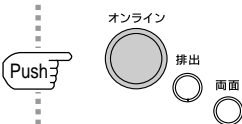
2．優先エミュレーションを確定します。
∨キーを押します。

▶ この操作をしないと、設定は変更されません。

オンライン状態に戻す

オンラインキーを押して、キーを点灯させます。

オンライン
Push
排出
両面

メモ

●**途中で操作を中止したいときは、オンラインキーを押します。メニューのどの階層を表示していても、オンライン状態に戻ります。**

ユーティリティメニューの操作の流れ

「ユーティリティメニューの機能と構造」→P.9

ユーティリティメニューには、「共通ユーティリティ項目」と、「専用ユーティリティ項目」の２つの階層があります。専用ユーティリティ項目は、共通ユーティリティ項目の階層で「LIPS ユーティリティ」「N201 ユーティリティ」「ESC/P ユーティリティ」を選択した場合のみ表示されます。

それぞれの階層で目的の項目を選択します。

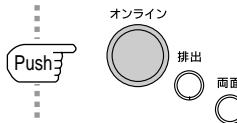
メモ

●**下図のディスプレイの表示は、LIPS 専用ユーティリティのフォントリストをプリントする場合を例にしています。**

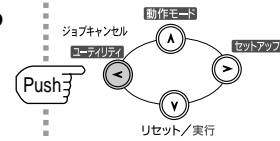
オフライン状態にする

オンラインキーを押して、キーを消灯させます。

プリント可能な状態のときに、オフライン状態にします。プリント可能な状態とは、「００ ■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。

オンライン
Push
排出
両面

ユーティリティメニューを表示する

（ユーティリティ）キーを押します。

ユーティリティメニューが表示されます。

ユーティリティ
ステータス　プリント　→

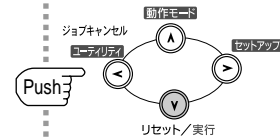
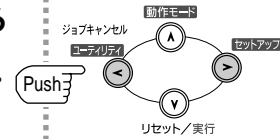
共通ユーティリティ項目を選択する

1．目的の共通ユーティリティ項目を表示します。

（＜）キーまたは（＞）キーを押します。

ここでは「LIPS　ユーティリティ」を表示します。

ユーティリティ
LIPS　ユーティリティ　→

2．下の階層へ進みます。

（∨）キーを押します。

共通ユーティリティ項目で「LIPSユーティリティ」「N201ユーティリティ」「ESC/Pユーティリティ」のいずれかを選択した場合

共通ユーティリティ項目で「LIPSユーティリティ」「N201ユーティリティ」「ESC/Pユーティリティ」以外を選択した場合

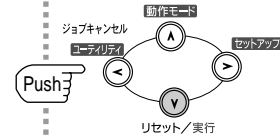
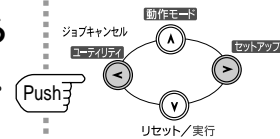
専用ユーティリティ項目を選択する

1．目的の専用ユーティリティ項目を表示します。

（＜）キーまたは（＞）キーを押します。

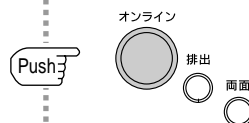
ここでは「フォント　リスト」を表示します。

LIPS　ユーティリティ
フォント　リスト　→

2．専用ユーティリティ項目を確定します。

（∨）キーを押します。

リストがプリントされます。

オンライン状態に戻す

（オンライン）キーを押して、キーを点灯させます。

メモ

- 操作の途中、またはリストのプリント中に、操作またはプリントを中止したいときは オンライン キーを押します。オンライン状態に戻ります。
- 操作の途中で１つ前の階層に戻るには、∧キーを押します。
- LIPSのオーバレイリスト、マクロリスト、フォームリスト、オーバレイプリントは、データが登録されている場合のみプリントされます。データが登録されていない場合はブザーが鳴り、何もプリントされません。

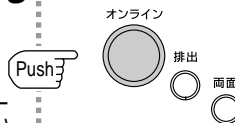
ジョブキャンセルメニューの操作の流れ

「ジョブキャンセルメニューの機能」→P.10

キャンセルしたいジョブの処理中にプリンタをオフライン状態にし、操作パネルの ジョブキャンセル キーを押すと、ディスプレイに「03　ジョブ　キャンセル」と表示され、ジョブキャンセル処理が開始されます。

ジョブの処理中にオフライン状態にする

オンライン キーを押して、キーを消灯させます。

キャンセルしたいジョブがデータ処理中またはデータ受信中で、ジョブランプが点灯または点滅している状態で操作します。

ジョブをキャンセルする

ジョブキャンセル キーを押します。

メッセージが表示されると同時にオンライン状態になります。

```
03　ジョブ　キャンセル
```

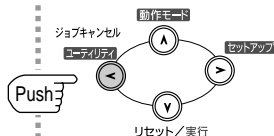
ジョブキャンセル状態が約2秒間続き、ジョブのキャンセル処理が終了すると、プリント可能な状態に戻ります。

プリントデータの受信が完了していない場合、ジョブキャンセル状態が続くと、次のメッセージが表示されます。

```
00　ジョブ　スキップ
セントロニクス
```

ジョブのスキップが終了すると、プリント可能な状態に戻ります。

Push
ジョブキャンセル
ユーティリティ
動作モード
セットアップ
リセット／実行

メモ

- 本プリンタ専用でないプリンタドライバから送信されたデータが混在している場合、複数のデータがキャンセルされることがあります。
- すでにデータ処理が終わり印刷処理中のデータは、キャンセルできません。その場合、その次のプリントデータがキャンセルされることがありますので、ご注意ください。
- ジョブキャンセルの処理は、約2秒間行われます。この間にデータの受信を完了しなかった場合、ジョブスキップ処理に移行します。ジョブキャンセル処理が開始されると、ディスプレイに「03　ジョブ　キャンセル」と表示され、この状態（ジョブキャンセル状態）ではリセット処理はできません。

→ユーザーズガイド第6章「現在実行中の処理を中止する（ソフトリセット）」「すべての作業を中止する（ハードリセット）」

- **ジョブスキップ処理に時間がかかり、ジョブスキップを途中で中止したいときは、リセット処理を行ってください。ジョブスキップ状態に移行すると、ディスプレイに「00　ジョブ　スキップ」と表示され、この状態（ジョブスキップ状態）でリセット処理が行えるようになります。**
- **ジョブスキップの処理中は、処理中のジョブのインタフェース名がディスプレイに表示されます。**

給紙選択メニューの操作の流れ

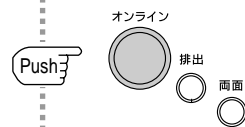
「給紙選択メニューの機能と構造」→P.11

給紙選択メニューは、「給紙モード」または「トレイ用紙サイズ」の階層で目的の項目を選択します。

- **下図のディスプレイの表示は、トレイ用紙サイズを「フリー」に設定する場合を例にしています。**

オフライン状態にする

［オンライン］キーを押して、キーを消灯させます。

プリント可能な状態のときに、オフライン状態にします。プリント可能な状態とは、「00 ■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。

給紙選択メニューを表示する

［給紙選択］キーを押します。

キュウシ　モード
→

設定項目を選択する

1．目的の設定項目を表示します。

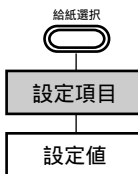
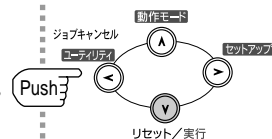
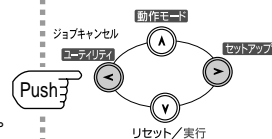
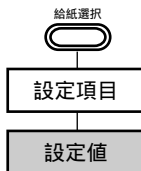
［<］キー、または［>］キーを押します。

ここでは「トレイ　ヨウシ　サイズ」を表示します。

トレイ　ヨウシ　サイズ
→

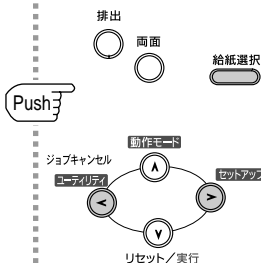
2．下の階層へ進みます。

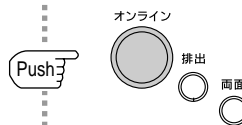
［給紙選択］キーまたは［∨］キーを押します。

トレイ　ヨウシ　サイズ
＝A4　→

設定値を選択する

目的の設定値を表示します。
給紙選択キーまたは＜キー、＞キーを押します。

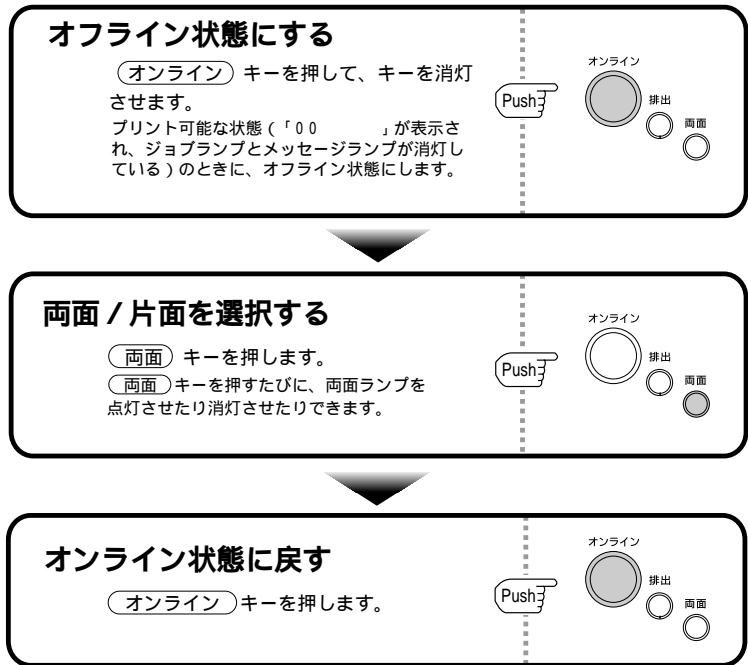
ここでは「フリー」を表示します。

トレイ　ヨウシ　サイズ
フリー　　　　　　→

オンライン状態に戻す

オンラインキーを押して、キーを点灯させます。

- **操作の途中でオンラインキーを押すと、そのとき表示していた設定値を設定し、オンライン状態に戻ります。また、操作の途中で誤操作をした場合も、そのとき表示していた設定値で設定されます。**
- **給紙モードの「カセット2」「カセット3」はオプションのペーパーフィーダ PF-62（250枚用）または PF-62K（500枚用）を装着している場合にのみ表示されます。**

両面メニューの操作の流れ

「両面メニューの機能と構造」→ P.12

両面メニューはディスプレイには表示されません。両面ランプを点灯させたり消灯させたりすることで両面／片面の設定を行います。
両面ランプが点灯しているときに、両面プリントを行い、消灯しているときに片面プリントを行います。

- **両面ランプは、オプションの両面ユニットDU-62を装着している場合のみ点灯できます。両面ユニットDU-62を装着していないときに 両面 キーを押すと、ブザーが鳴ります。**
- **両面／片面の設定は、電源を入れ直しても有効です。**

第 3 章

共通セットアップメニューの設定

1 拡張機能グループを設定する

拡張機能グループでは、プリントの部数や濃度、エラーが起きたときの動作などについて設定できます。

●拡張機能グループの設定項目を表示するまでの操作

1. （オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。
2. （セットアップ）キーを押して、セットアップメニューを表示します。
3. [カクチョウ　キノウ] が表示されていない場合は、（>）キーを押して、[カクチョウ　キノウ] を表示します。
4. （∨）キーを押して、拡張機能グループの設定項目を表示します。

プリントの部数を設定する（コピーマイスウ）

階層図

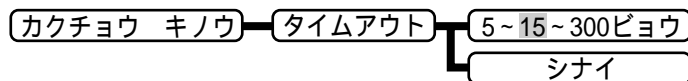
カクチョウ　キノウ ― コピーマイスウ ― **1**～2000

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

プリントの部数を設定します。

データの終了を待たずに動作モードを切り替えるタイマーを設定する（タイムアウト）

階層図

カクチョウ　キノウ ― タイムアウト ┬ 5～**15**～300ビョウ
　　　　　　　　　　　　　　　　　└ シナイ

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

動作モード自動切り替えを設定している場合、プリンタは、データを受信するとコントロールコマンドを認識して、動作モードを切り替えてプリントを開始し、データの終了を認識すると動作モードを終了します。
プリンタ側ではデータの終了を認識しないと、次に違う種類のコントロールコマンドのデータがきても動作モード自動切り替えができません。
このような場合に本項目でタイマーを設定しておくと、データが入力されなくなってから設定時間が経過したときに自動的にデータの終了を認識することができます。

また、アプリケーションソフトから排紙コマンドが送られてこないために、プリンタ内にデータが残ったままの状態のときも、本項目でタイマーを設定しておくと、自動的に排紙することができます。

「タイムアウト機能を有効にするかどうかを設定する」→P.79

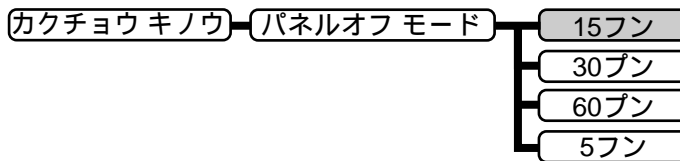
お願い

●自動ジョブ終了を設定した場合、パソコン側の処理に時間がかかると、データの途中でジョブが終了して正しいプリント結果が得られないことがあります。その場合は、タイムアウトの設定時間を調節してください。

メモ

●ジョブ中は操作パネルのジョブランプが点灯または点滅します。
●オフライン状態のときは、自動ジョブ終了は行われません。

プリンタを使わないときにパネル表示を消すタイマーを設定する（パネルオフ モード）

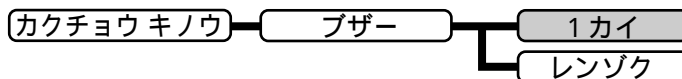
階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

パネル操作を行わなかったり、パソコンからのデータがこない状態が一定時間経過したときに、パネルオフモードに移行するまでの時間を設定します。
オンラインからパネルオフモードになった場合は、印刷可ランプ以外のすべてのランプとディスプレイの表示が消えます。オフラインからパネルオフモードになった場合は、メッセージランプ以外のすべてのランプとディスプレイの表示が消えます。このため、パネルオフモードでは消費電力が少なくてすみます。

メモ

●操作パネルのキーが押されたり、エラーが起きると自動的にパネルオフモードは解除されます。また、オンライン状態ではパソコンからのデータを受信してもパネルオフモードが解除されます。オフライン状態ではエラーが解除されてもパネルオフモードが解除されます。
●本プリンタはオフライン状態でもパネルオフモードに移行しますが、次のようなオフライン状態のときは、設定時間が経過してもパネルオフモードに移行しません。
・サービスコール（「nn-nn　××」{nnは2桁の英数字}）が表示されている
・ステータスプリントなどのユーティリティ項目の実行中

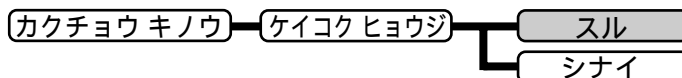
エラー時のブザーの鳴りかたを設定する（ブザー）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

エラーが発生した場合に1回だけブザー音を鳴らすか、または連続して鳴らすかを設定します。［**レンゾク**］に設定すると、エラーが解除されるか、操作パネル上のいずれかのキーが押されるまで、ブザー音を鳴らし続けます。

●エラーの種類によっては、ブザーが鳴っているときに（オンライン）キーを押すと、エラーをスキップして、オンライン状態に戻すことができます。

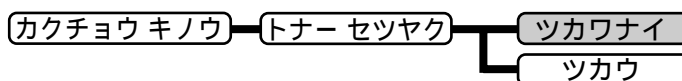
警告時のメッセージが表示されないようにする（ケイコク　ヒョウジ）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

プリンタの状態を警告するメッセージを表示するかどうかを設定します。メッセージを表示してもしなくてもプリントは行われます。

●本項目を［シナイ］に設定して表示されなくなるメッセージについては、ユーザーズガイド　第6章「メッセージが表示されたときは」をご覧ください。

トナーを節約してプリントする（トナー　セツヤク）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

トナーを節約してプリントするか、トナーを節約しないで通常の状態でプリントするかを設定します。

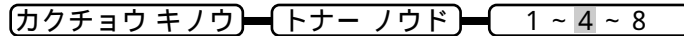
●本項目を［ツカウ］に設定すると、トナーは節約できますが、プリント結果が薄くなり、細い線や濃度の薄いプリントが不鮮明になることがあります。また、ごく淡いグレーの階調部分などは、逆に濃くなることがあります。

●スーパーファインモードに設定されているときは、本項目の設定は無視されます。

●印字調整グループの［カイチョウショリ］が［コウカイチョウ］に設定されているときは、本項目の設定は無視され、［ツカワナイ］に設定した場合と同様に処理されます。

印字濃度を調整する（トナー　ノウド）

階層図

カクチョウ キノウ ― トナー ノウド ― 1～4～8

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

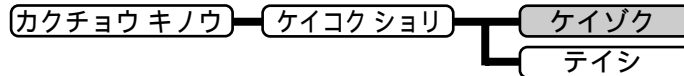
プリントするときの印字濃度を微調整します。

メモ

●設定値は⊳キーを押すたびに１ずつ増え、印字濃度が濃くなり、⊲キーを押すたびに１ずつ減り、印字濃度が薄くなります。

トナーが少なくなったときに自動的にプリントを停止させる（ケイコク　ショリ）

階層図

カクチョウ キノウ ― ケイコク ショリ ― ケイゾク / テイシ

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

トナーが残り少なくなった場合に、メッセージの表示だけを行いプリントを続けるか、プリントを中断するかを設定します。
［**ケイゾク**］に設定すると、トナーが少なくなっても「16　トナー　チェック」を表示しながらプリントを続けます。
［**テイシ**］に設定すると、トナーが少なくなった場合は、「16　トナー　コウカン」を表示し、プリントを中断します。

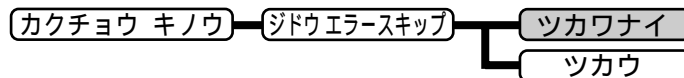
→ユーザーズガイド第５章「トナーカートリッジを交換する」

メモ

●「16　トナー　コウカン」が表示されプリントが中断した場合は、トナーカートリッジを振ってトナーを均一にするか、トナーカートリッジを交換した後、再度プリントを行ってください。

エラー時も自動的にプリントを続行させる（ジドウ　エラースキップ）

階層図

カクチョウ キノウ ― ジドウ エラースキップ ― ツカワナイ / ツカウ

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

通常エラーが起きたときは、オンラインキーを押すとエラーを一時解除してそのままプリントを続けることができます。本項目の設定を［**ツカウ**］に設定すると、オンラインキーを押さなくても自動的にエラーを一時解除し、プリントを続けることができます。

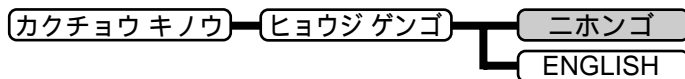
→ユーザーズガイド第６章「困ったときには」

メモ

●この機能は、エラーを回復するのではなく、あくまで一時的に解除するものです。したがって、正しくプリントされないことがあります。

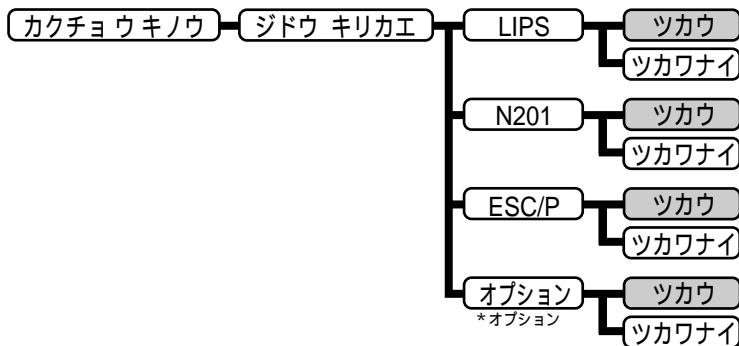
●自動エラースキップで一時解除できるエラーの種類については、ユーザーズガイド　第6章「メッセージが表示されたときは」をご覧ください。
●本項目を［ツカウ］に設定すると、複数のエラーが発生している場合でも、すべてのエラーに対して自動的にエラースキップします。

ディスプレイの表示言語を設定する（ヒョウジ　ゲンゴ）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

ディスプレイに表示されるメッセージを日本語で表示するか、英語で表示するかを設定します。

動作モード自動切り替えの対象を設定する（ジドウ　キリカエ）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

「動作モードメニューの機能と構造」→P.8

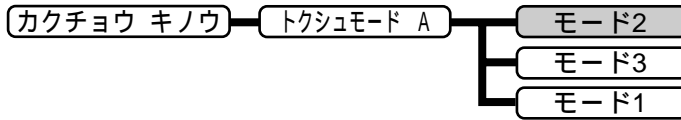
動作モードメニューで動作モード自動切り替えが設定されている場合に、自動切り替えの対象となる動作モードを設定します。LIPS、N201エミュレーション、ESC/Pエミュレーション、オプションのエミュレーションの各モードについてそれぞれ設定します。

「優先エミュレーションメニューの機能と構造」→P.8

メモ

●本項目で、すべてのモードを自動切り替えの対象としない設定にしたときに、動作モードメニューで動作モード自動切り替えが設定された場合は、優先エミュレーションメニューで設定されたモードで動作します。
●［オプション］は、オプションのコントロールROMが装着されている場合にのみ表示され、［ツカワナイ］に設定すると装着されているオプションのエミュレーションすべてが自動切り替えの対象から外れます。

用紙の角折れやしわを防ぐための設定をする（トクシュモード　A）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

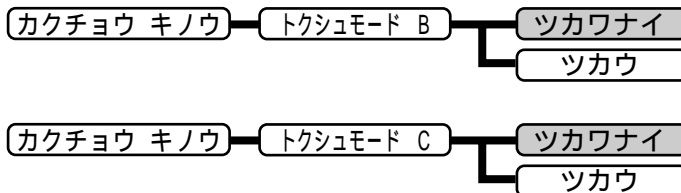
湿度の高い環境でプリンタを使用したり、湿った用紙にプリントしたりすると、用紙に角折れやしわが出ることがあります。そのような問題が起きた場合、モードを変更します。
湿った用紙を使用している場合は［**モード 3**］に、両面印刷で厚めの用紙を使用している場合は［**モード 1**］に設定します。

→ユーザーズガイド第6章「正しいプリント結果が得られないときは」

メモ

- **本項目は、操作パネルおよびNetSpotで設定可能です。プリンタドライバでは設定できません。**
- **問題が解決した場合は、設定値を［モード 2］に戻してください。**

プリント結果を改善するための設定をする（トクシュモード　B/C）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

プリントした結果、次のような印字不良の現象が見られる場合に、この2つのモードを使うとプリント結果を改善することができます。
文字のまわりにトナーが飛び散ったような跡が見受けられる場合、［トクシュモード　B］を［**ツカウ**］に設定します。
画像に水玉模様（泡状）のような印字跡が見受けられる場合、［トクシュモード　C］を［**ツカウ**］に設定します。

→ユーザーズガイド第6章「正しいプリント結果が得られないときは」

メモ

- **本項目は、操作パネルおよびNetSpotで設定可能です。プリンタドライバでは設定できません。**
- **問題が解決した場合は、設定値を［ツカワナイ］に戻してください。**

2 給紙グループを設定する

給紙グループでは、給紙トレイからプリントするときの用紙サイズやセットするときの置きかたなどについて設定できます。

●給紙グループの設定項目を表示するまでの操作

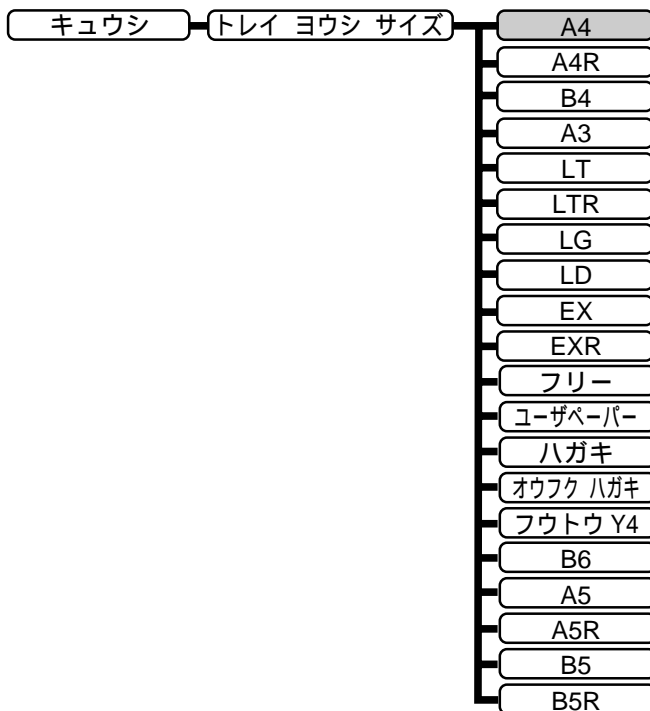
1 （オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。

2 （セットアップ）キーを押して、セットアップメニューを表示します。

3 （>）キーを押して、［キュウシ］を表示します。

4 （V）キーを押して、給紙グループの設定項目を表示します。

給紙トレイにセットした用紙サイズを設定する（トレイ　ヨウシ　サイズ）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

給紙トレイにセットした用紙のサイズは自動的には検知されないため、本項目で給紙トレイにセットして使う用紙のサイズを設定します。

「給紙選択メニューの機能と構造」→ P.11

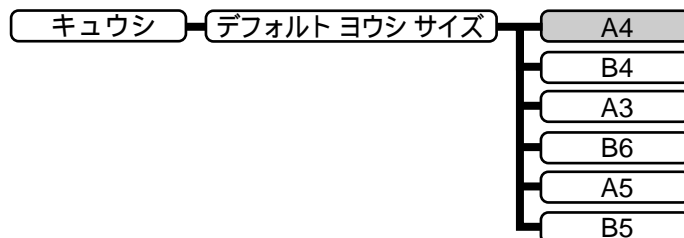
メモ

●給紙選択メニューでも同様の設定ができます。
●本項目を［フリー］に設定すると、1枚ずつ違うサイズの用紙にプリントしたいときなどに便利です。ただし、アプリケーションソフトなどから設定した用紙サイズと異なるサイズの用紙でプリントすると、用紙サイズ交換を要求するメッセージが表示されないので、データが欠けてプリントされることがあります。

→ユーザーズガイド第4章「給紙トレイからプリントする」

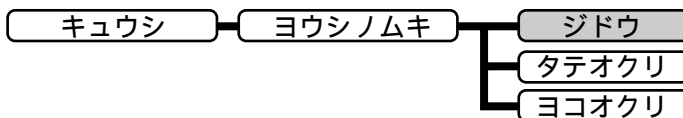
●［ユーザペーパー］は、アプリケーションソフトなどで定形以外のサイズを独自に設定してプリントしたいときに選択します。プリント中に用紙サイズ交換を要求するメッセージが表示される場合は、オンラインキーを押してエラーを解除してからプリントしてください。
●［フウトウ Y4］は洋形4号に対応していますが、種類によってはプリントできないものもあります。また、有効印字領域は、上下左右の用紙端から10mm内側までとなります。詳しくは、ユーザーズガイド　第4章「用紙について」をご覧ください。
●［オウフク　ハガキ］の有効印字領域は、往復はがきを広げた状態で、上下左右の用紙端から5mm内側までとなります。
●次の用紙は略号で表示されます。
A4縦：A4R、エグゼクティブ：EX、エグゼクティブ縦：EXR、レター：LT、レター縦：LTR、リーガル：LG、レジャー：LD、A5縦：A5R、B5縦：B5R

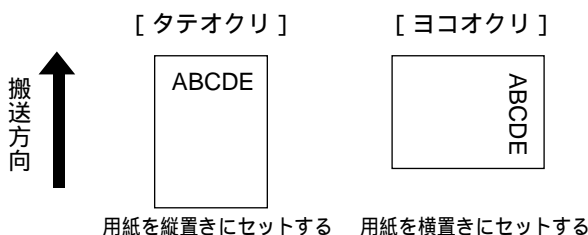
用紙サイズが特定できない場合のプリンタの処理サイズを設定する（デフォルト ヨウシ サイズ）

階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

アプリケーションソフトで用紙サイズが設定できない場合など、プリンタが処理を行う用紙サイズを決定できないときに論理上の用紙サイズを設定します。

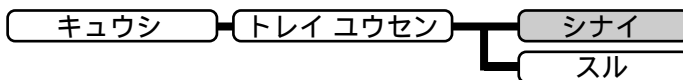
用紙の置きかたに合わせて用紙の向きを設定する（ヨウシノムキ）

階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

縦置きにも横置きにもセットできる用紙を使うときに、給紙カセットや給紙トレイにセットした用紙の置きかたに合わせて、プリントする際の用紙の向きを設定します。［**ジドウ**］に設定すると、給紙トレイ、給紙カセットにセットした用紙の置きかたに合わせて自動的に画像を回転してプリントします。

●縦置きにも横置きにもセットできる用紙の種類は給紙カセットではA4サイズおよびオプションの500枚カセットを使用した場合のLT（レター）、給紙トレイではA4、A5、B5、LT（レター）、EX（エグゼクティブ）サイズです。

●LIPS以外のモードの場合、［ジドウ］に設定すると、自動的に［ヨコオクリ］として処理されます。

給紙トレイ、給紙カセットの順にセットされた用紙を検知する（トレイ　ユウセン）

階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

給紙選択メニューで自動給紙が設定されている場合、プリンタは受信データの用紙サイズと給紙元が合致するかどうかの検知を、給紙カセットから給紙トレイの順に行います。本項目を［**スル**］に設定すると、給紙トレイから給紙カセットの順に検知するように設定できます。

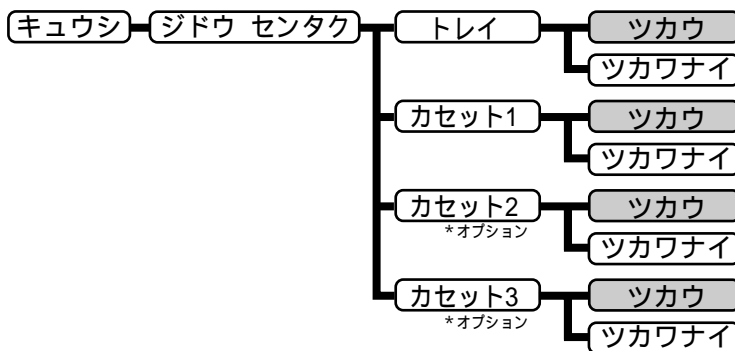
［**シナイ**］に設定すると、給紙カセット（カセット1→カセット2→カセット3）→給紙トレイの順で検知し、［**スル**］に設定すると、給紙トレイ→給紙カセット（カセット1→カセット2→カセット3）の順で検知します。

「給紙選択メニューの機能と構造」→P.11

メモ

●本項目は、給紙選択メニューで［ジドウ］が選択されている場合にのみ有効です。
●カセット 2、カセット 3 はオプションです。
●本項目を［スル］に設定しても、給紙トレイの用紙サイズと受信データの用紙サイズが異なるときは、給紙トレイからは給紙されません。

自動給紙に使用する給紙トレイ、給紙カセットを選択する（ジドウ　センタク）

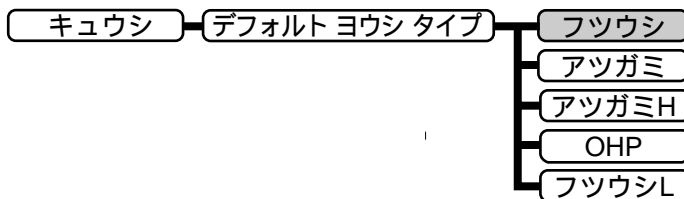
階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

給紙選択メニューで自動給紙が設定されている場合に、自動給紙の対象となる給紙元を設定します。給紙トレイ、カセット 1、カセット 2、カセット 3 のそれぞれについて設定します。

メモ

●オプションのペーパーフィーダ PF-62（250 枚用）または PF-62K（500 枚用）を装着していない場合は、［トレイ］と［カセット 1］のみが表示されます。オプションの給紙カセットを装着して 2 段カセット給紙を行っている場合は［トレイ］［カセット 1］［カセット 2］と表示されます。また 3 段カセット給紙を行っている場合は［トレイ］［カセット 1］［カセット 2］［カセット 3］と表示されます。

プリンタの初期状態の用紙タイプを設定する（デフォルト　ヨウシ　タイプ）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

通常使用する用紙のタイプを設定します。本プリンタでは、ここで設定された用紙のタイプに最適な印刷モードが内部的に設定されます。
各印刷モードは、次のような用紙に対応しています。

［**フツウシ**］	普通紙・再生紙
［**アツガミ**］	厚紙（106～128g/m^2）・ラベル用紙・ハガキ・往復ハガキ・封筒
［**アツガミ H**］	厚紙（106～128g/m^2）・ラベル用紙・ハガキ・往復ハガキ・封筒
［**OHP**］	OHP フィルム
［**フツウシ L**］	普通紙・再生紙

- **通常、WindowsパソコンやMacintoshパソコンなどで用紙タイプを設定する場合は、プリンタドライバで設定してください。ただし、MS-DOSやUNIXなどをOSとするパソコンでプリントする場合は、本項目で設定してください。**
- **［フツウシ］に設定してプリントした結果、用紙のカールが目立つときは、［フツウシ L］に設定してお試しください。**
- **厚紙、ハガキ、往復ハガキおよび封筒でプリントした結果、定着性をより改善したいときは、［アツガミ H］に設定してお試しください。**
- **［アツガミ］および［アツガミ H］に設定した場合、プリント速度が遅くなる場合があります。**
- **ハガキ、往復ハガキおよび封筒をプリントする場合は、［トレイヨウシサイズ］を設定すると自動的に各用紙タイプの印刷モードでプリントされます。**

3 レイアウトグループを設定する

レイアウトグループでは、印字の位置の調整や、とじ代用の余白の設定など、プリントするときの体裁に関わる条件を設定することができます。

●レイアウトグループの設定項目を表示するまでの操作

1. （オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。
2. （セットアップ）キーを押して、セットアップメニューを表示します。
3. （>）キーを押して、［レイアウト］を表示します。
4. （∨）キーを押して、レイアウトグループの設定項目を表示します。

印字位置を調整する（タテホセイ）（ヨコホセイ）

階層図

レイアウト ― タテホセイ ― -50.0mm～0.0mm～+50.0mm

レイアウト ― ヨコホセイ ― -50.0mm～0.0mm～+50.0mm

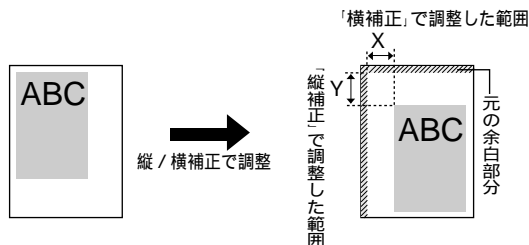
（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

印字位置を縦方向または横方向に調整します。設定値で指定した値だけ、印字位置を縦方向または横方向にずらします。
設定値の増減につれて、印字位置は次のようになります。

［タテホセイ］　：設定値が増えると用紙の Y 方向の余白が広くなります。
設定値が減ると用紙の Y 方向の余白が狭くなります。

［ヨコホセイ］　：設定値が増えると用紙の X 方向の余白が広くなります。
設定値が減ると用紙の X 方向の余白が狭くなります。

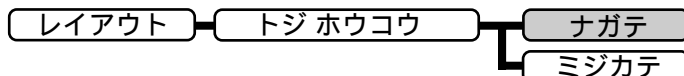
3
第3章　共通セットアップメニューの設定

お願い

●印字位置を調整した結果、印字データが有効印字領域をはみ出る場合は、その部分が欠けてプリントされるのでご注意ください。

メモ

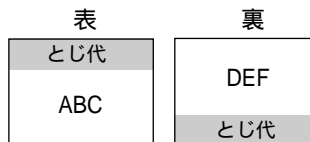
●設定値は▷キーを押すたびに0.5mmずつ増え、◁キーを押すたびに0.5mmずつ減ります。また、▷キーあるいは◁キーから指を離さずに押し続けていると、加減速度が速くなります。

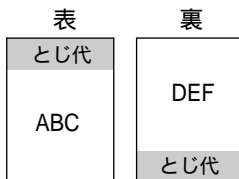
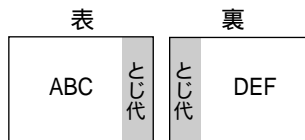
とじる位置を用紙の長い辺にするか短い辺にするかを設定する（トジ　ホウコウ）

階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

とじる位置を、用紙の長い辺にするか短い辺にするかを設定します。両面プリントをしてとじるときには、表面と裏面とで、とじ代の位置を自動的に調整します。とじ代用の余白の幅や、上／下／左／右とじのいずれにするのかは、［トジハバ］（次項目）で設定します。

[ナガテ]

とじる位置を用紙の長い辺にします。

[ミジカテ]

とじる位置を用紙の短い辺にします。

「とじ代用の余白の幅を設定する」→P.47

メモ

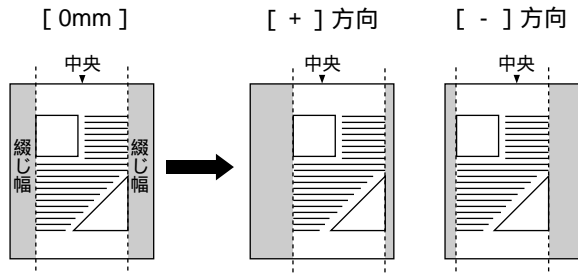
●本項目だけを設定しても、とじ代をあけることはできません。［トジハバ］と組み合わせて設定することによってとじ代をあけることができます。
●両面プリントの場合は、本項目の設定に応じて裏面のプリント向きが異なります。

とじ代用の余白の幅を設定する（トジ　ハバ）

階層図

レイアウト ― トジ ハバ ― -30.0mm〜0.0mm〜+30.0mm

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

とじ代用の余白をあけてプリントするときの、余白の幅を設定します。
設定した値だけ画像をずらして余白を作ります。「＋」の値で画像を＋方向にずらし、「－」の値で－方向にずらします。

用紙の長短どちらの辺にとじ代をあけるのかは［トジホウコウ］（前項目）で設定します。用紙の上下左右のどの辺にとじ代をあけるかは、［トジホウコウ］の設定と本項目の設定を「＋」にするか「－」にするかの組み合わせにより決まります。

●とじ幅を設定した結果、印字データが有効印字領域をはみ出る場合は、その部分が欠けてプリントされるのでご注意ください。

●設定値は＞キーを押すたびに0.5mmずつ増え、＜キーを押すたびに0.5mmずつ減ります。また、＞キーあるいは＜キーから指を離さずに押し続けていると、加減速度が速くなります。

●［タテホセイ］［ヨコホセイ］と［トジハバ］を同時に設定した場合は、［タテホセイ］［ヨコホセイ］の処理が行われたあとで［トジハバ］の処理が行われます。

「とじる位置を用紙の長い辺にするか短い辺にするかを設定する」→P.46

▶とじ方向ととじ幅の設定

下図の仕上りイメージを参考にして、とじ方向ととじ幅を設定してください。

用紙を縦に使ってプリントするか、横に使ってプリントするかは、アプリケーションソフトなどで設定します。

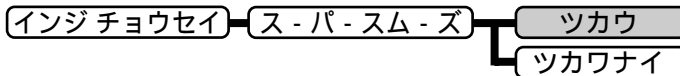
4 印字調整グループを設定する

印字調整グループでは、データの解像度の設定や、高解像度印字の際のメモリの設定など、プリントの品質についての設定を行います。

●印字調整グループの設定項目を表示するまでの操作

1. （オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。
2. （セットアップ）キーを押して、セットアップメニューを表示します。
3. （>）キーを押して、［インジ　チョウセイ］を表示します。
4. （∨）キーを押して、印字調整グループの設定項目を表示します。

スムージング処理の設定をする（スーパースムーズ）

階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

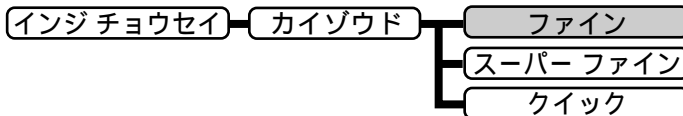
文字や図形のギザギザの輪郭をなめらかにプリントするスムージング処理を使うかどうかを設定します。キヤノンの開発したスムージング処理を、「スーパー・スムージング・テクノロジー」といい、この処理を使うとファインモードでは横2400dpi相当×縦600dpi、クイックモードでは横1200dpi相当×縦600dpiの解像度でプリントすることができます。

メモ

●スーパーファインモードでは、本項の設定は無視されます。
●［カイチョウショリ］が［コウカイチョウ］に設定されているときは、本項目の設定は無視され、［ツカワナイ］に設定した場合と同様に処理されます。

スーパーファイン／ファイン／クイックモードの設定をする（カイゾウド）

階層図

インジ チョウセイ	カイゾウド	ファイン
		スーパー ファイン
		クイック

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

プリントするときの解像度を設定します。解像度は1インチあたりのドット数を示すdpi（dot per inch）という単位で表され、数値が大きいほど高い精度で鮮明にプリントできます。
［**ファイン**］は、600dpiの解像度でプリントします。一般的な文書や表を高速にプリントする場合に適したモードです。
［**スーパーファイン**］は、1200dpiの解像度でプリントします。きめ細かい階調表現力で、写真などの中間階調をリアルに再現できます。グラデーションの入ったグラフィックや写真が多いデータをプリントするのに適したモードです。
［**クイック**］は、300dpiの解像度でプリントします。Windowsの出力で高解像度モードに対応していないアプリケーションソフトなどからのプリントに適したモードです。データ処理が300dpiで行われ、プリント処理がさらに速くなる場合があります。

お願い

●データの量や種類によっては、処理に必要なメモリが不足して、スーパーファインモード・ファインモードでプリントされない場合があります。そのような場合は、［インジドウサ］を［ガシツユウセン］に設定してください。

「スムージング処理の設定をする」→P.49

メモ

●ファインモード、クイックモードの場合、［スーパースムーズ］を［ツカウ］に設定するとより滑らかな表現ができます。
●スーパーファインモードは、LIPSモードのみ使用できます。

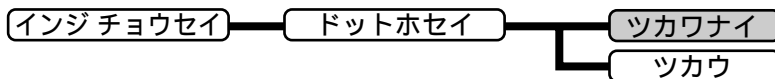
→ユーザーズガイド付録「オプションについて」

▶スーパーファインモード・ファインモードに必要なメモリについて
スーパーファインモード・ファインモードでプリントする際には、クイックモードでプリントする場合よりも、処理に多くのメモリを必要とします。
そのため、データの量や種類によってはスーパーファインモード・ファインモードの設定をしていても、600dpiまたは300dpiでプリントされてしまうことがあります。このような場合は、解像度の設定を低くしてプリントすることをおすすめします。初めからクイックモードに設定しておくと高速でプリントできます。
確実にスーパーファインモード・ファインモードでプリントしたいときは、必要に応じてオプションの拡張RAMを増設してください。
＊スーパーファインモード・ファインモードでプリントするメモリが不足して600dpiまたは300dpiでプリントされるときに、メッセージを表示するかどうかを設定することができます。

「指定された解像度で印字できないときにメッセージを表示する」→P.52

スーパーファインモードで細い線をプリントするための設定をする（ドットホセイ）

階層図

インジ チョウセイ ― ドットホセイ ― ツカワナイ / ツカウ

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

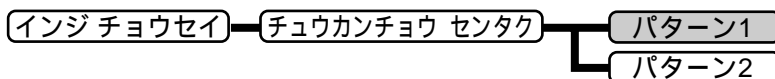
印字調整グループの［カイゾウド］の設定で［**スーパーファイン**］を選択し、スーパーファインモードで極細の線（1ドット相当）をプリントすると、線がとぎれているように見えることがあります。［ドットホセイ］を［**ツカウ**］に設定すると、この現象を改善することができます。

メモ

- **本項目を［ツカウ］に設定した場合、写真などのイメージデータの印字品質が低下する場合があります。**
- **本項目は、操作パネルおよびNetSpotで設定可能です。プリンタドライバでは設定できません。**

微妙な階調を表現する方法を選択する（チュウカンチョウ　センタク）

階層図

インジ チョウセイ ― チュウカンチョウ センタク ― パターン1 / パターン2

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

データの微妙な階調（中間の階調）の表現方法を設定します。解像度の設定によって、階調表現が異なります。

●ファインモードの場合

［**パターン1**］を使うと、文字の輪郭をシャープに、イメージやグラフィックをきめこまかな階調でプリントします。文字やイメージ・グラフィックの混在する文書をよりシャープな画質でプリントしたいときに向いています。

［**パターン2**］は、文字や細い線または元解像度の低いデータなどをプリントするときに向いています。

●スーパーファインモードの場合

［**パターン1**］は、グラデーションなどの微妙な階調をシャープに再現してプリントします。元解像度の高いデータなどをプリントするときに向いています。

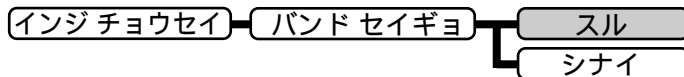
［**パターン2**］は、細い線または元解像度の低いデータなどをプリントするときに向いています。

メモ

- **［チュウカンチョウ　センタク］が有効なのは、スーパーファインモードまたはファインモードの場合のみです。ただし、ファインモードの場合は［カイチョウ　ショリ］の設定が［ヒョウジュン］に設定されている場合のみ有効です。**
- **ファインモード時の［パターン2］の場合、当社のLBP-470/740/740e/750/840/850/870/880/930/930EX/950/2040/2260/2200［パターン1］と同じディザパターンで印字します。**

バンド制御の設定をする（バンド　セイギョ）

階層図

インジ チョウセイ ─ バンド セイギョ ─ スル / シナイ

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

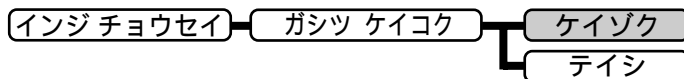
本プリンタでは、600dpiのファインモードおよび1200dpiのスーパーファインモードでのプリントを実現するために、「バンド制御」という処理を行ってプリントしています。
「21　プリント　オーバーラン」というメッセージが表示されたときに、バンド制御を行わずにプリントするかどうかを設定します。

▶バンド制御とは
バンド制御は、パソコンから受信したデータを、逐次ビットマップ展開して、展開した分のデータからすぐに出力するので、メモリも少なくてすみ、高速に処理できます。しかし、バンド制御では、データが複雑だとビットマップ展開に時間がかかり、出力とのタイミングがずれてしまうことがあります。そのようなときは、「21　プリント　オーバーラン」というエラーメッセージが表示されます。
このエラーが起きる場合は、解像度をファインモード（600dpi）またはクイックモード（300dpi）にして再度プリントしてください。それでも同じエラーが起きる場合は、バンド制御を使わない設定にしてください。

「スーパーファイン／ファイン／クイックモードの設定をする」→P.50

指定された解像度で印字できないときにメッセージを表示する（ガシツ　ケイコク）

階層図

インジ チョウセイ ─ ガシツ ケイコク ─ ケイゾク / テイシ

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

大量のデータや複雑なデータなどを受信した場合、処理に必要なメモリが不足して、「解像度」がスーパーファインモード（1200dpi）、またはファインモード（600dpi）に設定されていても、自動的に解像度を600dpi（スーパーファインモード時）、300dpi（ファインモード時）に落としてプリントすることがあります。そのときに、メッセージを表示するかどうかを設定します。
［**ケイゾク**］に設定すると、メッセージを表示せずに、自動的に解像度600dpiまたは300dpiでプリントします。［**テイシ**］に設定すると、「38　ガシツ　テイカ」とメッセージを表示してプリントを停止します。その後（オンライン）キーを押すと、解像度600dpiまたは300dpiでプリントを再開します。

→ユーザーズガイド付録「オプションについて」

メモ

●本項目を［テイシ］に設定して、「38　ガシツ　テイカ」というメッセージが頻繁に表示される場合は以下の対処を行ってください。、

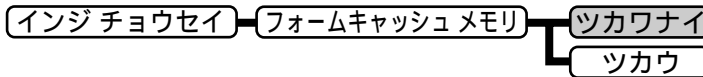
1.［インジ　ドウサ］の項目を［ガシツユウセン］に設定する

2. 1の対処を行ってもメッセージが表示される場合で、［カイチョウ　ショリ］の項目が［コウカイチョウ］に設定されている場合は、［ヒョウジュン］に設定する
※ただし、この場合、階調を落としてプリントします。

3. 2の対処を行ってもメッセージか表示される場合や、階調を落とさずにプリントしたい場合は、オプションの拡張メモリ（RAM）を増設する

●本項目を［テイシ］に設定すると、受信するデータの種類によって処理に必要なメモリが不足した場合に「28　ビョウガメモリ　フル」というメッセージを表示してプリントを停止するようにもなります。この場合、（オンライン）キーを押すとエラーを解除してプリントを続けることができます。ただし、正しくプリントできない場合があります。

フォーム画像のためのメモリ領域を設定する（フォームキャッシュ　メモリ）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

「オーバレイ」に使用するフォーム画像を保持するためのメモリ領域を確保するかどうかを設定します。
フォームキャッシュ機能は、登録されたフォームデータをあらかじめ画像として展開した状態でメモリ上に保持し、必要に応じて再利用します。より高速のオーバレイ出力が可能になります。

お願い

●本項目は、設定値を変更した場合、設定操作後に電源を入れ直すかハードリセット操作を行わないと有効にならないのでご注意ください。

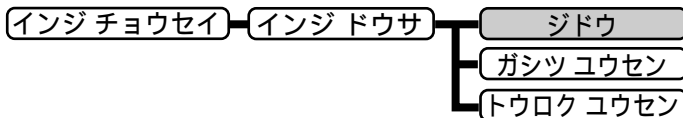
メモ

●［ツカウ］は、16MB以上の拡張メモリ（RAM）が増設されている場合にのみ表示されます。

●搭載されているRAM容量によっては、フォーム画像のためのメモリ領域が保持できない場合があります。

●本項目は、別売のアプリケーションソフト「FormCraft Pro.」によるオーバレイ出力時に利用します。LIPS専用セットアップメニューの［オーバレイ1］［オーバレイ2］では利用できません。

プリントのためのメモリの使いかたを設定する（インジ　ドウサ）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

メモリ（RAM）の配分のしかたやデータの処理方法について設定します。
本プリンタに搭載されているRAM（標準で16MB）は、データを展開するための描画メモリ、図形などの処理のためのシステムワークメモリ、受信したデータを一時的にためておくための受信バッファなど、いろいろな用途に使われます。本プリンタでは各用途ごとに個別に設定しなくても自動的にメモリを配分し、最適な環境を実現します。
ただし、複雑で大量のデータをプリントする場合は、必要に応じて本項目でメモリの配分のしかたを設定しておきます。
また、本項目の設定はメモリの配分のしかたを変えるだけはでなく、データの処理方法も変えるので、効率よく目的に合ったプリントを行うことができます。
［**ジドウ**］に設定すると、描画メモリ、システムワークメモリ、受信バッファ用にそれぞれ自動的にメモリを配分します。通常はこの設定にしておいてください。
［**ガシツユウセン**］に設定すると、描画メモリとシステムワークメモリを優先して確保します。また、できるだけ画質が低下しないようなデータの処理方法にするので、より確実に高品位なプリントができるようになります。ただし、プリントのスピードが若干遅くなることがあります。［**ジドウ**］に設定していて「38　ガシツ　テイカ」などのエラーが表示される場合に設定してください。
［**トウロクユウセン**］に設定すると、描画メモリは［**ガシツユウセン**］の場合より少なく、システムワークメモリや受信バッファは適切な値に設定します。そしてフォントや、オーバレイプリントに使用するフォームデータなどの登録用の領域のための空き容量を確保します。

お願い

●本項目は、設定値を変更した場合、設定操作後に電源を入れ直すかハードリセット操作を行わないと有効にならないのでご注意ください。

メモ

●［ガシツ　ユウセン］に設定していても、オプションを装着していたり、複雑で大量のデータをプリントする場合、高品位な画質でプリントできないことがあります。

▶［ガシツユウセン］に設定した場合
プリンタの搭載メモリやフォームキャッシュメモリの設定内容によって、プリントできるデータサイズ（印字保証サイズ）の目安は次のようになります。大量で複雑なデータの場合でも印字保証サイズ以下であれば、指定した解像度と階調で、画質を落とさずにプリントすることができます。

ー：設定不可　○：［使う］　×：［使わない］

総RAM容量（拡張RAM容量）	印字保証サイズ	フォームキャッシュメモリ
16（標準）	A3	ー
32（+16MB）＊	B4×4	×
	A3×2	○
48（+32MB）＊	A3×4	×
	A3×4	○
80（+64MB）＊	A3×8	×
	B4×8	○
144（+128MB）＊	A3×8	×
	A3×8	○

＊表中に（+●●MB）とあるのは、標準のRAM（16MB）に加えて必要な拡張RAM（オプション）の容量を示します。

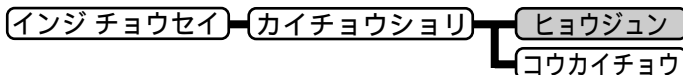
上記の印字保証サイズは、［カイゾウド］の設定が［ファイン］、［カイチョウショリ］の設定が［ヒョウジュン］に設定されていて、片面プリントの場合の値です。プリント時のデータ処理解像度や階調によって、次のように印字保証可能なサイズが変わります。上記の表の用紙サイズから換算してください。

解像度	クイック	4倍
	ファイン	等倍
	スーパーファイン	1/4倍
階調処理	標準	等倍
	高階調	1/2倍
両面モード	片面	等倍
	両面	1/2倍

印字保証サイズはプリンタの空きメモリ（RAM）容量によって、上記の表のサイズよりも小さくなる場合があります。空きメモリ（RAM）容量は、オプションのコントロールROMを装着したり、フォントやオーバレイのデータをプリンタに登録したときなどに少なくなります。また、印字保証サイズは本項目を［ガシツユウセン］に設定しているときのみ、ステータスプリントで確認することができます。

ファインモード時の階調処理の方法を選択する（カイチョウ　ショリ）

階層図

インジ チョウセイ ─ カイチョウショリ ┬ ヒョウジュン
　　　　　　　　　　　　　　　　　　└ コウカイチョウ

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

ファインモードでプリントするときの、データの階調処理の方法を設定します。
［**ヒョウジュン**］は、細い線、または解像度の低いデータなどをプリントするときに向いています。
［**コウカイチョウ**］は、写真やグラデーションなど、複雑な階調を持つ、解像度の高いデータをプリントするのに向いています。［**ヒョウジュン**］に設定した場合よりもきめ細かな表現が可能です。

メモ

- **本項目は、ファインモードでのみ有効です。スーパーファインモード、クイックモードでは無視されます。**
- **本項目を［コウカイチョウ］に設定すると、［スーパースムーズ］、［トナー　セツヤク］の設定が［ツカウ］に設定されていても無視され、［ツカワナイ］に設定した場合と同様に処理されます。また、［チュウカンチョウ　センタク］の設定も無効になります。**

5 インタフェースグループを設定する

インタフェースグループでは、パソコンと接続するときの方法や、データをやりとりするときの取り決めについて設定します。

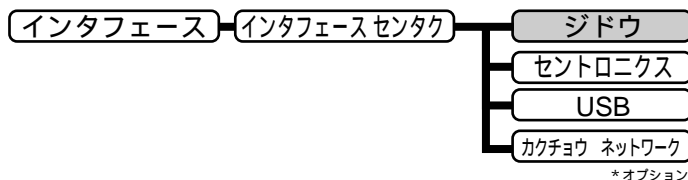
メモ

●インタフェースグループのうち、インタフェース選択、セントロニクス設定、コネクション認識の設定は、パソコン側のユーティリティソフトからは行えません。必ずプリンタの操作パネルで設定してください。

●インタフェースグループの設定項目を表示するまでの操作

1. **（オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。**
2. **（セットアップ）キーを押して、セットアップメニューを表示します。**
3. **（>）キーを押して、［インタフェース］を表示します。**
4. **（∨）キーを押して、インタフェースグループの設定項目を表示します。**

インタフェースの種類を設定する（インタフェース　センタク）

階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

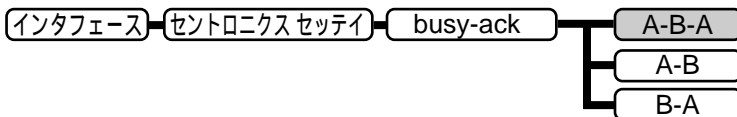
パソコンと接続するときのインタフェースの種類を設定します。
［**ジドウ**］に設定した場合は、パソコンに応じて、接続しているインタフェースを自動的に切り替えてプリントすることができます。先にデータを受信したインタフェースに自動的に切り替えるので、種類の異なるインタフェースに同時に接続しているときでも、そのつどプリンタ側で設定を変更する必要がありません。
［**セントロニクス**］、［**USB**］、［**カクチョウ　ネットワーク**］は、それぞれのインタフェースのみを使用する場合に選択します。

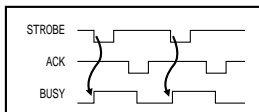
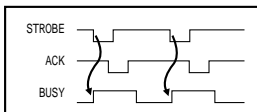
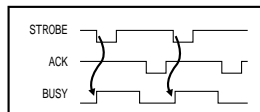
お願い

●本項目は、設定値を変更した場合、設定操作後に電源を入れ直すかハードリセット操作を行わないと有効にならないのでご注意ください。

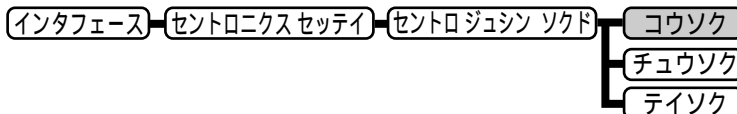
●拡張 RAM を増設していない状態で、印字動作を［ガシツ　ユウセン］に設定してプリントする場合、本項目を［ジドウ］ではなく［セントロニクス］、［USB］など、個別のインタフェースに設定すると、データの処理速度が速くなることがあります。

BUSY 信号と ACKNLG 信号の出力順序を変更する（busy-ack）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

インタフェースの種類の設定で、［**ジドウ**］または［**セントロニクス**］を選択した場合は、BUSY 信号と ACKNLG 信号の出力順位を変更することができます。通常は［**A-B-A**］に設定しておいてください。

●本項目は、［インタフェース　センタク］の項目が［ジドウ］または［セントロニクス］に設定されている場合にのみ表示されます。

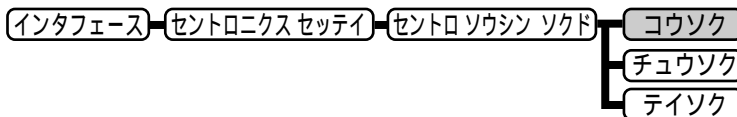
セントロニクスのデータの受信速度を設定する（セントロ　ジュシン　ソクド）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

インタフェースの種類の設定で、［**ジドウ**］または［**セントロニクス**］を選択した場合は、プリンタのセントロニクスインタフェースでデータを受信する速度を設定することができます。
通常は［**コウソク**］に設定しておいてください。

●［コウソク］に設定されている場合に、プリンタのデータ受信の速度が速すぎて、パソコンからのデータ送信が間に合わなくなり、プリントが行われないことがあります。このような場合は、［チュウソク］または［テイソク］に設定してください。
●本項目は、［インタフェース　センタク］の項目が［ジドウ］または［セントロニクス］に設定されている場合にのみ表示されます。

セントロニクスのデータの送信速度を設定する（セントロ　ソウシン　ソクド）

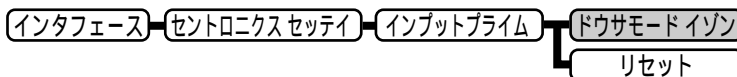
階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

インタフェースの種類の設定で、［**ジドウ**］または［**セントロニクス**］を選択した場合は、プリンタのセントロニクスインタフェースからデータを送信する速度を設定することができます。
通常は［**コウソク**］に設定しておいてください。

メモ

●本項目は、［インタフェース　センタク］の項目が［ジドウ］または［セントロニクス］に設定されている場合にのみ表示されます。

インプットプライム受信時の処理を設定する（インプットプライム）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

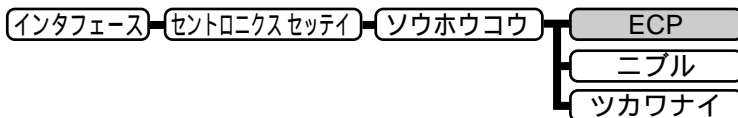
パソコンからインプットプライム（プリンタのリセット信号）を受信したときの処理を設定することができます。

［**ドウサモード　イゾン**］に設定すると、動作中のモード（LIPS、N201、ESC/P、オプションのエミュレーションのいずれか）の機能にしたがってインプットプライム信号を処理します。インタフェースの種類の設定で［**ジドウ**］または［**セントロニクス**］を選択している場合に機能します。
［**リセット**］に設定すると、インプットプライム信号を受信した場合、プリンタをリセットします。インタフェースの種類の設定で［**セントロニクス**］を選択している場合にのみ機能し、USBや拡張ネットワークを使用している場合は、インプットプライム信号は無視されます。

メモ

●本項目は、［インタフェース　センタク］の項目が［ジドウ］または［セントロニクス］に設定されている場合にのみ表示されます。
●リセットを行うと、いったん受信したデータがキャンセルされます。プリント中の場合は、プリントを中止して、残りのデータは破棄されます。
●本項目を［ドウサモードイゾン］に設定した場合、LIPSモードではジョブを終了します。エミュレーションモードでは、各モードのエミュレーションの対象となるプリンタ（N201エミュレーションではPC-PR201/80A、ESC/Pエミュレーションでは ESC/P 準拠プリンタ）と同じ処理を行います。

データの双方向通信を設定する（ソウホウコウ）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

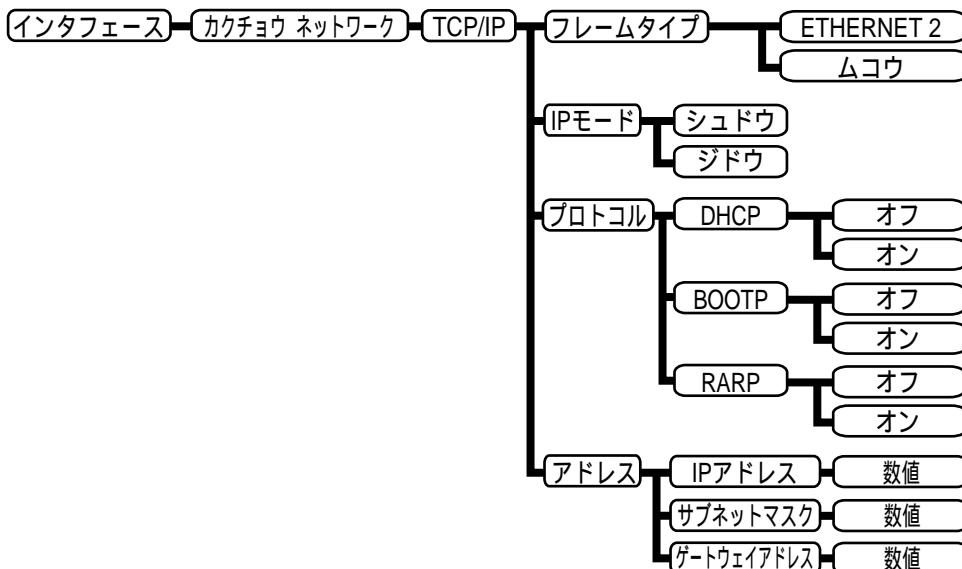
インタフェースの種類の設定で、［**ジドウ**］または［**セントロニクス**］を選択した場合は、セントロニクスインタフェースでデータの双方向通信を設定することができます。

［**ECP**］に設定すると、パソコンとプリンタとの間で双方向でデータを伝送します。ECPモード、ニブルモードおよびバイトモードに対応しています。
［**ニブル**］に設定すると、パソコンとプリンタとの間で双方向でデータを伝送します。ニブルモードおよびバイトモードに対応しています。
［**ツカワナイ**］に設定した場合、パソコンからプリンタへのデータ伝送は行いますが、プリンタからパソコンへのデータ伝送は行いません。

メモ

- **本項目は、［インタフェース　センタク］の項目が［ジドウ］または［セントロニクス］に設定されている場合にのみ表示されます。**
- **本項目での設定は、セントロニクス以外のインタフェースを使用している場合には効果がありません。**
- **本プリンタのパラレルインタフェースは、IEEE 1284規格に準拠しています。これは従来のセントロニクスインタフェースを拡張したもので、パソコンとプリンタとの双方向通信、データ伝送速度の高速化を実現しています。本プリンタは IEEE 1284 規格の中の ECP モード、ニブルモード、バイトモードのプロトコルに対応しています。**
- **お使いのパソコンやインタフェースケーブルが、プリンタと双方向でデータを伝送する機能を持っているかどうか、あるいはどのプロトコルに対応しているかについてはパソコンのマニュアルをご覧ください。**
- **パソコン側に、プリンタと双方向でデータを伝送する機能がない場合は、本項目を［ツカワナイ］に設定してください。**
- **Windowsを使って本プリンタと双方向通信を行う場合は、本プリンタに付属している専用プリンタドライバをお使いください。**
- **Windowsを使って双方向通信をしているときに、パソコン側にエラーメッセージが表示された場合には、再度プリントを行うか、本項目を［ツカワナイ］に設定してください。**
- **Windows を使って双方向通信をしているときに、パソコンによっては、［ECP］に設定するとデータをプリントできない場合があります。その場合は、［ニブル］もしくは［ツカワナイ］に設定してプリントしてください。**

拡張ネットワーク／TCP/IPの設定をする（TCP/IP）

階層図

本プリンタに搭載したオプションの拡張ネットワークボードのTCP/IP設定を行います。本項目では、TCP/IPのフレームタイプ、IPアドレスの取得方法、IPアドレス自動取得のプロトコル、IPアドレス（IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）の設定ができます。

お願い

●本項目で設定値を設定した後、必ず［カクチョウ　ネットワーク］の［セッテイ　トウロク］で登録操作を行ってください。登録操作を行わないと設定した値が有効になりませんので、ご注意ください。

メモ

●本項目は、操作パネルからのネットワーク設定をサポートしたオプションの拡張ネットワークボードが装着されていて、［インタフェース　センタク］の項目が［ジドウ］または［カクチョウ　ネットワーク］に設定されている場合にのみ表示されます。

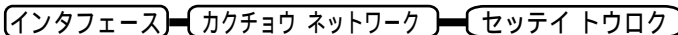
●工場出荷時の設定値は、装着するネットワークボードによって異なります。

●設定の内容については、オプションの拡張ネットワークボードに付属の取扱説明書をご覧ください。

●［IPアドレス］、［サブネットマスク］、［ゲートウェイアドレス］の数値を入力するには、⊲キーまたは⊳キーを押して、入力したいアドレスの各フィールド（ピリオドで区切られた3桁分の領域）にカーソルを移動し、ⓥキーを押します。フィールド内の数値が点滅し、数値を入力できるようになります。⊳キーを押すと数値が増え、⊲キーを押すと数値が減少します。目的の数値が表示されたら、ⓥキーを押して確定します。以上の操作を繰り返して、各フィールドの数値を入力します。

拡張ネットワーク／ネットワーク設定を登録する（セッテイ　トウロク）

階層図

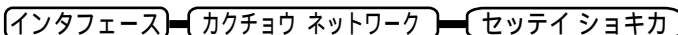
インタフェース ― カクチョウ ネットワーク ― セッテイ トウロク

ネットワーク設定の各項目の設定を変更した場合に、変更した設定値を登録します。
拡張ネットワークを選択した後、次の階層で［セッテイ　トウロク］を選択すると、「ジッコウ　シマスカ？」という確認のメッセージが表示されます。ここで（∨）キーを押すと登録が行われます。（∨）キーを押さずに（オンライン）キーを押すと、登録を行わずに通常のプリントができる状態に戻ります。

メモ

●本項目は、操作パネルからのネットワーク設定をサポートしたオプションの拡張ネットワークボードが装着されていて、［インタフェース　センタク］の項目が［ジドウ］または［カクチョウ　ネットワーク］に設定されている場合にのみ表示されます。

拡張ネットワーク／ネットワーク設定を工場出荷状態に戻す（セッテイ　ショキカ）

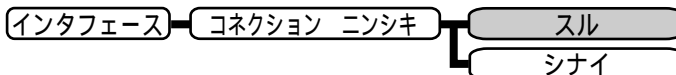
階層図

インタフェース ― カクチョウ ネットワーク ― セッテイ ショキカ

初期化を行うと、拡張ネットワークの設定内容を、工場出荷時の状態に戻すことができます。
拡張ネットワークを選択した後、次の階層で［セッテイ　ショキカ］を選択すると、「ジッコウ　シマスカ？」という確認のメッセージが表示されます。ここで（∨）キーを押すと初期化が行われます。（∨）キーを押さずに（オンライン）キーを押すと、初期化を行わずに通常のプリントができる状態に戻ります。

メモ

●本項目は、操作パネルからのネットワーク設定をサポートしたオプションの拡張ネットワークボードが装着されていて、［インタフェース　センタク］の項目が［ジドウ］または［カクチョウ　ネットワーク］に設定されている場合にのみ表示されます。

ジョブの識別方法を設定する（コネクション　ニンシキ）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

拡張ネットワークを使用してプリントした場合に、正しいプリント結果が得られないこと（文字化けやオーバレイプリントが正しくできない等）があります。そのような場合に、本項目を［**シナイ**］に設定してください。

●本項目は、設定値を変更した場合、設定操作後に電源を入れ直すかハードリセット操作を行わないと有効にならないのでご注意ください。

●本項目は、［インタフェース　センタク］の項目が［ジドウ］または［カクチョウ　ネットワーク］に設定されている場合にのみ表示されます。

6 セットアップメニューの設定を工場出荷状態に戻す

初期化を行うと、共通セットアップメニュー／専用セットアップメニューで設定した、共通プリント環境／専用プリント環境の設定内容を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

共通セットアップメニューの「グループ」の階層で［パネル　セッテイ　ショキカ］を選択すると、「ジッコウ　シマスカ？」という確認のメッセージが表示されます。ここで（∨）キーを押すと初期化が行われます。（∨）キーを押さずに（オンライン）キーを押すと、初期化を行わずに通常のプリントができる状態に戻ります。

お願い

- **本項目の操作中には電源を切らないでください。プリンタのメモリが故障することがあります。**
- **本項目の初期化を行っても、インタフェースグループの「拡張ネットワーク」の設定内容は初期化されません。**

第 4 章

LIPS 専用セットアップメニューの設定

● LIPS 専用セットアップメニューを表示するまでの操作

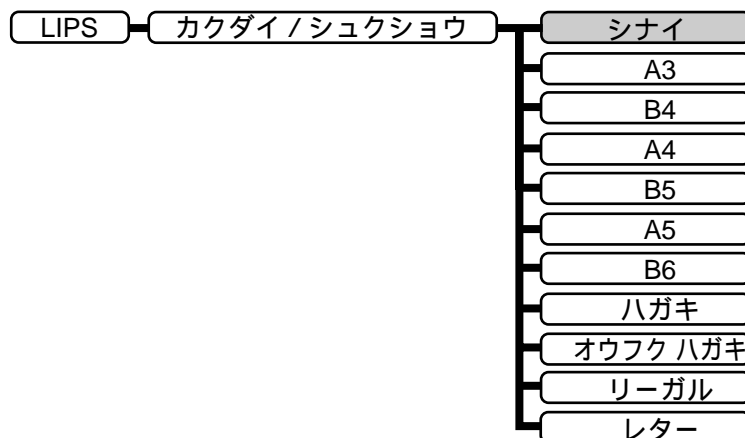
1 （オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。

2 （セットアップ）キーを押して、セットアップメニューを表示します。

3 （>）キーを押して、［LIPS セットアップ］を表示します。

4 （∨）キーを押して、LIPS 専用セットアップメニューを表示します。

拡大／縮小してプリントする（カクダイ／シュクショウ）

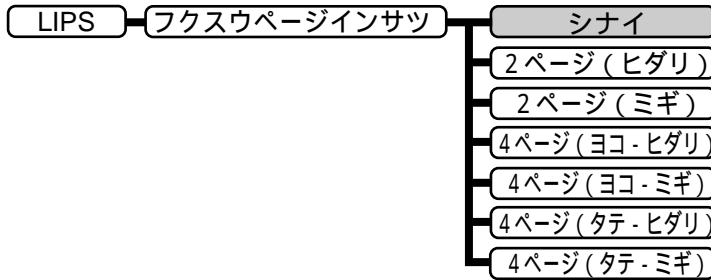
階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

拡大または縮小プリントの設定をします。
アプリケーションソフトで作成したデータサイズと設定値で指定した出力用紙サイズから、自動的に拡大／縮小の倍率を計算します。設定値で指定した用紙サイズに拡大または縮小してプリントします。

メモ

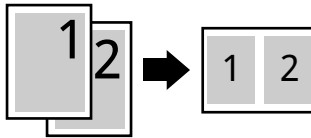
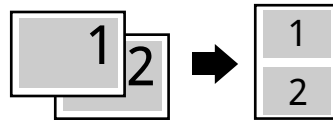
- アプリケーションソフトで作成するデータのサイズが定形サイズ（A4、B5 など）でない場合は、正しく拡大／縮小されないことがあります。
- 拡大／縮小でプリントすると、線の太さにムラが生じたり、細い線が消えたりすることがあります。
- アプリケーションソフトからのコマンドの内容によっては、正しく拡大／縮小してプリントされないことがあります。
- 拡大／縮小率が 25 ～ 200%の範囲を超える場合は、拡大／縮小は行われず等倍でプリントされます。この場合正しいプリント結果にはなりません。

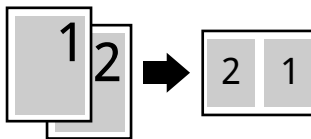
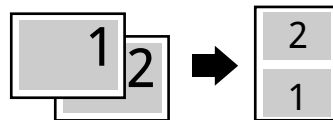
複数ページのデータを１ページにプリントする（フクスウページインサツ）

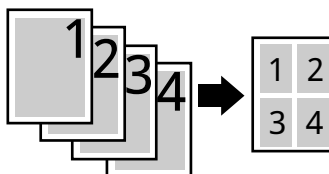
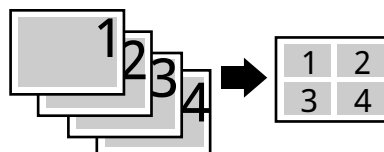
階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

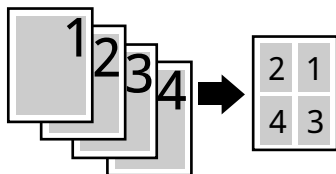
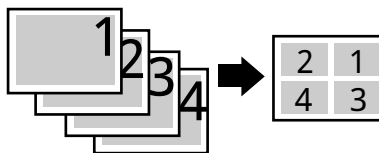
アプリケーションソフト側で作成したデータを、２ページ分または４ページ分を並べて１ページにプリントできます。

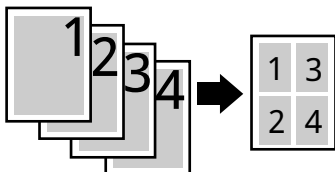
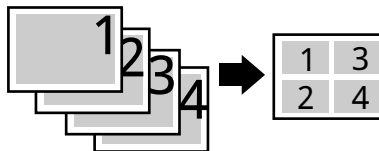
［2ページ（ヒダリ）］

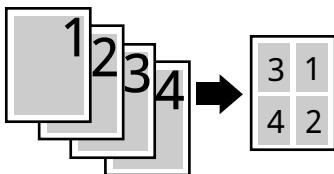
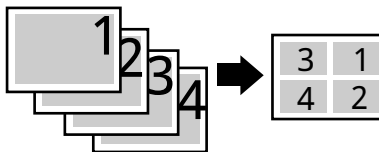
２ページ分のデータを左または上から並べてプリントします。

［2ページ（ミギ）］

２ページ分のデータを右または下から並べてプリントします。

［4ページ（ヨコーヒダリ）］

４ページ分のデータを、左上から横方向に並べてプリントします。

［4ページ（ヨコーミギ）］

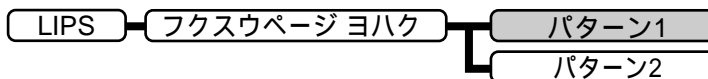
4ページ分のデータを、右上から横に並べてプリントします。

［4ページ（タテーヒダリ）］

4ページ分のデータを、左上から縦方向に並べてプリントします。

［4ページ（タテーミギ）］

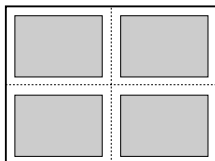
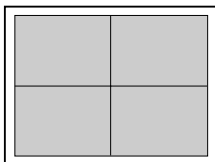
4ページ分のデータを、右上から縦方向に並べてプリントします。

メモ

- **異なるサイズのページデータを並べて1ページにプリントすることはできません。**
- **拡大／縮小と複数ページ印刷を同時に設定し縮小率が25%より小さくなる場合、複数ページ印刷は行われず正しいプリント結果にはなりません。**

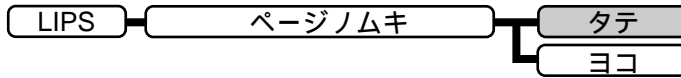
複数ページ印刷時の余白のとりかたを設定する（フクスウページヨハク）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

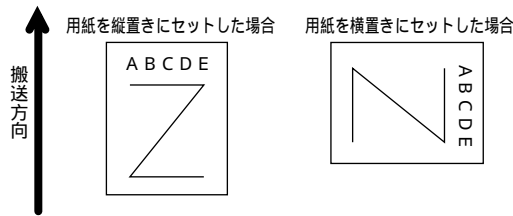
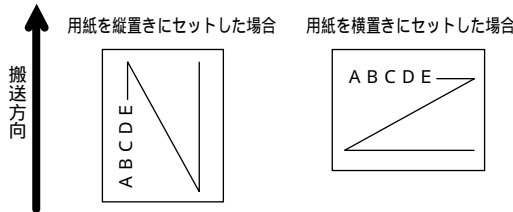
「複数ページ印刷」の機能を使って２ページ分または４ページ分を並べてプリントする場合の、余白のとりかたを設定します。

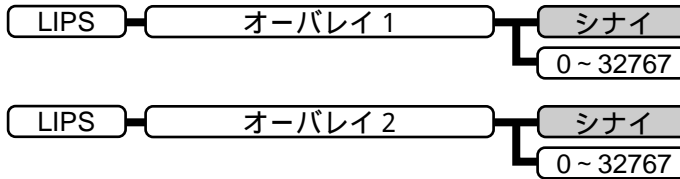
［**パターン１**］を設定した場合は、各ページが接する部分に余白をつけてレイアウトします。

［**パターン２**］を設定した場合は、各ページが接する部分に余白をつけずにレイアウトします。

- **［パターン 1］と［パターン 2］とでは余白のとりかたが違うため、画像の縮小率が異なります。［パターン 1］よりも［パターン 2］のほうが若干画像が大きくなります。**
- **［パターン 2］に設定した場合でも、用紙の長辺と短辺の比率によっては、余白がつくことがあります。**

用紙を縦に使うか横に使うかを設定する（ページノムキ）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

用紙を縦に使ってプリントするのか、横に使ってプリントするのかを設定します。

［**タテ**］：用紙をセットした向き（置きかた）に関わらず、用紙を縦に使ってプリントします。

［**ヨコ**］：用紙をセットした向き（置きかた）に関わらず、用紙を横に使ってプリントします。

オーバレイプリントの設定をする（オーバレイ１）（オーバレイ２）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

オーバレイプリントを行うかどうかを設定します。オーバレイプリントを行う場合は、オーバレイプリントで使うフォーマットデータの番号を指定します。
オーバレイプリントとは、各ページに共通するタイトルや表組みなどのフォーマットを、あらかじめプリンタのオーバレイ領域に登録し、後から別のデータを重ねてプリントする機能です。オーバレイプリントを行うと、各ページ共通のデータを、ページごとにアプリケーションソフト側から送る必要がないため、効率良くプリントすることができます。
オーバレイ領域には、１ページ分のフォーマットを最大で32,768種類登録することができます。フォーマットの作成や登録は、アプリケーションソフト側からLIPSのコントロールコマンドで行います。登録の際にはフォーマットに０〜32767の番号をつけて登録します。
プリンタ側ではオーバレイ１あるいはオーバレイ２として、どの番号のフォーマットを選択するかという設定だけを行います。

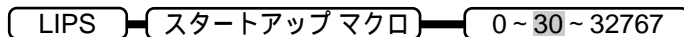
「ユーティリティメニューの機能と構造」→P.9
→ユーザーズガイド付録「オプションについて」

メモ

- **オーバレイの内容は、電源を切るかまたはハードリセットを行うと削除されます。**
- **オーバレイ領域に登録したフォーマットデータの内容や番号、サイズは、LIPS専用ユーティリティの「オーバレイプリント」、「オーバレイリスト」で確認することができます。**
- **登録するフォーマットをLIPSのコントロールコマンドでプログラミングするときは、オプションのプログラマーズマニュアルをご覧ください。**

スタートアップマクロ機能を使う（スタートアップ　マクロ）

階層図

LIPS ― スタートアップ マクロ ― 0～30～32767

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

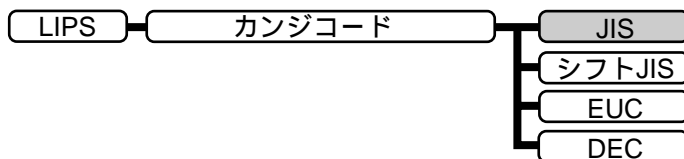
スタートアップマクロ機能を使用するかどうかを設定します。使用しない場合は［0］を、使用する場合は実行したいマクロ番号を指定します。
スタートアップマクロ機能は、あらかじめパソコン側で作成したLIPSのコントロールコマンドのプログラムを、プリンタのマクロ領域に登録しておき、リセットコマンド（ハードリセット、ソフトリセット、パラメータリセット）で実行するようにする機能です。

マクロ領域には、最大で１～32767番までの32767種類のプログラムを登録することができます。登録は、アプリケーションソフト側からLIPSのコントロールコマンドで行います。プリンタ側では、本項目で実行したいマクロの番号の選択だけを行います。選択した番号のマクロはリセットを行うたびに実行されます。

「ユーティリティメニューの機能と構造」→ P.9
→ユーザーズガイド付録「オプションについて」

- **登録したマクロの番号やサイズなどは、LIPS 専用ユーティリティの「マクロリスト」で確認することができます。**
- **登録するプログラムをLIPSのコントロールコマンドでプログラミングするときは、オプションのプログラマーズマニュアルをご覧ください。**

漢字コードの種類を設定する（カンジコード）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

パソコンで使用している漢字コード体系に応じて、漢字コードを設定します。

［JIS］：JIS 漢字コード
JIS 漢字コードに対応したアプリケーションソフトを使用するときに設定します。通常は［**JIS**］に設定しておきます。

［シフト JIS］：シフト JIS 漢字コード

アプリケーションソフトを使わず、MS-DOSのテキストデータをそのままプリントするときに使います。

［EUC］：UNIX 拡張コード(Extended Unix Code)

UNIX をOS とするワークステーションやパソコンを使用するときに設定します。

［DEC］：DEC コード

DEC 漢字コードを採用しているワークステーションを使用するときに設定します。

各漢字コードの文字セットは、次のようにG0 ～ G3の割り当てテーブルに割り当てられます。

	シフトJIS	JIS	EUC	DEC
G0	半角英数字	半角英数字	半角英数字	半角英数字
G1	半角カナ	半角カナ	全角漢字	半角カナ
G2	全角漢字	全角漢字	半角カナ	全角漢字
G3	漢字縮小	漢字縮小	全角漢字	全角漢字

GL	G0	G0	G0	G0
GR	G1	G1	G1	G3
ペア	G0～G1	G0～G1	解除	解除

お願い

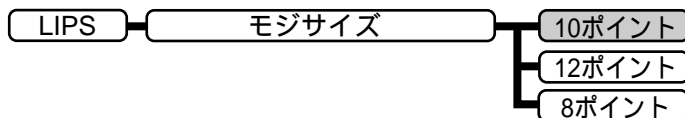
- **［シフト JIS］を設定した場合は、LIPSのC1制御命令は使用できなくなりますが、ビット長を7ビット形式で送信すれば、LIPSのコマンドとして動作します。**

メモ

- **指定された文字セットが存在しない場合は、近い属性の文字セットを使用してプリントします。**
- **本項目で漢字コードを設定するということは、漢字コード体系に応じて文字セットを割り当てテーブルに割り当てるということです。JISで規定されていない拡張文字などはプリントされません。**
  上記以外の漢字コードを使用する場合は、アプリケーションソフト側で文字セットを割り当ててください。
- **JIS 漢字コードには「新 JIS 」と「旧 JIS 」があります。新 JIS と旧 JIS の切り替えは、LIPS 専用セットアップメニューの「カンジグラフィックセット」で設定します。**
- **UNIXではEUC を採用していますが、中にはOSのデバイスドライバがJIS 漢字コードなどに変換するものもあります。詳しくは、コンピュータの操作説明書をご覧ください。**

「JIS コードの種類を切り替える」→ P.75

文字の大きさを設定する（モジサイズ）

階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

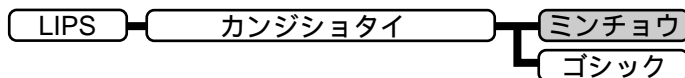
印字する文字の大きさ（文字の高さ）をポイント数で設定します。
1 ポイントは約 0.35mm（1/72"）です。
コントロールコマンドで LIPS III または LIPS IV を使用しているときと、LIPS II⁺を使用しているときとでは同じ設定値でも、実際にプリントされる大きさが異なります。

［**10 ポイント**］　：LIPS III ／ IV ＝ 10 ポイント　LIPS II⁺ ＝ 9.6 ポイント
［**12 ポイント**］　：LIPS III ／ IV ＝ 12 ポイント　LIPS II⁺＝ 12 ポイント
［**8 ポイント**］　：LIPS III ／ IV ＝ 8 ポイント　LIPS II⁺＝ 7.2 ポイント

設定値	LIPS III／IV	LIPS II⁺
8ポイント	8　文字サイズ	7.2　文字サイズ
10ポイント	10　文字サイズ	9.6　文字サイズ
12ポイント	12　文字サイズ	12　文字サイズ

●LIPS II⁺のときのポイント数（7.2、9.6）はディスプレイに表示されません。

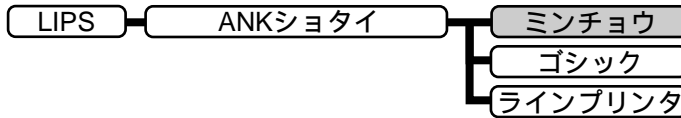
漢字の書体を設定する（カンジショタイ）

階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

漢字やひらがななどの全角文字の書体を設定します。

ミンチョウ	ゴシック
明朝体	**ゴシック体**

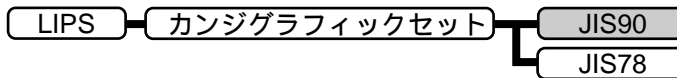
ANK文字の書体を設定する（ANKショタイ）

階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

半角英数字や半角カナなどの ANK 文字の書体を設定します。
ANK とは、Alphabet、Numeric、Kana の略です。

ミンチョウ	123　ABC　ﾐﾝﾁｮｳﾀｲ
ゴシック	123　ABC　ｺﾞｼｯｸﾀｲ
ラインプリンタ	123　ABC　ﾗｲﾝﾌﾟﾘﾝﾀ

JIS コードの種類を切り替える（カンジグラフィックセット）

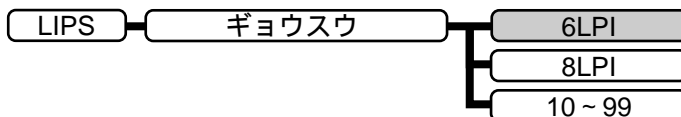
階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

［カンジコード］の種類で［**JIS**］を選択した場合に使用する、漢字グラフィックセットを設定します。
JIS 漢字コードには［**JIS90**］（新 JIS）と［**JIS78**］（旧 JIS）があります。新 JIS コードは、旧 JIS コードに特殊記号、ケイ線、漢字などを追加、変更したものです。

メモ

●グラフィックセットとは、パソコンからのコードに対して、どの文字を割り当てるかという取り決めです。それを示したものがコード表です。
●新 JIS と旧 JIS の漢字コード表は、本プリンタ付属の CD-ROM に収められています。

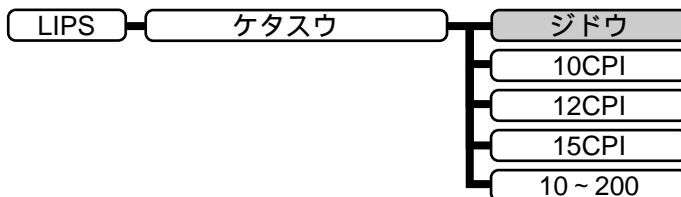
1ページの行数を設定する（ギョウスウ）

階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

１インチまたは１ページにプリントする行数を設定します。
LPI は、Line Per Inch の略で、１インチあたりの行数の単位を表します。

［**6LPI**］［**8LPI**］は、それぞれ１インチに６行、１インチに８行プリントします。それ以外の行数を設定するときは、［**10**］を選択してから▷キー、◁キーを押します。▷キーを押すと行数が増え、◁キーを押すと行数が減ります。

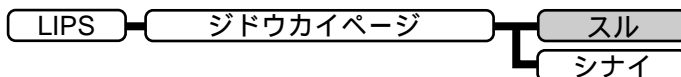
1行の文字数を設定する（ケタスウ）

階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

１インチまたは１行にプリントする文字数を設定します。
CPI は、Characters Per Inch の略で、１インチあたりの文字数の単位を表します。

［**ジドウ**］は、現在選択しているフォントに応じた文字数でプリントします。
［**10CPI**］［**12CPI**］［**15CPI**］は、それぞれ１インチに 10 桁、12 桁、15 桁プリントします。それ以外の桁数を設定するときは、［**10**］を選択してから▷キー、◁キーを押します。▷キーを押すと桁数が増え、◁キーを押すと桁数が減ります。

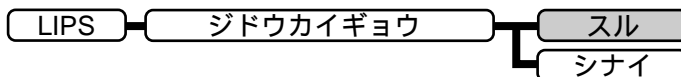
自動改ページの設定をする（ジドウカイページ）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

印字位置が有効印字領域の下端を超えようとしたとき、改ページコード（FF）を受信しなくても、自動的に改ページしてプリントするかどうかを設定します。

［**スル**］に設定すると、印字位置が有効印字領域の下端を超えようとしたとき、改ページコード（FF）を受信しなくても、自動的に次のページに印字位置を移動してプリントします。
［**シナイ**］に設定すると、パソコンから改ページコード（FF）が送られるまで印字位置を変更しません。

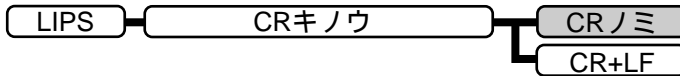
自動改行の設定をする（ジドウカイギョウ）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

印字位置が右マージンまたは有効印字領域の右端を超えようとしたとき、復帰コード（CR）や改行コード（LF）を受信しなくても、自動的に改行してプリントするかどうかを設定します。

［**スル**］に設定すると、印字位置が右マージンまたは有効印字領域の右端を超えようとしたとき、復帰コード（CR）、改行コード（LF）を受信しなくても、自動的に次の行の第一文字目に印字位置を移動します。
［**シナイ**］に設定すると、パソコンから復帰コード（CR）、改行コード（LF）が送られるまで印字位置を変更しません。

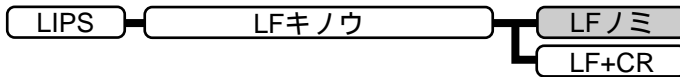
復帰コード受信時の動作を設定する（CR キノウ）

階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

復帰コード（CR）を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。

［**CR ノミ**］に設定すると、復帰コード（CR）を受信すると印字位置をその行の第一文字目（左マージン）に移動します。
［**CR ＋ LF**］に設定すると、復帰コード（CR）を受信すると印字位置を次の行の第一文字目に移動します。

改行コード受信時の動作を設定する（LF キノウ）

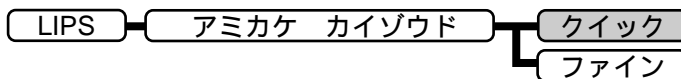
階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

改行コード（LF）を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。

［**LF ノミ**］に設定すると、改行コード（LF）を受信すると印字位置を次の行に移動します。桁位置はそのままです。
［**LF ＋ CR**］に設定すると、改行コード（LF）を受信すると印字位置を次の行の第一文字目に移動します。

網かけデータの解像度を設定する（アミカケカイゾウド）

階層図

LIPS ― アミカケ　カイゾウド ― クイック / ファイン

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

スーパーファインモード、ファインモードでプリントするときの、網かけや飾り罫線のパターンの解像度を設定します。

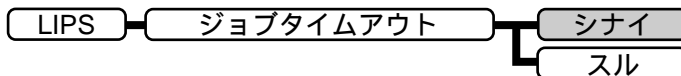
［**クイック**］に設定すると、300dpi用にデザインされたパターンを使用します。ファインモードでは２倍に、スーパーファインモードでは４倍に拡大して使用します。
［**ファイン**］に設定すると、600dpi用にデザインされたパターンを使用します。スーパーファインモードでは、２倍に拡大して使用します。［**クイック**］よりも高精度でプリントできます。

「スーパーファイン／ファイン／クイックモードの設定をする」→ P.50

メモ

●本項目は、「解像度」がファインモード、スーパーファインモードの場合のみ有効です。
●データの量や種類によっては、処理に必要なメモリが不足して、ファインモード・スーパーファインモードでプリントされない場合があります。その場合は、本項目を［クイック］に設定していた場合よりも、［ファイン］に設定していた場合のほうが、印字の精度が低下することがあります。

タイムアウト機能を有効にするかどうかを設定する（ジョブタイムアウト）

階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

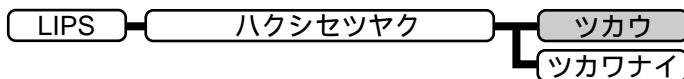
「データの終了を待たずに動作モードを切り替えるタイマーを設定する」→P.34

共通セットアップメニューで設定した［タイムアウト］を有効にするかどうかを設定します。

メモ

●LIPS対応のアプリケーションソフトからN201やESC/Pなど、他のエミュレーションモードへの自動切り替えがうまく行われない場合に、本項目を［スル］に設定すると、タイムアウトで LIPS モードのジョブを終了して自動切り替えが行われるようになります。

白紙ページを排出しないようにする（ハクシセツヤク）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

アプリケーションソフトから改ページコード（FF）を受信しても、印字するデータがない場合は、排紙をしないように設定します。
この機能を使うと、白紙が排出されることがなくなり、用紙を節約することができます。

第 5 章

N201 専用セットアップメニューの設定

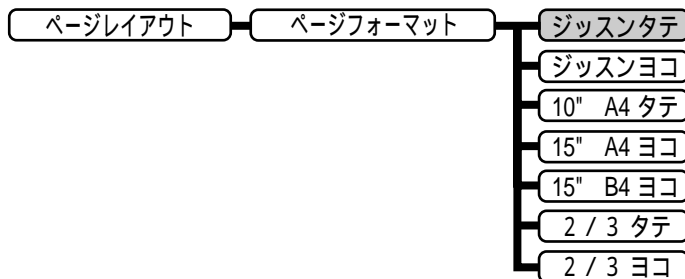
1 ページレイアウトグループを設定する

ページレイアウトグループでは、PC-PR201/80Aプリンタから本プリンタへの用紙サイズの変換や、プリントする用紙サイズの設定や位置の調整などを行うことができます。

●ページレイアウトグループの設定項目を表示するまでの操作

1. （オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。
2. （セットアップ）キーを押して、セットアップメニューを表示します。
3. （＞）キーを押して、［N201 セットアップ］を表示します。
4. （∨）キーを押して、N201 専用セットアップメニューを表示します。
5. （∨）キーを押して、ページレイアウトグループの設定項目を表示します。

ページフォーマットを設定する（ページフォーマット）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

PC-PR201/80Aプリンタ用の用紙サイズで作成されたデータを、本プリンタ用の用紙サイズに変換します。
アプリケーションソフトの印刷条件設定で選択した用紙サイズに合わせて設定してください。ページフォーマットの設定値の詳細やレイアウトについては、付録A「N201エミュレーションのページフォーマット」P.142も併せてご覧ください。
本プリンタにセットする用紙のサイズは、ページレイアウトグループの［ヨウシサイズ］で設定します。

［ジッスンタテ］：（Fmode1）
データの用紙サイズは変換せずに、実寸でプリントするように設定します。A3、B4、A4、B5、A5、はがきサイズのカット紙をPC-PR201/80Aプリンタに縦置きにセットしたときと同じプリント結果になります。

［ジッスンヨコ］：（Fmode2）
データの用紙サイズは変換せずに、実寸でプリントするように設定します。A3、B4、A4、B5、A5、はがきサイズのカット紙をPC-PR201/80Aプリンタに横置きにセットしたときと同じプリント結果になります。

「用紙サイズを設定する」→P.90
「給紙方法に合わせて用紙位置を設定する」→P.84

メモ

- **●ページレイアウトグループの［ヨウシサイズ］は、データと同じ用紙サイズに設定します。**
- **●カットシートフィーダを使用した場合と同じ用紙位置にするかどうかを設定できます。**

［10"→A4　タテ］：（Fmode3）
10"×11"連続用紙にプリントすることを想定して作成したデータ（80文字×66行）をA４サイズに縮小してポートレイトでプリントします。

［15"→A4　ヨコ］：（Fmode4）
15"×11"連続用紙にプリントすることを想定して作成したデータ（136文字×66行）をA４サイズに縮小してランドスケープでプリントします。

「用紙サイズを設定する」→P.90
「印字領域を設定する」→P.89

メモ

- **●ページレイアウトグループの［ヨウシサイズ］は、A４サイズが基準ですが、A3、B4も選択できます。**
- **●ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます。**
- **●用紙を縦に使う場合をポートレイト、横に使う場合をランドスケープと言います。**
- **●10"×11"連続用紙のサイズは、254mm×279.4mmです。15"×11"連続用紙のサイズは、381mm×279.4mmです。**

［15"→B4　ヨコ］：（Fmode6）
15"×11"連続用紙にプリントすることを想定して作成したデータ（136文字×66行）をB４サイズに縮小してランドスケープでプリントします。

「用紙サイズを設定する」→P.90
「印字領域を設定する」→P.89

メモ

- **●ページレイアウトグループの［ヨウシサイズ］は、B４サイズが基準ですが、A3も選択できます。**
- **●ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます。**
- **●用紙を横に使う場合をランドスケープと言います。**
- **●15"×11"連続用紙のサイズは、381mm×279.4mmです。**

［2／3　タテ］：（Fmode7）
ジッスンタテ用のデータを 2/3 のサイズに縮小してポートレイトでプリントします。

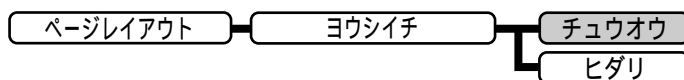
［2／3　ヨコ］：（Fmode8）
ジッスンヨコ用のデータを 2/3 のサイズに縮小してランドスケープでプリントします。

「用紙サイズを設定する」→P.90
「給紙方法に合わせて用紙位置を設定する」→次項目

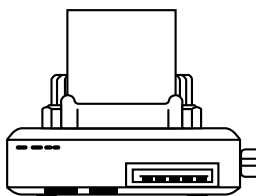
メモ

●ページレイアウトグループの［ヨウシサイズ］は、A3、B4、A4、B5、A5、はがきサイズを選択できます。ただし、中央印字モードのときは A4 サイズが基準になります。
●カットシートフィーダを使用した場合と同じ用紙位置にするかどうかを設定できます。
●用紙を縦に使う場合をポートレイト、横に使う場合をランドスケープと言います。

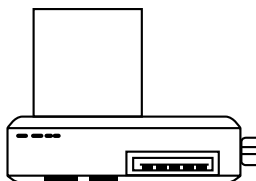
給紙方法に合わせて用紙位置を設定する（ヨウシイチ）

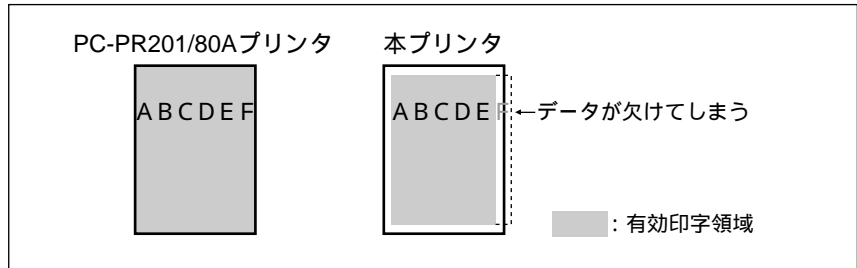
階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

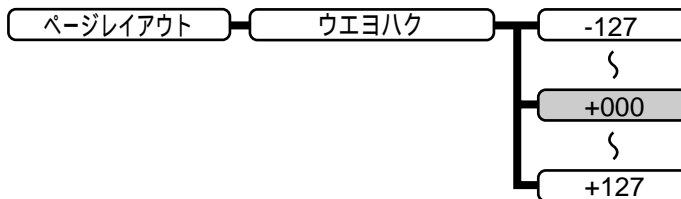
PC-PR201/80Aプリンタでカットシートフィーダを使用する場合と使用しない場合に合わせて用紙位置を設定します。
カット紙のフォーマット（［**ジッスンタテ**］［**ジッスンヨコ**］［**2／3　タテ**］［**2／3　ヨコ**］）の場合にのみ有効です。

［チュウオウ］
PC-PR201/80Aプリンタでカットシートフィーダを使用した場合と同様のプリント結果になります。

［ヒダリ］
PC-PR201/80Aプリンタでカットシートフィーダを使用せずに、紙幅スケールの左端に合わせて用紙をセットした場合と同様のプリント結果になります。

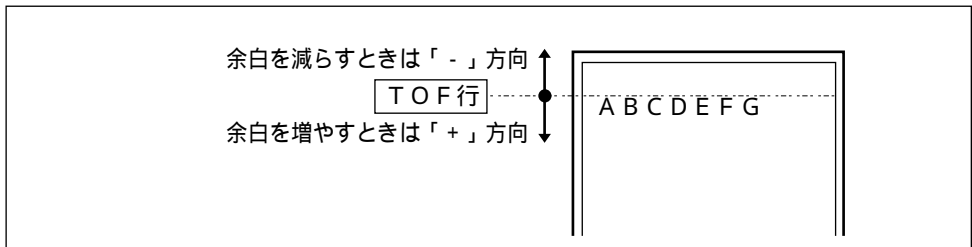
付録A「N201エミュレーションのページフォーマット」→P.142

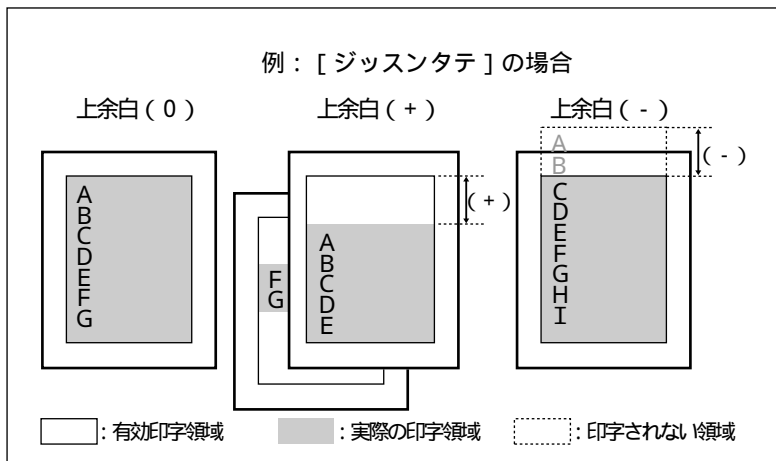
お願い

●［2／3　タテ］［2／3　ヨコ］で、［チュウオウ］に設定した場合と［ヒダリ］に設定した場合とでは、用紙サイズによっては、有効印字領域が異なることがあるのでご注意ください。

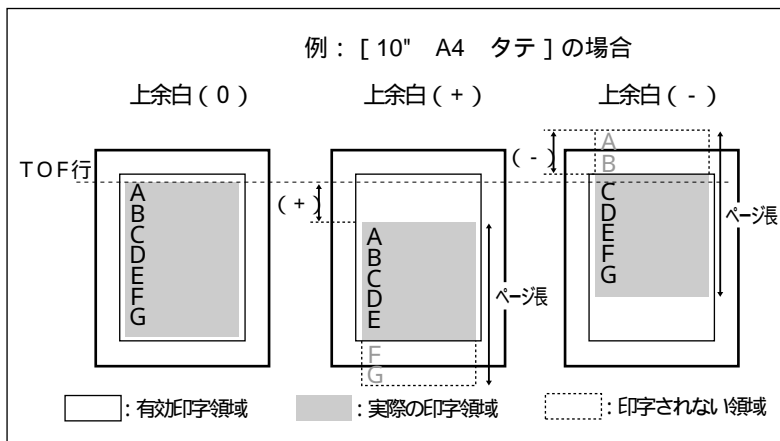
●［ヒダリ］に設定した場合は、本プリンタの有効印字領域からはみ出ると、その分だけデータが欠けることがあるのでご注意ください。
PC-PR201/80Aプリンタでは、印字領域に制限はありませんが、本プリンタでは、有効印字領域が用紙の端から5mm内側になるためです。

上余白を設定する（ウエヨハク）

階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

それぞれのページフォーマットで設定されている1行目（TOF）の上端を基準に、印字開始位置を上下方向にずらします。
「＋」の値で下方向、「－」の値で上方向に、印字開始位置をずらします。

メモ

●設定値が１増えると、ずらす位置が約0.35mm（1/72"）増えます。

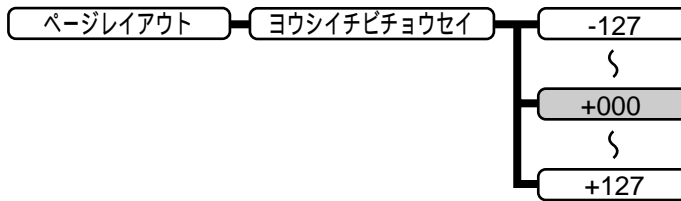
◆カット紙のページフォーマットの場合

＊上余白を増やした結果、印字データがボトム位置を超える場合は、次のページの１行目の位置からプリントされます。

＊上余白を減らした場合、有効印字領域の上端を超えた部分はプリントされません。下端はボトム位置までプリントされます（ただし、ページ長を設定していない場合）。

◆連続用紙のページフォーマットの場合

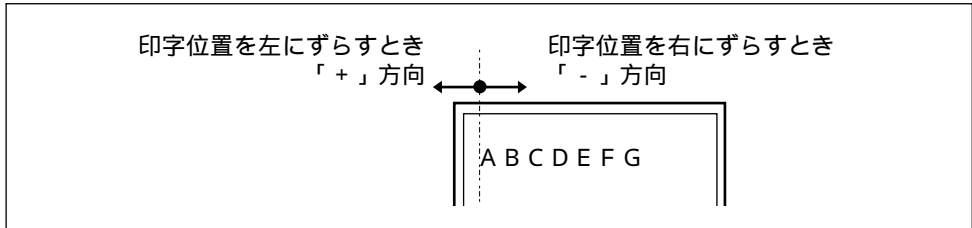
＊上余白を増やした場合、印字データがボトム位置を超えると、ボトム位置からページ長（初期状態の１行目からボトム位置までの範囲）までのあふれたデータはプリントされません。

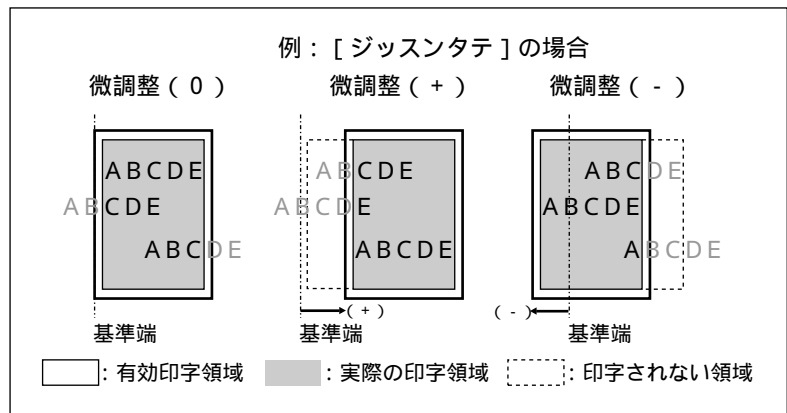
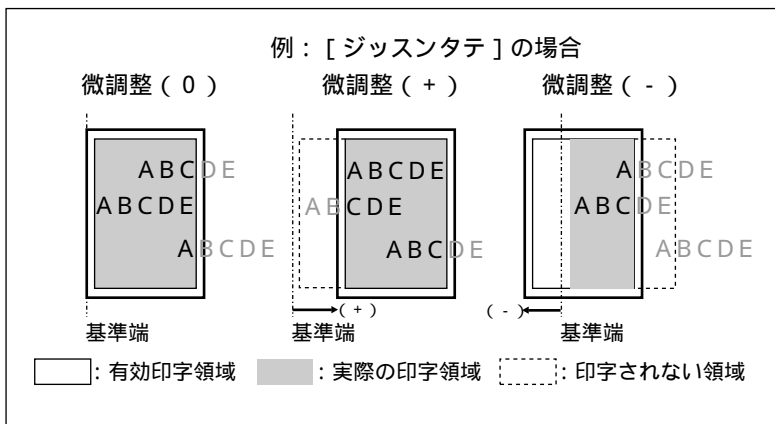
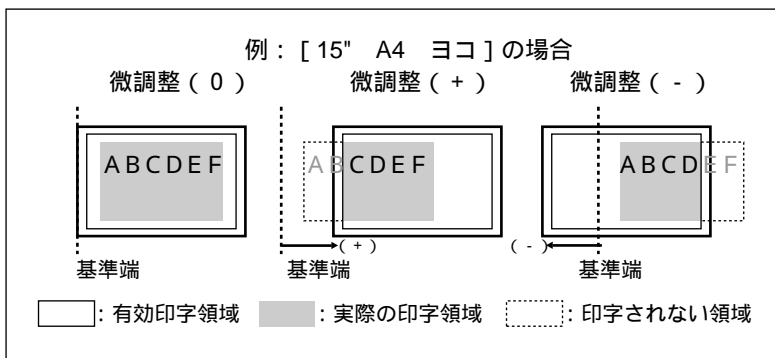
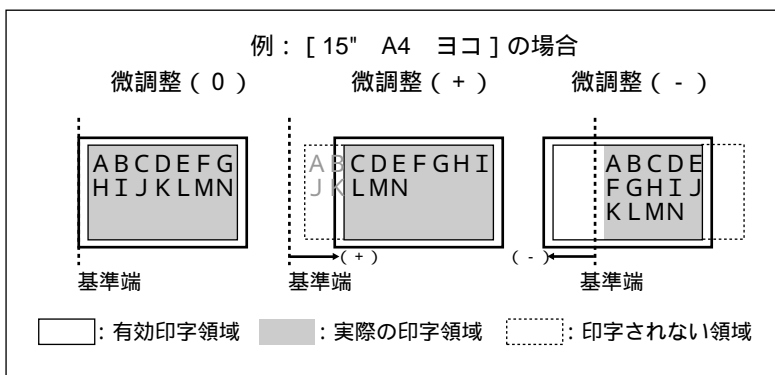
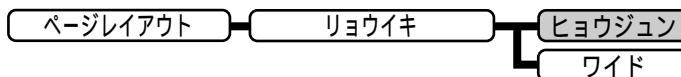
＊上余白を減らした場合、有効印字領域の上端を超えた部分のデータはプリントされません。下端はページ長までのデータをプリントします。

用紙位置を左右に微調整する（ヨウシイチビチョウセイ）

階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

用紙の左端を基準として、ページフォーマットで設定されている印字位置を左右方向にずらします。

「＋」の値で左方向、「－」の値で右方向に、設定した値だけ印字開始位置をずらします。

- **設定値が１増えると、ずらす位置が約 0.35mm（1/72"）増えます。**
- **設定後の印字位置は、用紙位置（中央 / 左端印字モード）や印字領域（標準 / ワイド領域モード）の設定によって変わります。**

◆カット紙を中央印字モードでプリントする場合

◆カット紙を左端印字モードでプリントする場合

◆連続用紙を標準領域モードでプリントする場合

◆連続用紙をワイド領域モードでプリントする場合

印字領域を設定する（リョウイキ）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

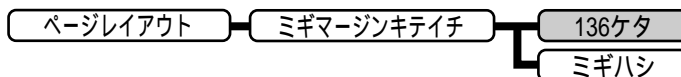
それぞれのページフォーマットにしたがったレイアウトでプリントするか、または本プリンタの有効印字領域ほぼいっぱいにプリントするかを設定します。連続用紙のページフォーマット（［**10"→A4　タテ**］［**15"→A4　ヨコ**］［**15"→B4　ヨコ**］）の場合にのみ有効です。
［**ワイド**］に設定してプリントした場合、PC-PR201/80Aプリンタのレイアウトとは異なりますが、ページフォーマットの印字領域の制限がなくなるため、用紙の紙面を有効に使ってプリントすることができます。レイアウトについては、付録A「N201エミュレーションのページフォーマット」P.142も併せてご覧ください。

［ヒョウジュン］
各ページのページフォーマットにしたがったレイアウト（PC-PR201/80Aプリンタと同じレイアウト）でプリントします。

［ワイド］
現在セットされている用紙の有効印字領域とほぼ同じ範囲まで印字領域を広げてプリントします。

メモ

●用紙のサイズが小さい場合、ワイドに設定しても、印字領域拡大の効果があまり上がらないことがあります。
詳しくは、付録A「ページフォーマットと印字範囲」P.147を参照してください。

右マージンの位置を設定する（ミギマージンキテイチ）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

実寸サイズでプリントするページフォーマット（［**ジッスンタテ**］［**ジッスンヨコ**］）のときの、右マージンの位置を設定します。

［136 ケタ］

136 桁目の位置を右マージンとします。

［ミギハシ］

現在の用紙サイズの有効印字領域の右端の位置を右マージンとします。

「給紙方法に合わせて用紙位置を設定する」→ P.84

メモ

●本項目は、実寸モード（［ジッスンタテ］［ジッスンヨコ］）において、用紙位置を［ヒダリ］に設定している場合にのみ有効です。

用紙サイズを設定する（ヨウシサイズ）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

プリントする用紙のサイズを設定します。

［**カレントヨウシ**］は、現在選択されている給紙元の用紙サイズを指します。

メモ

●［カレントヨウシ］以外を設定したときに、本項目で設定したサイズの用紙がセットされていないと、指定のサイズの用紙を要求するメッセージが表示されます。設定したサイズの用紙をセットしてください。

●共通セットアップメニューの［トレイヨウシサイズ］を［フリー］に設定して、給紙トレイからプリントする場合は、［カレントヨウシ］以外の設定値を選択してください。

2ページ分のデータを1ページにプリントする（2ページインサツセッテイ）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

アプリケーションソフト側で作成したデータがA4またはB5サイズの場合に限り、2ページ分のデータを並べて1ページにプリントできます。

[ヒダリ]

2ページ分のデータを左または上から並べてプリントします。

[ミギ]

2ページ分のデータを右または下から並べてプリントします。

メモ

- **この機能では、縮小はせずに原寸でプリントするので、アプリケーションソフト側で作成したデータがA4サイズのときはA3サイズの用紙にプリントされ、B5サイズのときはB4サイズの用紙にプリントされます。**
- **A4とB5サイズのデータを並べて1ページにプリントすることはできません。**
- **A4またはB5以外のサイズのデータを2ページ印刷しようとしても、通常の状態でプリントされます。**

2 フォントグループを設定する

フォントグループでは、漢字の書体やサイズ、1 バイトコード表などに関する設定を行います。

●フォントグループの設定項目を表示するまでの操作

1. （オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。
2. （セットアップ）キーを押して、セットアップメニューを表示します。
3. （>）キーを押して、［N201 セットアップ］を表示します。
4. （V）キーを押して、N201 専用セットアップメニューを表示します。
5. （>）キーを押して、［フォント］を表示します。
6. （V）キーを押して、フォントグループの設定項目を表示します。

漢字書体を設定する（カンジショタイ）

階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

漢字などの全角文字の書体を設定します。

「オプションの漢字書体を指定する」→P.93

オプションで追加した漢字書体を使用するときは、本項目を［**ID**］に設定したうえで、書体を ID 番号で指定します。ID 番号はフォントグループの［フォント ID］（次項目）で指定します。

明朝体	明朝体
ゴシック体	**ゴシック体**

第5章　N201専用セットアップメニューの設定

オプションの漢字書体を指定する（フォントＩＤ）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

「漢字書体を設定する」→P.92

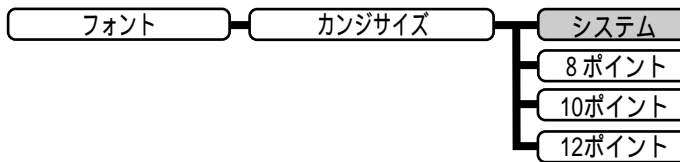
［カンジショタイ］（前項目）で［ＩＤ］を選択した場合に、実際に使用する書体のID番号を指定します。

お願い

●装着されていないオプション書体のID番号を指定しないでください。

付録B「動作モード共通のリスト－共通フォントリスト－」→P.162

メモ

●本項目は、［カンジショタイ］の項目が［ID］に設定されている場合にのみ表示されます。
●オプション書体のID番号については、共通フォントリストをご覧ください。

漢字サイズを設定する（カンジサイズ）

階層図

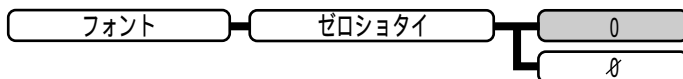
（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

漢字などの全角文字のサイズを設定します。
［**システム**］に設定すると、現在のページフォーマットにしたがった文字サイズでプリントします。

メモ

●［ジッスンタテ］［ジッスンヨコ］［10"→Ａ4　タテ］［15"→Ｂ4　ヨコ］は10ポイント相当、［15"→Ａ4　ヨコ］［2／3　タテ］［2／3　ヨコ］は8ポイント相当です。

ゼロの書体を選択する（ゼロショタイ）

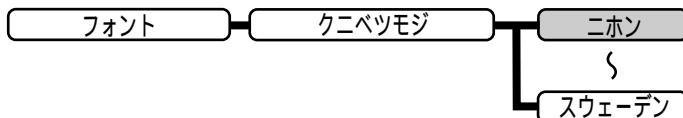
階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

半角数字のゼロの書体を、［**0**］または［**Ø**］のいずれかから選択します。

メモ

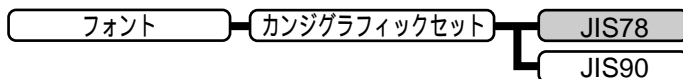
●全角文字の［0］を［Ø］にすることはできません。

国別文字を設定する（クニベツモジ）

階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

１バイトコード表に割り当てられている国別文字対応の部分に､次にあげる指定の国の文字セットをセットします。
［**ニホン**］［**USA**］［**UK**］［**ドイツ**］［**スウェーデン**］

JIS コードの種類を切り替える（カンジグラフィックセット）

階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

JIS コードで使用する漢字グラフィックセットを設定します。
JIS 漢字コードには［**JIS90**］（新 JIS）と［**JIS78**］（旧 JIS）があります。
新 JIS コードは旧 JIS コードに特殊記号、ケイ線、漢字などを追加、変更したものです。パソコン側に合わせて設定してください。

メモ

●グラフィックセットとは､パソコンからのコードに対して､どの文字を割り当てるかという取り決めです。それを示したものがコード表です。
●新 JIS と旧 JIS の漢字コード表は、本プリンタ付属の CD-ROM に収められています。
●漢字コードは、1978 年版の旧 JIS（JIS78）と、1990 年版の新 JIS（JIS90）に準拠しています。
●本プリンタでは、JIS でパターンを定めていない部分のコードに、本プリンタ特有の文字などを割り当てています。

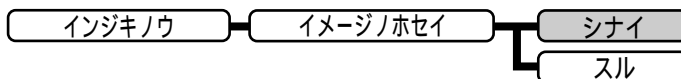
3 印字機能グループを設定する

印字機能グループでは、イメージデータの補正や、登録文字、縮小文字に関する設定を行います。

●印字機能グループの設定項目を表示するまでの操作

1. **（オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。**
2. **（セットアップ）キーを押して、セットアップメニューを表示します。**
3. **（>）キーを押して、［N201 セットアップ］を表示します。**
4. **（∨）キーを押して、N201 専用セットアップメニューを表示します。**
5. **（>）キーを押して、［インジキノウ］を表示します。**
6. **（∨）キーを押して、印字機能グループの設定項目を表示します。**

イメージデータを補正する（イメージノホセイ）

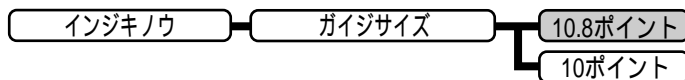
階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

矩形罫線や網掛けなどのイメージデータを補正するかどうかを設定します。通常は［**シナイ**］に設定しておきます。
次のような現象が出てしまうときに、本項目を［**スル**］に設定して、イメージデータを補正します。

- 罫線が 離れる
- 網かけ上に縞（白い部分）が入る
- 網かけに線が入る

●本項目を［スル］に設定しても、上記のような現象が改善されない場合があります。本プリンタの解像度が PC-PR201/80A プリンタとは異なるためです。

プリンタに登録された文字（外字）の印字サイズを設定する（ガイジサイズ）

階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

PC-PR201/80Aプリンタのコントロールコマンドによって登録した2バイトコード文字（漢字）の印字方法を設定します。

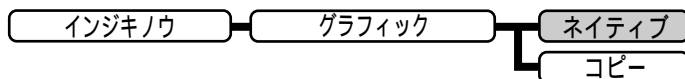
アプリケーションソフトで、外字を繋ぎ合わせて１つの図形を作り、印字するときなどは［**10.8 ポイント**］に設定します。

「漢字サイズを設定する」→P.93

［カンジサイズ］が［**システム**］のときと同じ文字サイズになるように印字したいときは、［**10 ポイント**］に設定します。

- **［10ポイント］に設定した場合、内蔵フォントと同じ文字サイズになりますが、前後の文字と正しく接続しないことがあります。**
- **［カンジサイズ］を［10 ポイント］に設定している場合や、［カンジサイズ］を［システム］に設定し、［ページフォーマット］を［ジッスンタテ］［ジッスンヨコ］［10"→ A4　タテ］［15"→ B4　ヨコ］に設定している場合に、本項目を設定した効果が出ます。**

グラフィックのドットピッチを設定する（グラフィック）

階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

ドットイメージをプリントするときの、ドットピッチ（ドットとドットの間隔）を設定します。

［**ネイティブ**］に設定すると、横方向のドットピッチを1/160"（160dpi）に設定します。
［**コピー**］に設定すると、８ビット・ドット列イメージをプリントする場合に、パソコンの画面と同じ比率でプリントできるようにドットピッチを1/80"（80dpi）に設定します。また、同じドットが縦方向に２ドット連続してプリントされます。

- **16ビット以上のドット列イメージをプリントする場合は、必ず［ネイティブ］に設定してください。**

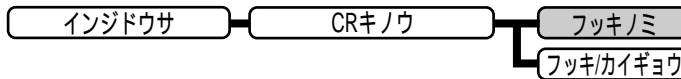
4 印字動作グループを設定する

印字動作グループでは、１行を印字したあとの改行動作の設定を行います。

●印字動作グループの設定項目を表示するまでの操作

1. （オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。
2. （セットアップ）キーを押して、セットアップメニューを表示します。
3. （>）キーを押して、［N201 セットアップ］を表示します。
4. （V）キーを押して、N201 専用セットアップメニューを表示します。
5. （>）キーを押して、［インジドウサ］を表示します。
6. （V）キーを押して、印字動作グループの設定項目を表示します。

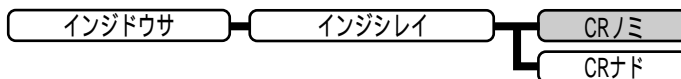
復帰コード受信時の動作を設定する（CR キノウ）

階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

復帰コード（CR）を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。

［**フッキノミ**］を選択した場合、復帰コード（CR）を受信したら、その行の第一文字目へ印字位置を移動します。
［**フッキ / カイギョウ**］を選択した場合、復帰コード（CR）を受信したら、次の行の第一文字目へ印字位置を移動します。

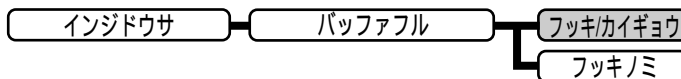
印字開始命令を設定する（インジシレイ）

階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

印字開始命令となる制御コードを設定します。

［**CRノミ**］を選択した場合、CRコードだけを印字開始命令とします。
［**CRナド**］を選択した場合、CR / LF / VT / FF / US / [ESC]a / [ESC]b コードを印字開始命令とします。

右マージンを超えたときの動作を設定する（バッファフル）

階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

印字位置が右マージンを超えた場合の印字位置の移動のしかたを設定します。

［**フッキ / カイギョウ**］を選択すると、印字位置が右マージンを超えた場合は次の行の第一文字目へ印字位置を移動します。
［**フッキノミ**］を選択すると、印字位置が右マージンを超えた場合はその行の第一文字目へ印字位置を移動します。

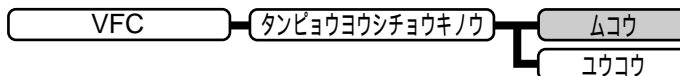
5 VFC グループを設定する

VFC グループでは、連続用紙やカット紙のページ長に関する設定をします。

● VFC グループの設定項目を表示するまでの操作

1 （オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。
2 （セットアップ）キーを押して、セットアップメニューを表示します。
3 （>）キーを押して、［N201 セットアップ］を表示します。
4 （V）キーを押して、N201 専用セットアップメニューを表示します。
5 （>）キーを押して、［VFC］を表示します。
6 （V）キーを押して、VFC グループの設定項目を表示します。

カット紙で有効になるページ長を選択する（タンピョウヨウシチョウキノウ）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

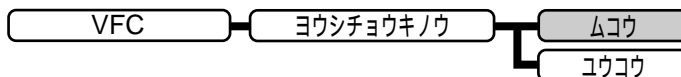
カット紙（［**ジッスンタテ**］［**ジッスンヨコ**］［**2／3　タテ**］［**2／3　ヨコ**］）のページ長を、操作パネルで設定したページ長にするかどうかを選択します。

［**ムコウ**］に設定すると、ページフォーマットで決められているページ長にしたがって改ページ動作をします。

「ページ長を設定する」→ P.100

［**ユウコウ**］に設定すると、操作パネルで指定したページ長（ボトム位置）にしたがって改ページ動作をします。ページ長は、VFC グループの［ヨウシチョウセッテイ］で設定します。

初期状態で有効になるページ長を選択する（ヨウシチョウキノウ）

階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

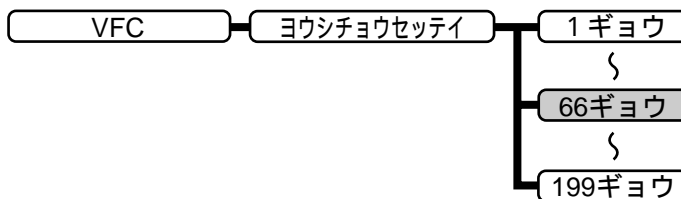
電源をオンにしたときや、リセット処理（操作パネルで（リセット）キーを押すか、アプリケーションソフトからリセットコマンドを受信したときなど）を行ったときに、操作パネルで設定したページ長を有効にするかどうかを選択します。

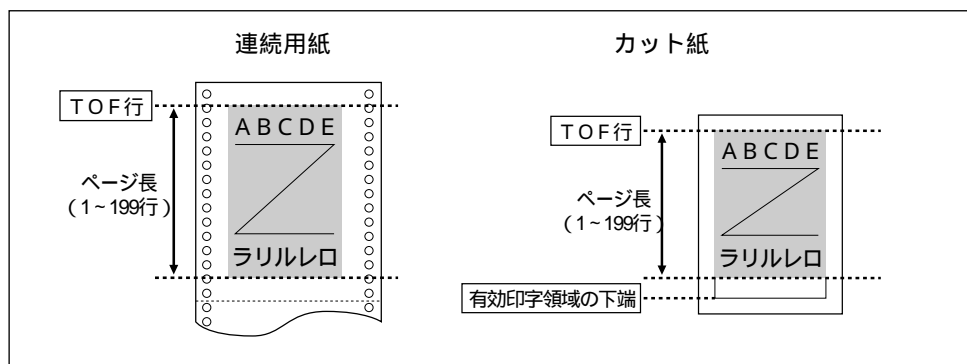
［**ムコウ**］の場合は、ページフォーマットで決められているページ長に、［**ユウコウ**］の場合は、VFC グループの［ヨウシチョウセッテイ］（次項目）で指定されたページ長に設定されます。

お願い

●カット紙の場合は、［タンピョウヨウシチョウキノウ］を［ユウコウ］に設定していないと、本項目の設定に関わらず、初期状態で有効になるページ長は、ページフォーマットで決められているものになりますのでご注意ください。

ページ長を設定する（ヨウシチョウセッテイ）

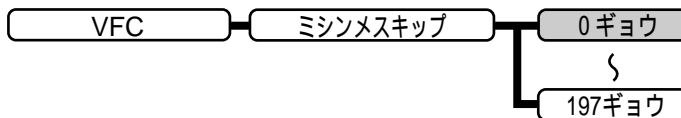
階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

カット紙および連続用紙のページ長を１ページにプリントする行数を指定して設定します。

メモ

「初期状態で有効になるページ長を選択する」
→ P.100

- **行間は１インチあたり６行（6LPI）です。（LPI は、Line Per Inch の略で、１インチあたりの行数を表す単位です。）**
- **設定値が１増えると、約 4.2mm（1/6"）ずつページ長が増えます。**
- **本項目は［ヨウシチョウキノウ］を［ユウコウ］に設定した場合にのみ表示されます。**
- **カット紙の場合、それぞれのページフォーマットで決められている印字可能行数を超えるページ長を設定しても、印字可能行数で改ページが行われます。**
- **ミシン目スキップ行数が設定されている場合は、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。**

ミシン目スキップ行数を設定する（ミシンメスキップ）

階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

ページ長で設定されている行数の、下端からプリントしない（スキップする）行数を設定します。［**0 ギョウ**］のときは、スキップしません。

メモ

- **行間は１インチあたり６行（6LPI）です。（LPI は、Line Per Inch の略で、１インチあたりの行数を表す単位です。）**
- **設定値が１増えると、約 4.2mm（1/6"）ずつスキップされる領域が増えます。**
- **カット紙および連続用紙のページフォーマットで有効です。**
- **ミシン目スキップ行数を設定した場合は、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。**

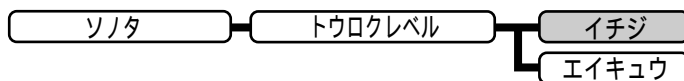
6 その他のグループを設定する

その他のグループでは、登録文字の保存方法の設定を行うことができます。

●その他のグループの設定項目を表示するまでの操作

1. **オンライン キーを押して、キーを消灯させます。**
2. **セットアップ キーを押して、セットアップメニューを表示します。**
3. **> キーを押して、[N201 セットアップ] を表示します。**
4. **∨ キーを押して、N201 専用セットアップメニューを表示します。**
5. **> キーを押して、[ソノタ] を表示します。**
6. **∨ キーを押して、その他のグループの設定項目を表示します。**

プリンタに登録された文字をどの時点まで保持するかを設定する（トウロクレベル）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

コントロールコマンドで登録した文字を、そのジョブの間だけ一時的に保存するのか、電源をオフにするまで保存するのかを設定します。

［**イチジ**］に設定すると、登録文字をジョブ中だけ保存します。ジョブが終了すると削除されます。

［**エイキュウ**］に設定すると、プリンタの電源をオフにするまで保存します。

「03　ハードリセット」と表示されるまで リセット キーを押し続けてハードリセット操作を行うと、登録内容が削除されます。

→ユーザーズガイド第6章「すべての作業を中止する（ハードリセット）」

メモ

●プリンタはデータを受信すると、コントロールコマンドを認識してプリントを開始／終了します。この処理をジョブといいます。ジョブ中は、操作パネルのジョブランプが点灯または点滅します。

●登録データと通常のデータとを別々に送信する場合は[エイキュウ]に設定してください。

第 6 章

ESC/P 専用セットアップメニューの設定

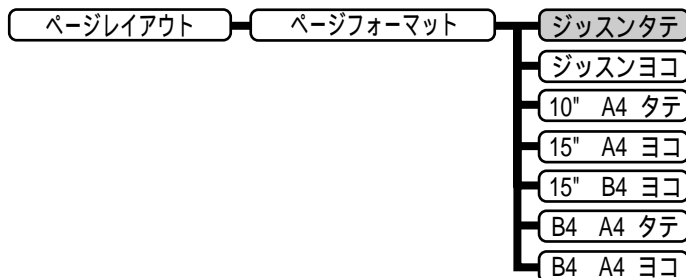
1 ページレイアウトグループを設定する

ページレイアウトグループでは、ESC/P準拠プリンタから本プリンタへの用紙サイズの変換や、プリントする用紙サイズの設定や位置の調整などを行うことができます。

●ページレイアウトグループの設定項目を表示するまでの操作

1. オンラインキーを押して、キーを消灯させます。
2. セットアップキーを押して、セットアップメニューを表示します。
3. ＞キーを押して、[ESC/P セットアップ] を表示します。
4. ∨キーを押して、ESC/P 専用セットアップメニューを表示します。
5. ∨キーを押して、ページレイアウトグループの設定項目を表示します。

ページフォーマットを設定する（ページフォーマット）

階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

ESC/P準拠プリンタ用の用紙サイズで作成されたデータを、本プリンタ用の用紙サイズに変換します。
アプリケーションソフトの印刷条件設定で選択した用紙サイズに合わせて設定してください。ページフォーマットの設定値の詳細やレイアウトについては、付録A「ESC/P エミュレーションのページフォーマット」P.150も併せてご覧ください。

本プリンタにセットする用紙のサイズは、ページレイアウトグループの［ヨウシサイズ］で設定します。

［ジッスンタテ］：（Fmode1）

データの用紙サイズは変換せずに、実寸でプリントするように設定します。A3、B4、A4、B5、A5、はがきサイズのカット紙をESC/P準拠プリンタに縦置きにセットしたときと同じプリント結果になります。

［ジッスンヨコ］：（Fmode2）

データの用紙サイズは変換せずに、実寸でプリントするように設定します。A3、B4、A4、B5、A5、はがきサイズのカット紙をESC/P準拠プリンタに横置きにセットしたときと同じプリント結果になります。

「用紙サイズを設定する」→P.111
「印字領域を設定する」→P.110

●ページレイアウトグループの［ヨウシサイズ］は、データと同じ用紙サイズに設定します。
●［ヨウシサイズ］を［A3］に設定した場合にのみ、ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます。

［10"→A4　タテ］：（Fmode3）

10"×11"連続用紙にプリントすることを想定して作成したデータ（80文字×66行）をA４サイズに縮小してポートレイトでプリントします。

［15"→A4　ヨコ］：（Fmode4）

15"×11"連続用紙にプリントすることを想定して作成したデータ（136文字×66行）をA４サイズに縮小してランドスケープでプリントします。

「用紙サイズを設定する」→P.111
「印字領域を設定する」→P.110

●ページレイアウトグループの［ヨウシサイズ］は、A４サイズが基準ですが、A3、B4も選択できます。
●ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます。
●用紙を縦に使う場合をポートレイト、横に使う場合をランドスケープと言います。
●10"×11"連続用紙のサイズは、254mm×279.4mmです。15"×11"連続用紙のサイズは、381mm×279.4mmです。

［15"→B4　ヨコ］：（Fmode6）

15"×11"連続用紙にプリントすることを想定して作成したデータ（136文字×66行）をB４サイズに縮小してランドスケープでプリントします。

「用紙サイズを設定する」→P.111
「印字領域を設定する」→P.110

●ページレイアウトグループの［ヨウシサイズ］は、B４サイズが基準ですが、A3も選択できます。
●ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます。
●用紙を横に使う場合をランドスケープと言います。
●15"×11"連続用紙のサイズは、381mm×279.4mmです。

［B4 → A4　タテ］：（Fmode7）
B4サイズのジッスンタテ用のデータを3/4のサイズに縮小してA4サイズのポートレイトでプリントします。

［B4 → A4　ヨコ］：（Fmode8）
B4サイズのジッスンヨコ用のデータを3/4のサイズに縮小してA4サイズのランドスケープでプリントします。

「用紙サイズを設定する」→ P.111
「印字領域を設定する」→ P.110

●ページレイアウトグループの［ヨウシサイズ］は、A ４サイズが基準ですが、A3、B4も選択できます。
●ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます。
●用紙を縦に使う場合をポートレイト、横に使う場合をランドスケープと言います。

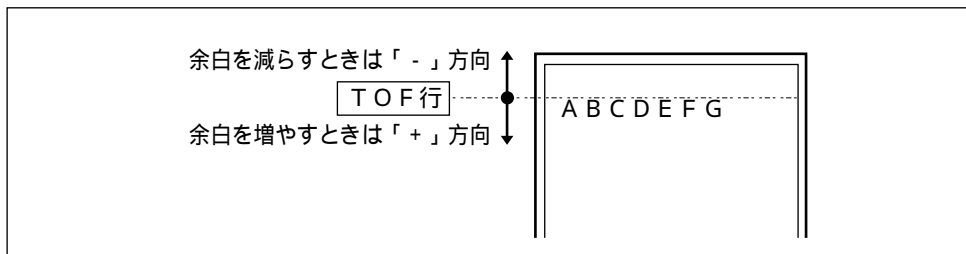
上余白を設定する（ウエヨハク）

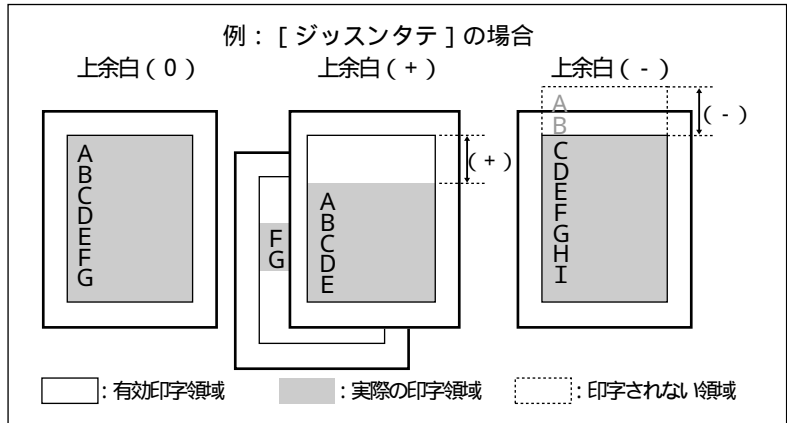
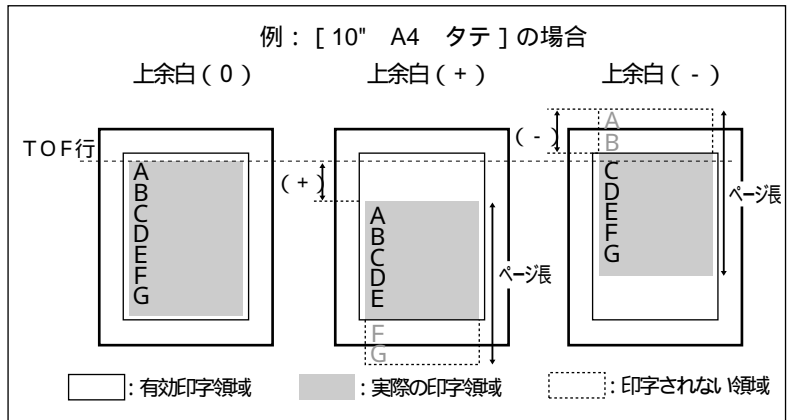
階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

それぞれのページフォーマットで設定されている１行目（TOF）の上端を基準に、印字開始位置を上下方向にずらします。

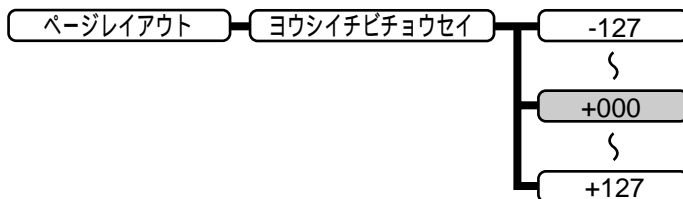
「＋」の値で下方向、「－」の値で上方向に、印字開始位置をずらします。

メモ

●設定値が１増えると、ずらす位置が約0.35mm（1/72"）増えます。

◆カット紙のページフォーマットの場合

＊上余白を増やした結果、印字データがボトム位置を超える場合は、次のページの１行目の位置からプリントされます。
＊上余白を減らした場合、有効印字領域の上端を超えた部分のデータはプリントされません。下端はボトム位置までプリントされます（ただし、ページ長を設定していない場合）。

◆連続用紙のページフォーマットの場合

＊上余白を増やした場合、印字データがボトム位置を超えると、ボトム位置からページ長（初期状態の１行目からボトム位置までの範囲）までのあふれたデータはプリントされません。
＊上余白を減らした場合、有効印字領域の上端を超えた部分のデータはプリントされません。下端はページ長までのデータをプリントします。

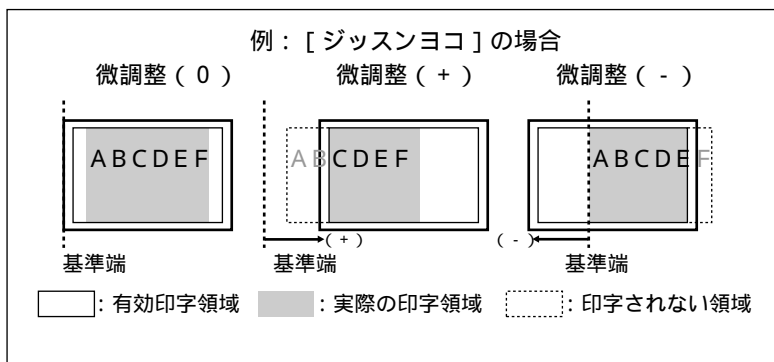
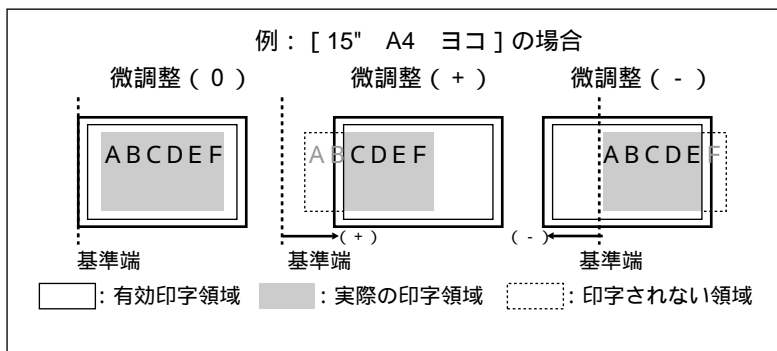
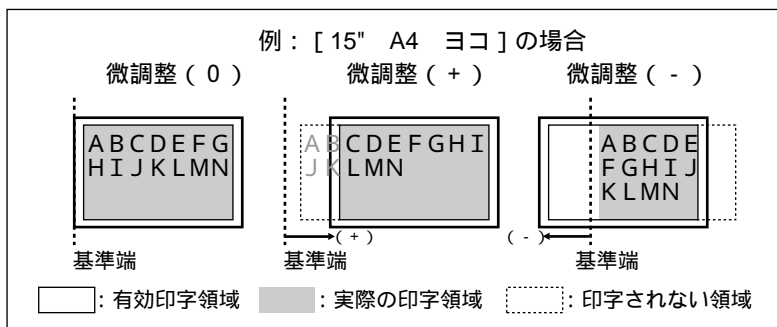
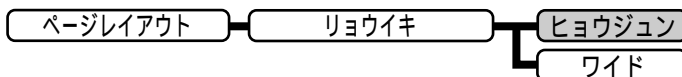
用紙位置を左右に微調整する（ヨウシイチビチョウセイ）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

用紙の左端を基準として、ページフォーマットで設定されている印字位置を左右方向にずらします。

「＋」の値で左方向、「－」の値で右方向に、設定した値だけ印字開始位置をずらします。

- 設定値が１増えると、ずらす位置が約0.35mm（1/72"）増えます。
- データの左端が欠けてプリントされる場合は、本項目の設定を調節して本プリンタの印字領域内（上下左右5mm以内）に入るようにしてください。
- 印字位置は、印字領域（標準、またはワイド領域モード）の設定によって変わります。

◆標準領域モードでの印字動作
実寸サイズでプリントするページフォーマットの場合

縮小プリントするページフォーマットの場合

◆ワイド領域モードでプリントする場合

印字領域を設定する（リョウイキ）

階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

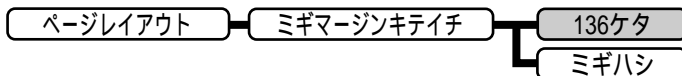
それぞれのページフォーマットにしたがったレイアウトでプリントするか、または本プリンタの有効印字領域ほぼいっぱいにプリントするかを設定します。［**ジッスンタテ**］［**ジッスンヨコ**］で［ヨウシサイズ］を［**A3**］に設定している場合および［**10"→A4　タテ**］［**15"→A4　ヨコ**］［**15"→B4　ヨコ**］［**B4→A4　タテ**］［**B4→A4　ヨコ**］の場合に有効です。
ワイドに設定してプリントした場合、ESC/P準拠プリンタのレイアウトとは異なりますが、ページフォーマットの印字領域の制限がなくなるため、用紙の紙面を有効に使ってプリントすることができます。レイアウトについては、付録A「ESC/P エミュレーションのページフォーマット」P.150も併せてご覧ください。

［ヒョウジュン］
各ページのページフォーマットにしたがったレイアウト（ESC/P準拠プリンタと同じレイアウト）でプリントします。

［ワイド］
現在セットされている用紙の有効印字領域とほぼ同じ範囲まで印字領域を広げてプリントします。

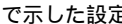
メモ

●用紙のサイズが小さい場合、［ワイド］に設定しても、印字領域拡大の効果があまり上がらないことがあります。
詳しくは、付録A「ページフォーマットと印字範囲」P.154を参照してください。

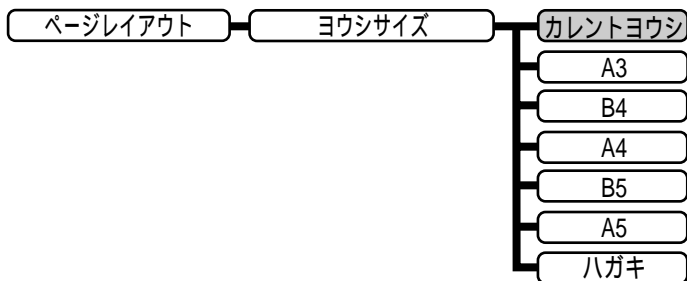
右マージンの位置を設定する（ミギマージンキテイチ）

階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

実寸サイズでプリントするページフォーマット（［**ジッスンタテ**］［**ジッスンヨコ**］）のときの、右マージンの位置を設定します。

［136 ケタ］
136桁目の位置を右マージンとします。

［ミギハシ］
現在の用紙サイズの有効印字領域の右端の位置を右マージンとします。

用紙サイズを設定する（ヨウシサイズ）

階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

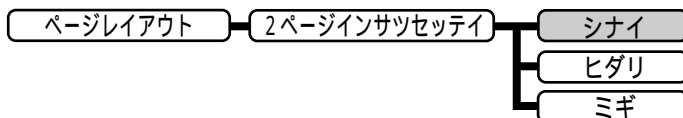
プリントする用紙のサイズを設定します。
［**カレントヨウシ**］は、現在選択されている給紙元の用紙サイズを指します。

→ユーザーズガイド第6章「困ったときには」

メモ

●［カレントヨウシ］以外を設定したときに、本項目で設定したサイズの用紙がセットされていないと、指定のサイズの用紙を要求するメッセージが表示されます。設定したサイズの用紙をセットしてください。
●共通セットアップメニューの［トレイヨウシサイズ］を［フリー］に設定して、給紙トレイからプリントする場合は、［カレントヨウシ］以外の設定値を選択してください。

2ページ分のデータを1ページにプリントする（2ページインサツセッテイ）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

アプリケーションソフト側で作成したデータがA4またはB5サイズの場合に限り、2ページ分のデータを並べて1ページにプリントできます。

[ヒダリ]

2ページ分のデータをヒダリまたは上から並べてプリントします。

用紙を縦に使ってプリントする場合

1　2　→　1　2

用紙を横に使ってプリントする場合

1　2　→　1 / 2

[ミギ]

2ページ分のデータを右または下から並べてプリントします。

メモ

- **この機能では、縮小はせずに原寸でプリントするので、アプリケーションソフト側で作成したデータがA4サイズのときはA3サイズの用紙にプリントされ、B5サイズのときはB4サイズの用紙にプリントされます。**
- **A4とB5サイズのデータを並べて1ページにプリントすることはできません。**
- **A4またはB5以外のサイズのデータを2ページ印刷しようとしても、通常の状態でプリントされます。**

2 フォントグループを設定する

フォントグループでは、漢字の書体やサイズ、1バイトコード表などに関する設定を行います。

●フォントグループの設定項目を表示するまでの操作

1 （オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。
2 （セットアップ）キーを押して、セットアップメニューを表示します。
3 （>）キーを押して、［ESC/P セットアップ］を表示します。
4 （∨）キーを押して、ESC/P 専用セットアップメニューを表示します。
5 （>）キーを押して、［フォント］を表示します。
6 （∨）キーを押して、フォントグループの設定項目を表示します。

漢字書体を設定する（カンジショタイ）

階層図

（で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

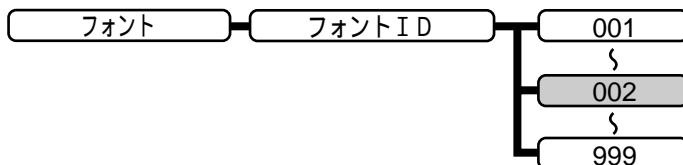
漢字などの全角文字の書体を設定します。

「オプションの漢字書体を指定する」→ P.114

オプションで追加した漢字書体を使用するときは、本項目を［**ID**］に設定したうえで、書体を ID 番号で指定します。ID 番号はフォントグループの［フォント ID］（次項目）で指定します。

明朝体	明朝体
ゴシック体	**ゴシック体**

オプションの漢字書体を指定する（フォントＩＤ）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

「漢字書体を設定する」→ P.113

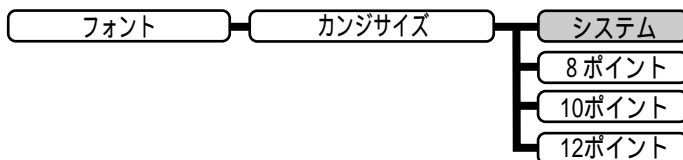
［カンジショタイ］（前項目）で［ＩＤ］を選択した場合に、実際に使用する書体の ID 番号を指定します。

付録 B「動作モード共通のリスト－共通フォントリスト－」→ P.162

お願い

●装着されていないオプション書体の ID 番号を指定しないでください。

メモ

●本項目は［カンジショタイ］を［ＩＤ］に設定した場合にのみ表示されます。
●オプション書体の ID 番号については、共通フォントリストをご覧ください。

漢字サイズを設定する（カンジサイズ）

階層図

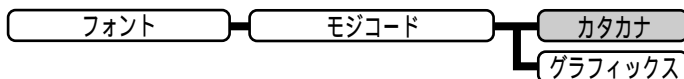
（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

漢字などの全角文字のサイズを設定します。
［**システム**］に設定すると、現在のページフォーマットにしたがった文字サイズでプリントします。

メモ

●［ジッスンタテ］［ジッスンヨコ］［10"→A4　タテ］［15"→B4　ヨコ］は10ポイント相当、［15"→ A4　ヨコ］［B4 → A4　タテ］［B4 → A4　ヨコ］は８ポイント相当です。

1バイトコード表の文字セットを設定する（モジコード）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

１バイトコード表に、カタカナまたは拡張グラフィックスの文字セットをセットします。

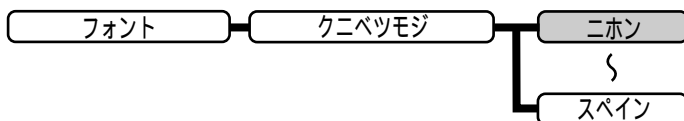
[カタカナ]
データに１バイトコードの文字があったとき、カタカナの１バイトコード表に対応した文字でプリントします。

[グラフィックス]
データに１バイトコードの文字があったとき、拡張グラフィックスの１バイトコード表に対応した文字でプリントします。

メモ

●この機能は、ESC/P 準拠プリンタの DIP スイッチの文字コード設定機能に対応しています。

国別文字を設定する（クニベツモジ）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

１バイトコード表に割り当てられている国別文字対応の部分に、次にあげる指定の国の文字セットをセットします。

［**ニホン**］、［**ノルウェー**］、［**デンマーク２**］、［**スペイン２**］、［**ラテンアメリカ**］、［**USA**］、［**フランス**］、［**ドイツ**］、［**UK**］、［**デンマーク**］、［**スウェーデン**］、［**イタリア**］、［**スペイン**］

3 印字機能グループを設定する

印字機能グループでは、イメージデータの補正や、登録文字、縮小文字に関する設定を行います。

●印字機能グループの設定項目を表示するまでの操作

1. （オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。
2. （セットアップ）キーを押して、セットアップメニューを表示します。
3. （>）キーを押して、［ESC/P セットアップ］を表示します。
4. （∨）キーを押して、ESC/P 専用セットアップメニューを表示します。
5. （>）キーを押して、［インジキノウ］を表示します。
6. （∨）キーを押して、印字機能グループの設定項目を表示します。

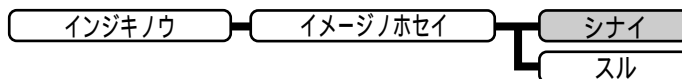
イメージデータを補正する（イメージノホセイ）

階層図

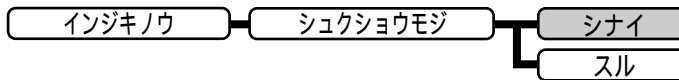
（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

矩形罫線や網掛けなどのイメージデータを補正するかどうかを設定します。通常は［**シナイ**］に設定しておきます。
次のような現象が出てしまうときに、本項目を［**スル**］に設定して、イメージデータを補正します。

- 罫線が離れる
- 網かけ上に縞（白い部分）が入る
- 網かけに線が入る

メモ

●本項目を［スル］に設定しても、上記のような現象が改善されない場合があります。本プリンタの解像度が ESC/P 準拠プリンタとは異なるためです。

縮小文字プリントを設定する（シュクショウモジ）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

１バイトコード文字（ANK 文字）を縮小してプリントするかどうかを設定します。

［**スル**］に設定すると、１バイトコード文字の横幅を 1/2 程度に縮小してプリントします。

- **この機能は、ESC/P 準拠プリンタの DIP スイッチの縮小印字機能に対応しています。**
- **15CPI の文字は縮小プリントされません。**

4 印字動作グループを設定する

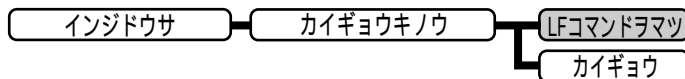
印字動作グループでは、１行を印字したあとの改行動作の設定を行います。

●印字動作グループの設定項目を表示するまでの操作

1. オンラインキーを押して、キーを消灯させます。
2. セットアップキーを押して、セットアップメニューを表示します。
3. ＞キーを押して、［ESC/P セットアップ］を表示します。
4. ∨キーを押して、ESC/P 専用セットアップメニューを表示します。
5. ＞キーを押して、［インジドウサ］を表示します。
6. ∨キーを押して、印字動作グループの設定項目を表示します。

自動改行を設定する（カイギョウキノウ）

階層図

インジドウサ ― カイギョウキノウ ― LFコマンドヲマツ / カイギョウ

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

復帰コード（CR）を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。

［**LF コマンドヲマツ**］に設定した場合、パソコンから改行コード（LF）が送られるまで改行しません。復帰のみ行い、その行の第一文字目へ印字位置を移動します。
［**カイギョウ**］に設定した場合、印字位置が右マージンまたは有効印字領域の右端を超えようとしたとき、改行コード（LF）を受信しなくても復帰／改行を行い、自動的に次の行の第一文字目へ印字位置を移動します。

メモ

●この機能は、ESC/P 準拠プリンタの DIP スイッチの自動改行に対応しています。

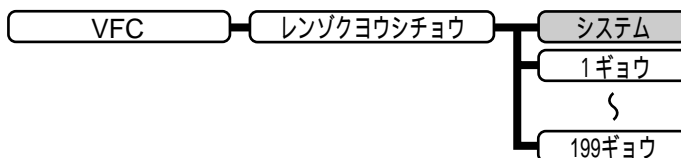
5 VFC グループを設定する

VFC グループでは、連続用紙やカット紙のページ長に関する設定をします。

● VFC グループの設定項目を表示するまでの操作

1. （オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。
2. （セットアップ）キーを押して、セットアップメニューを表示します。
3. （>）キーを押して、［ESC/P セットアップ］を表示します。
4. （∨）キーを押して、ESC/P 専用セットアップメニューを表示します。
5. （>）キーを押して、［VFC］を表示します。
6. （∨）キーを押して、VFC グループの設定項目を表示します。

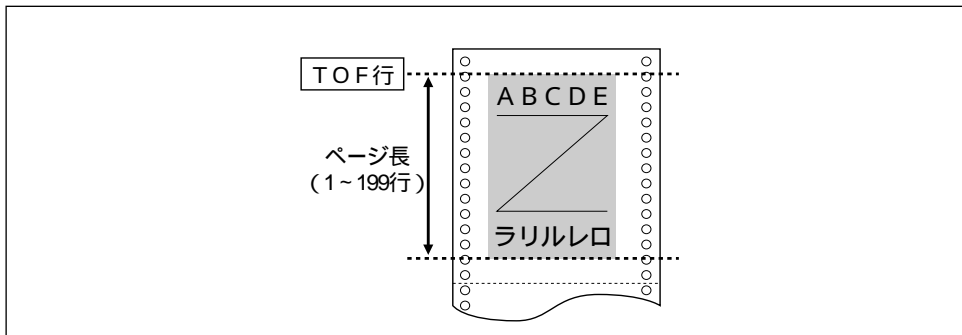
連続用紙のページ長を設定する（レンゾクヨウシチョウ）

階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

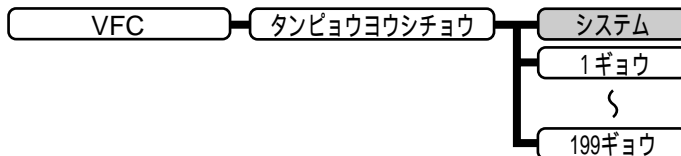
連続用紙（［**10"→ A4　タテ**］［**15"→ A4　ヨコ**］［**15"→ B4　ヨコ**］）のページ長を、ページフォーマットで決められている行数に設定するか、操作パネルで指定した行数に設定するかを選択します。

［**システム**］に設定すると、ページフォーマットで決められているページ長に設定します。

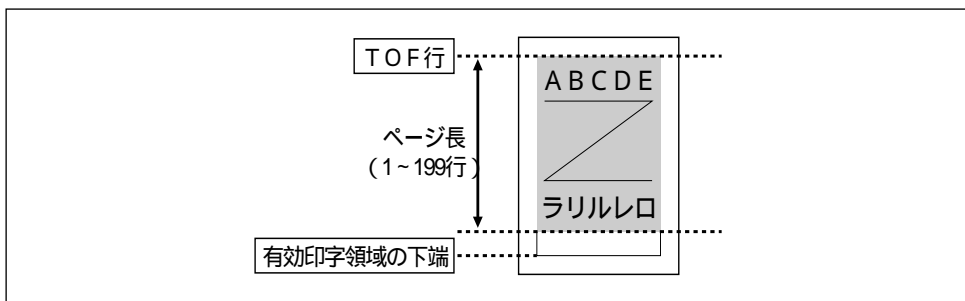
第6章　ESC/P専用セットアップメニューの設定

メモ

- 行間は１インチあたり６行（6LPI）です。（LPI は、Line Per Inch の略で、１インチあたりの行数を表す単位です。）
- 設定値が１増えると、約 4.2mm（1/6"）ずつページ長が増えます。
- 操作パネルまたはコントロールコマンドによってミシン目スキップ行数が設定されている場合は、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

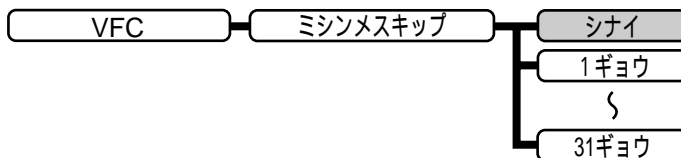
カット紙のページ長を設定する（タンピョウヨウシチョウ）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

カット紙（［**ジッスンタテ**］［**ジッスンヨコ**］［**B4→A4　タテ**］［**B4→A4　ヨコ**］）のページ長を、ページフォーマットで決められている行数に設定するか、操作パネルで指定した行数に設定するかを選択します。
［**システム**］に設定すると、ページフォーマットで決められているページ長に設定します。

メモ

- 行間は１インチあたり６行（6LPI）です。（LPI は、Line Per Inch の略で、１インチあたりの行数を表す単位です。）
- 設定値が１増えると、約 4.2mm（1/6"）ずつページ長が増えます。
- ミシン目スキップ行数を設定した場合は、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

ミシン目スキップ行数を設定する（ミシンメスキップ）

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

ページ長で設定されている行数の、下端からプリントしない（スキップする）行数を設定します。［**シナイ**］に設定すると、スキップしません。

メモ

- **行間は１インチあたり６行（6LPI）です。（LPI は、Line Per Inch の略で、１インチあたりの行数を表す単位です。）**
- **設定値が１増えると、約4.2mm（1/6"）ずつスキップされる領域が増えます。**
- **［10"→A4　タテ］［15"→A4　ヨコ］［15"→B4　ヨコ］の連続用紙のページフォーマットと、［B4 → A4　タテ］［B4 → A4　ヨコ］のワイドモードで有効です。**
- **ミシン目スキップ行数を設定した場合は、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。**

6 その他のグループを設定する

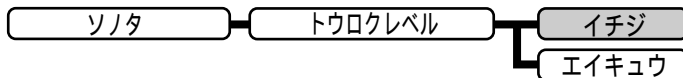
その他のグループでは、登録文字の保存方法の設定を行うことができます。

●その他のグループの設定項目を表示するまでの操作

1. （オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。
2. （セットアップ）キーを押して、セットアップメニューを表示します。
3. （>）キーを押して、［ESC/P セットアップ］を表示します。
4. （V）キーを押して、ESC/P 専用セットアップメニューを表示します。
5. （>）キーを押して、［ソノタ］を表示します。
6. （V）キーを押して、その他のグループの設定項目を表示します。

プリンタに登録された文字をどの時点まで保持するかを設定する（トウロクレベル）

階層図

ソノタ ― トウロクレベル ― イチジ / エイキュウ

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

コントロールコマンドで登録した文字を、そのジョブの間だけ保存するのか、電源をオフにするまで保存するのかを設定します。

［**イチジ**］に設定すると、登録文字をジョブ中だけ保存します。ジョブが終了すると削除されます。

［**エイキュウ**］に設定すると、プリンタの電源をオフにするまで保存します。

「ハードリセット」と表示されるまで（リセット）キーを押し続けてハードリセット操作を行うと、登録内容が削除されます。

→ユーザーズガイド第6章「すべての作業を中止する（ハードリセット）」

●プリンタはデータを受信すると、コントロールコマンドを認識してプリントを開始／終了します。この処理をジョブといいます。ジョブ中は、操作パネルのジョブランプが点灯または点滅します。

●登録データと通常のデータを別々に送信する場合は［エイキュウ］に設定してください。

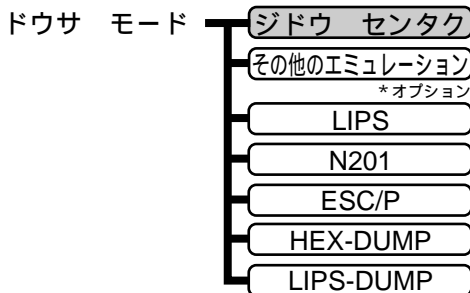
第 7 章

セットアップ以外のメニューの設定

1 動作モードメニューを設定する

●動作モードメニューを表示するまでの操作

1 （オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。
2 （動作モード）キーを押して、動作モードメニューを表示します。

階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

お使いのアプリケーションソフトのプリンタ選択画面で選択したプリンタ名の種類やプリントするデータの種類に合わせて、次のいずれかに動作モードを切り替えることができます。

[ジドウ　センタク]（自動切替モード）
パソコンから送信されたデータが、LIPS、N201エミュレーションコマンド、ESC/Pエミュレーションコマンドのいずれを使用しているのかを自動的に判別して、LIPSモード、N201エミュレーションモード、ESC/Pエミュレーションモードに切り替えます。
アプリケーションソフトからプリントする場合、通常はこのモードでお使いください。

お願い

●オプションのコントロールROMを装着している場合は、オプションのエミュレーションモードも含めて自動切り替えが行えます。ただし、本プリンタをIBM5577、FMPR359、N5273などのプリンタのエミュレーションとしてお使いの場合で、パソコン側で専用のハンドシェークが必要な場合は、オプションのコントロールモードに固定してお使いください。

「動作モード自動切り替えの対象を設定する」→P.38

メモ

●工場出荷時の状態では、オプションのエミュレーションモードも含めてすべてのモードを対象に自動切り替えを行うように設定されていますが、自動切り替えの対象となるモードを限定することもできます。

その他のエミュレーションモード（＊オプション）
オプションのエミュレーションモードに切り替えます。
オプションのコントロールROMを装着している場合にのみ、そのエミュレーションの名前が表示され、選択できるようになります。

［LIPS］（LIPS モード）
LIPS モードに切り替えます。アプリケーションソフトが使用するコントロールコマンドがLIPS に限られる場合や、自動切り替えでうまく LIPS モードに切り替わらない場合にこのモードにします。

［N201］（N201 エミュレーションモード）
N201エミュレーションモードに切り替えます。アプリケーションソフトが使用するコントロールコマンドがN201エミュレーションコマンドに限られる場合や、自動切り替えでうまく N201 エミュレーションモードに切り替わらない場合にこのモードにします。

［ESC/P］（ESC/P エミュレーションモード）
ESC/Pエミュレーションモードに切り替えます。アプリケーションソフトが使用するコントロールコマンドが ESC/P エミュレーションコマンドに限られる場合や、自動切り替えでうまく ESC/P エミュレーションモードに切り替わらない場合にこのモードにします。

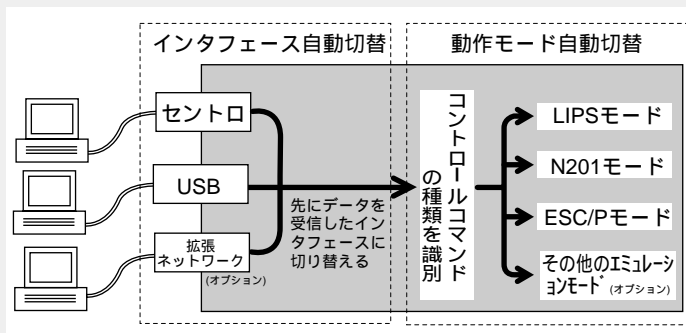
［HEX-DUMP］（ヘキサダンプモード）
パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずに 16 進コードでプリントします。
パソコンからの出力内容を検証する場合などにこのモードにします。
ヘキサダンプリストの見かたについては、付録 B「ヘキサダンプリスト」 P.158 をご覧ください。

［LIPS-DUMP］（LIPS ダンプモード）
パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずにLIPSのコントロールコマンドの形式でプリントします。パソコンからの出力内容を検証する場合などにこのモードにします。
LIPSダンプリストの見かたについては、付録 B「LIPSダンプリスト」P.158をご覧ください。

「動作モード自動切り替えの対象を設定する」→ P.38

「インタフェースの種類を設定する」→ P.57

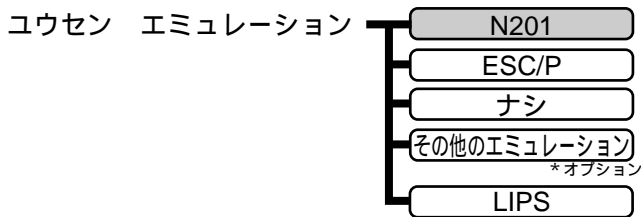
▶動作モードの 自動切り替えについて

アプリケーションソフトのプリンタ選択画面で、常に特定のプリンタ名しか選択しない（特定のコントロールコマンドしか使わない）場合以外は、動作モードは自動切り替えに設定しておくと便利です。
自動切り替えに設定した場合は、受信したデータの順にコントロールコマンドの種類を認識して動作モードを切り替えてプリントします。
自動切り替えで正しく動作モードを切り替えたいときは、ジョブタイムアウトを設定しておく必要があります。ジョブタイムアウトは、データが入力されなくなってから一定時間以上たつと、それまで動作していた動作モードを終了し、次の動作モードに切り替われる状態にする機能です。工場出荷時は、データが入力されなくなってから15秒たつと、動作モードを終了するように設定されています。
また、本プリンタにはインタフェースの種類を自動的に切り替える機能もあります。インタフェースの自動切り替えと動作モードの自動切り替えを同時に設定している場合は、先にデータを受信したインタフェースに切り替えて、そのデータのコントロールコマンドの種類を識別して動作モードを切り替えます。

2 優先エミュレーションメニューを設定する

●優先エミュレーションメニューを表示するまでの操作

1 (オンライン)キーを押して、キーを消灯させます。

2 (動作モード)キーを約 3 秒以上押して、優先エミュレーションメニューを表示します。

階層図

（　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

動作モードの自動切り替えを設定した状態で、プリンタがコントロールコマンドを識別できなかった場合に、優先的に切り替える［優先エミュレーション］を設定しておくことができます。

［N201］（N201 エミュレーションモード）
N201 エミュレーションモードを優先エミュレーションにします。

［ESC/P］（ESC/P エミュレーションモード）
ESC/P エミュレーションモードを優先エミュレーションにします。

［ナシ］
優先エミュレーションを設定しません。
コントロールコマンドを識別できなかった場合は、以前の動作モードで引続き処理をします。

その他のエミュレーションモード（＊オプション）
オプションのエミュレーションモードを優先エミュレーションにします。オプションのコントロールROMを装着している場合にのみ、そのエミュレーションの名前が表示され、選択できるようになります。

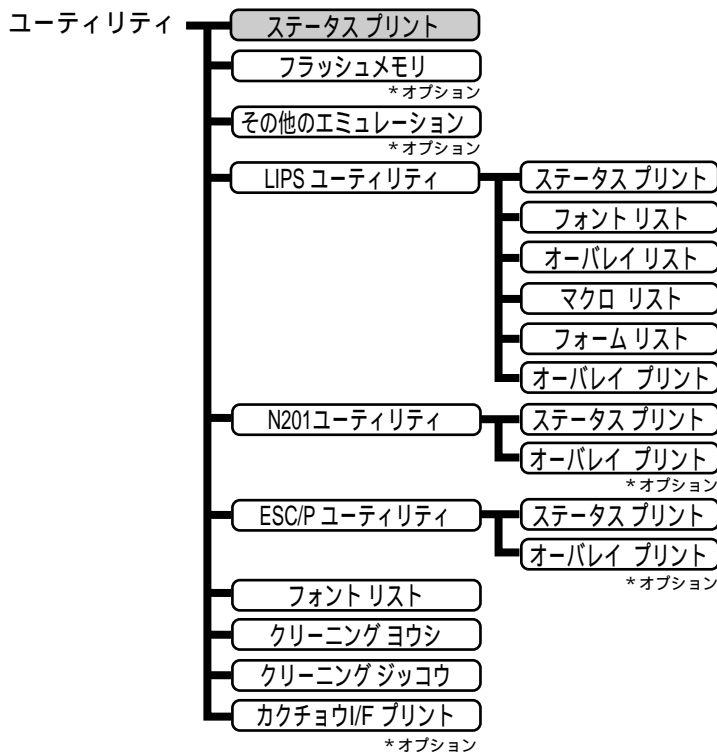
［LIPS］（LIPS モード）
LIPS モードを優先エミュレーションにします。

3 ユーティリティメニューを設定する

●ユーティリティメニューを表示するまでの操作

1 （オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。

2 （ユーティリティ）キーを押して､ユーティリティメニューを表示します。

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

プリンタ内部の状態や搭載されているフォントなどの情報のプリント､拡張フラッシュメモリのメンテナンス、定着ローラのクリーニングなどを行うことができます。

●［ステータス　プリント］（共通ステータスプリント）

搭載しているRAMの容量や、共通セットアップメニューで設定した内容などがプリントされます。動作モードに関係なく選択できます。

●［フラッシュ　メモリ］（フラッシュメモリのメンテナンス）（＊オプション）

オプションのフラッシュメモリの内容消去を行います。
ユーティリティメニューで［フラッシュ　メモリ］を選択してから［フォーマット］を選択し、内容を消去したいフラッシュメモリが装着されているスロットを選択します。
オプションのフラッシュメモリを装着している場合にのみ表示され、選択できるようになります。

●その他のエミュレーションモードのユーティリティ（＊オプション）

オプションのコントロールROMを装着している場合にのみ、そのエミュレーションの名前が表示され、選択できるようになります。
詳しい内容はオプションのコントロール ROM に添付のマニュアルをご覧ください。

●［LIPS　ユーティリティ］（LIPS 専用ユーティリティ）

LIPS モードでのプリンタの内部情報をプリントします。本項目は、動作モードが自動切り替えまたは LIPS モードのときに表示され、選択できるようになります。

ステータス　プリント
共通ステータスプリントの内容に、LIPS 専用セットアップメニューで設定した内容を加えてプリントされます。

フォント　リスト
LIPS モードで使用できるフォントの一覧がプリントされます。

オーバレイ　リスト
オーバレイ領域に登録されているフォーマットデータの番号とサイズを一覧にしてプリントします。登録されているフォーマットデータがない場合は、何もプリントされません。

マクロ　リスト
マクロ領域に登録されているマクロの番号とサイズ、マクロが保存されている場所（RAM、オプションROMなど）を一覧にしてプリントします。登録されているマクロがない場合は、何もプリントされません。

フォームリスト
フォーム領域に登録されているフォームデータとフォームキャッシュ機能によって保持されているフォーム画像の名称、保存されている場所（RAM、オプションの ROM など）、登録サイズなどを一覧にしてプリントします。登録されているフォームデータ、フォーム画像がない場合は、何もプリントされません。

オーバレイ　プリント
オーバレイ領域に登録されているフォーマットデータのうち、LIPS専用セットアップメニューのオーバレイ1、2に設定されている番号のオーバレイの内容がプリントされます。オーバレイ1、2ともに設定されている場合は、両方の内容がプリントされます。設定されていない場合は何もプリントされません。

●［N201　ユーティリティ］（N201専用ユーティリティ）

N201エミュレーションモードでのプリンタの内部情報をプリントします。本項目は、動作モードが自動切り替えまたはN201エミュレーションモードのときに表示され、選択できるようになります。

ステータス　プリント
共通ステータスプリントの内容に、N201専用セットアップメニューで設定した内容を加えてプリントされます。

オーバレイ　プリント（＊オプション）
オプションのコントロールROM（CR-MES）が装着されていると、登録されているオーバレイの内容がプリントされます。

●［ESC/P　ユーティリティ］（ESC/P専用ユーティリティ）

ESC/Pエミュレーションモードでのプリンタの内部情報をプリントします。本項目は、動作モードが自動切り替えまたはESC/Pエミュレーションモードのときに表示され、選択できるようになります。

ステータス　プリント
共通ステータスプリントの内容に、ESC/P専用セットアップメニューで設定した内容を加えてプリントされます。

オーバレイ　プリント（＊オプション）
オプションのコントロールROM（CR-MES）が装着されていると、登録されているオーバレイの内容がプリントされます。

●［フォント　リスト］（共通フォントリスト）

本プリンタに搭載されているフォントのID番号、名称、サンプルの一覧がプリントされます。動作モードに関係なく選択できます。

メモ

●共通ステータスプリント、共通フォントリストの出力サンプルについては、付録B「動作モード共通のリスト」P.161をご覧ください。LIPSのステータスプリントとフォントリスト、N201のステータスプリント、ESC/Pのステータスプリントの出力サンプルについては、付録B「動作モード専用のリスト」 P.163をご覧ください。
●各リストのプリントは、現在選択されている給紙元の用紙サイズでプリントされます。
●共通ステータスプリントは、用紙サイズに合わせて拡大／縮小されます。
●共通ステータスプリント以外のリストは、A4サイズの用紙にプリントすることをおすすめします。A4サイズ以外の用紙を使用すると、画像が欠けたり、余白があいたりします。

●［クリーニング　ヨウシ］

プリンタ内部の定着ローラをクリーニングするための用紙をプリントします。給紙トレイにA4サイズまたはレターサイズを横置きでセットし、［クリーニング　ヨウシ］を実行します。

●［クリーニング　ジッコウ］

プリントしたクリーニング用紙を使って、定着ローラのクリーニングを行います。プリントしたクリーニング用紙を印刷面を下にして給紙トレイにセットし、［クリーニング　ジッコウ］を実行すると、クリーニング用紙が給紙され、クリーニングを行います。

●定着ローラのクリーニング操作については、ユーザーズガイド　第5章「定着ローラを清掃する」をご覧ください。

●［カクチョウI/F　プリント］（＊オプション）

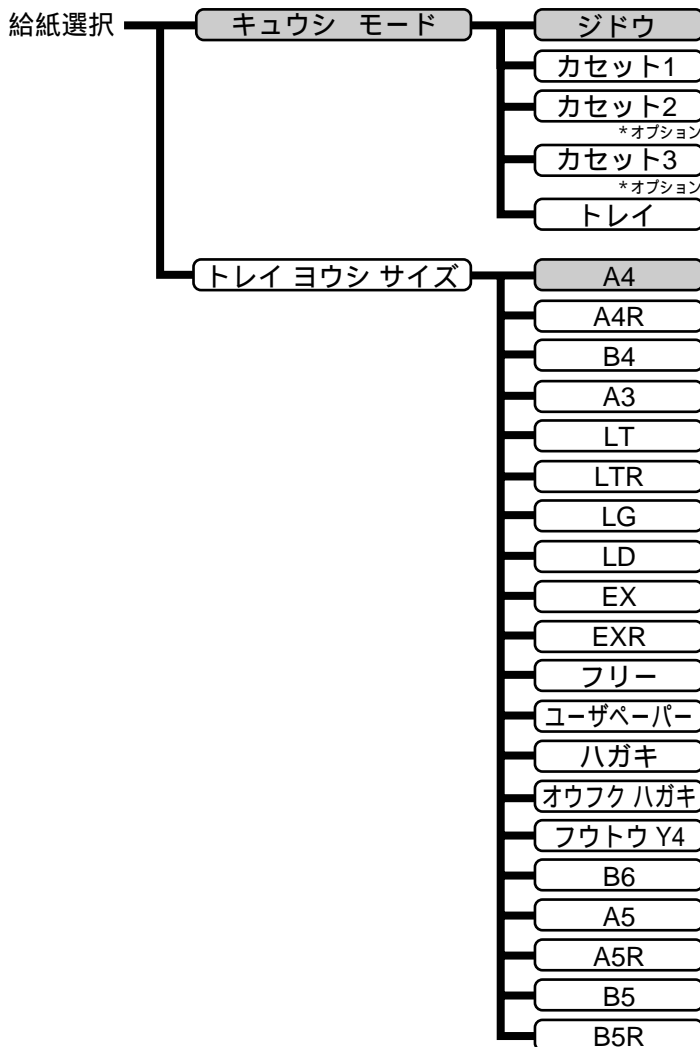
本メニュー項目対応のネットワークボードが装着された場合のみ、表示されます。［カクチョウI/F　プリント］を実行すると、装着されたネットワークボードの情報がプリントされます。ネットワークボードによってプリントされる内容は異なります。

4 給紙選択メニューを設定する

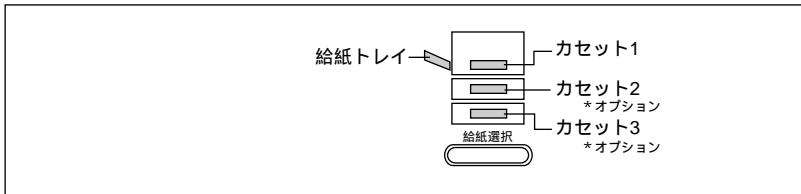
●給紙選択メニューを表示するまでの操作

1 （オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。

2 （給紙選択）キーを押します。

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

●［キュウシモード］

どの給紙カセットまたは給紙トレイからプリントするかを選択できます。選択後、該当する位置の給紙元表示ランプが点灯します。

ジドウ（自動給紙選択）
アプリケーションソフトで選択した用紙サイズに合わせて、給紙カセットまたは給紙トレイを自動的に選択して給紙します。給紙元表示ランプは、［トレイ　ユウセン］の設定が［**シナイ**］のときはカセット1が点灯し、［**スル**］のときは給紙トレイが点灯します。プリント中は、自動給紙で選択された給紙元が点灯します。

カセット 1
カセット1から給紙します。

カセット 2（＊オプション）
オプションのカセット2から給紙します。

カセット 3（＊オプション）
オプションのカセット3から給紙します。

トレイ（給紙トレイ選択）
給紙トレイから給紙します。

「自動給紙に使用する給紙トレイ、給紙カセットを選択する」→P.43

メモ

- **装着している給紙カセットおよび給紙トレイは、通常はすべて自動給紙選択の対象となりますが、対象から外すこともできます。**
- **自動給紙選択で、2つ以上の給紙元に同じサイズの用紙がセットされている場合は、給紙元表示ランプの表示に関係なく、上段の給紙元から給紙されます。用紙がなくなると、同じサイズの用紙がセットされている他の給紙元へ自動的に切り替わります。**
- **オプションの給紙カセットを装着して2段カセット給紙を行っている場合は［カセット1］［カセット 2］と表示されます。また3段カセット給紙を行っている場合は［カセット 1］［カセット 2］［カセット 3］と表示されます。**
- **給紙トレイから給紙する場合は、給紙トレイにセットした用紙のサイズをあらかじめ設定しておく必要があります。工場出荷時はA4サイズに設定されていますが、それ以外のサイズの用紙をセットする場合は、［トレイ　ヨウシ　サイズ］（→次項目）でトレイ用紙サイズを設定し直してください。**
- **給紙カセットにA4をセットするときの置きかたは、共通セットアップメニューの給紙グループの［ヨウシノムキ］の設定と合わせるか、または［ジドウ］に設定してください。**
- **給紙トレイにA4／A5／B5／LT（レター）／EX（エグゼクティブ）をセットするときの置きかたは、共通セットアップメニューの給紙グループの［ヨウシノムキ］の設定と合わせてください。**

「用紙の置きかたに合わせて用紙の向きを設定する」→P.42

●［トレイ　ヨウシ　サイズ］

給紙トレイにセットした用紙のサイズは自動的に検知されないため、本項目で用紙のサイズを設定します。

「給紙トレイにセットした用紙サイズを設定する」→P.40

メモ

●共通セットアップメニューの給紙グループの［トレイヨウシサイズ］でも同様の設定ができます。

●［ユーザペーパー］は、アプリケーションソフトなどで定形以外のサイズを独自に設定してプリントしたいときに選択します。プリント中に用紙サイズ交換を要求するメッセージが表示される場合は、オンラインキーを押してエラーを解除してからプリントしてください。

→ユーザーズガイド第4章「給紙トレイからプリントする」

●本項目を［フリー］に設定すると、1枚ずつ違うサイズの用紙にプリントしたいときなどに便利です。ただし、アプリケーションソフトなどから設定した用紙サイズと異なるサイズの用紙でプリントすると、用紙サイズ交換を要求するメッセージが表示されないので、データが欠けてプリントされることがあります。

●［フウトウ Y4］は洋形4号にのみ対応していますが、種類によってはプリントできないものもあります。また、有効印字領域は、上下左右の用紙端から10mm内側までとなります。

●［オウフク　ハガキ］の有効印字領域は、往復はがきを広げた状態で、上下左右の用紙端から5mm内側までとなります。

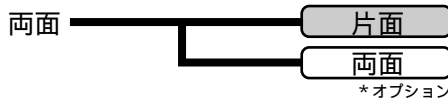
●次の用紙は略号で表示されます。
A4縦：A4R、エグゼクティブ：EX、エグゼクティブ縦：EXR、レター：LT、レター縦：LTR、リーガル：LG、レジャー：LD、A5縦：A5R、B5縦：B5R

5 両面メニューを設定する

●両面メニューの操作

1 （オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。

2 （両面）キーを押して、キーを点灯または消灯させます。

階層図

（　　　　で示した設定値は、工場出荷時の値です。）

オプションの両面ユニットが装着されている場合は､両面メニューで両面プリントの設定をすることができます。
本メニューは､（両面）キーの操作によって､両面のランプが点灯したり消灯したりするだけで、ディスプレイには表示されません。

［片面］
用紙の片面にだけプリントします。選択後、両面ランプが消灯します。

［両面］（＊オプション）
用紙の両面にプリントします。選択後、両面ランプが点灯します。
両面ユニットが装着されていないときは、警告ブザーが1回鳴ります。ランプは点灯せず、設定はできません。

付録 A

APPENDIX A

＊本プリンタ内蔵フォントのコード表（LIPS、N201、ESC/P）が、本プリンタ付属のCD-ROMの［FONTLIST］ディレクトリに収められています。詳しくは、［FONTLIST］ディレクトリ内の Readme ファイルをご参照ください。
＊本プリンタが標準で対応している３つのコントロールコマンド（LIPS、N201 エミュレーション、ESC/Pエミュレーション）の機能、書式、コード、パラメータをまとめたリストが､本プリンタ付属のCD-ROMの[COMLIST]ディレクトリに収められています。LIPS コントロールコマンドは[LIPSCONT．TXT]、N201 コントロールコマンドは[N201CONT. TXT]、ESC/P コントロールコマンドは[ESCPCONT. TXT]というファイル名で入っています。テキストファイルですので､テキストエディタなどを使ってご覧ください。
＊ LIPS コントロールコマンドのさらに詳細な書式、使用例については、オプションのプログラマーズマニュアルをご覧ください。

1 LIPS について

LIPS 内蔵フォント

●文字セットの属性について

各文字セットは、次のような属性があります。

書体

書体には、「明朝体」「ゴシック体」「ラインプリンタ」「ガーランド」など多数の種類があります。

グラフィックセット

あるグラフィックセットを選択すると、文字コードに対応するフォントパターンが決まります。グラフィックセットには、「ROMA」「KATA」「HIRA」といった各国語の文字に対応したものや、「N_hKEI」といった罫線や記号などがあります。

文字ピッチ

文字をプリントする間隔です。固定ピッチでは、単位は「CPI（１インチあたりの文字数）」で示され、コマンドで固定した文字ピッチでプリントされます。「プロポーショナル」の文字ピッチは固定ピッチではなく、各文字によって異なります。

サイズ

文字の大きさを文字の高さで示します。単位は「ポイント」で示します。１ポイントは約0.35mm（1/72"）です。「スケーラブル」のときは、属性として一定の文字サイズはありません。

スタイル

スタイルには「直立体（Upright)」と「イタリック体（Italic)」があります。

太さ

文字の太さには「標準（Medium)」「ボールド（Bold)」「ライト（Light)」があります。

●LIPS II⁺内蔵フォント一覧

文字セット名称の後にはグラフィックセットを付けて使用します。
例）　ALP10.XXX　→　ALP10.ROMA

1 バイトビットマップフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
ラインプリンタ	ALP10 . X X X	ROMA　N_USA	10.00	12.00	直立体	標準
	ALP15 . X X X	N_JPN　KATA	15.00	7.20		
	ALP1125 . X X X		11.25	9.60		
明朝体	A1224M . X X X	ROMA　N_USA	20.00	7.20	直立体	標準
	A1632M . X X X	N_JPN　KATA	15.00	9.60		
	A2040M . X X X	HIRA　N_hKEI	12.00	12.00		
	A2412M . X X X	ROMA　N_USA	10.00	3.60		
	A3216M . X X X	N_JPN　KATA	7.50	4.80		
	A4020M . X X X		6.00	6.00		
ゴシック体	A1224G . X X X	ROMA　N_USA	20.00	7.20	直立体	標準
	A1632G . X X X	N_JPN　KATA	15.00	9.60		
	A2040G . X X X	HIRA　N_hKEI	12.00	12.00		
	A2412G . X X X	ROMA　N_USA	10.00	3.60		
	A3216G . X X X	N_JPN　KATA	7.50	4.80		
	A4020G . X X X		6.00	6.00		
Garland	Garland10 . X X X	ROMA　N_Jpn	10.00	10.80	直立体	標準
	Garland12 . X X X	N / USA　N / GER	12.00			
	Garland17 . X X X	N / SWD　N / JPN	17.15			
	GarlandPS11 . X X X	N / UK　N_UK	プロポーショナル			
		N_USA　N_SWD				
		N_JPN　N_GER				
		N_KATA　N_HIRA				
		N_GRF				

2 バイトビットマップフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
明朝体	K24M . X X X	J78　J83	10.00	7.20	直立体	標準
	K32M . X X X		7.50	9.60		
	K40M . X X X		6.00	12.00		
ゴシック体	K24G . X X X		10.00	7.20		
	K32G . X X X		7.50	9.60		
	K40G . X X X		6.00	12.00		

● LIPSIII ／ IV 内蔵フォント一覧

文字セット名称の後にはグラフィックセットを付けて使用します。

例） Ncourier10.XXX → Ncourier10.ISO_UK

グラフィックセットの「*①～⑥」については、次ページの表をご覧ください。

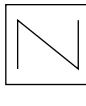
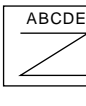
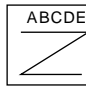
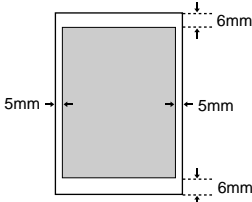
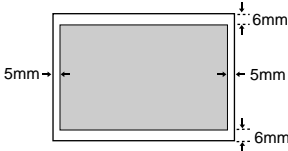
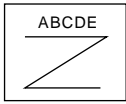
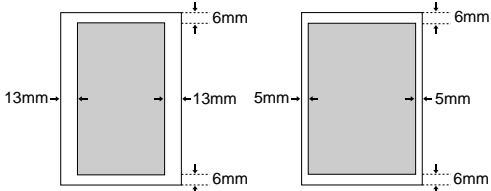
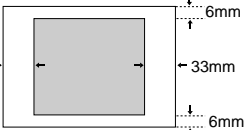
1バイトビットマップフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
Courier	Ncourier10 . X X X	*① ② ③ ④	10.00	12.00	直立体	標準
	Ncourier10 I . X X X				イタリック体	
	Ncourier10 B . X X X				直立体	ボールド
	Ncourier15 . X X X	*① ② ③	15.00	8.16		標準
	Ncourier17 . X X X	*④	16.66	8.16		
	Ncourier20 . X X X	*① ② ③	20.00	7.2		
		*④	13.60	8.16		

1バイトスケーラブルフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
明朝体	Mincho-Medium-H.XXX	ROMA KATA HIRA	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Mincho-Medium-HPS.XXX	ROMA KATA	プロポーショナル			
ゴシック体	Gothic-Medium-H.XXX	ROMA KATA HIRA	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Gothic-Medium-HPS.XXX	ROMA KATA	プロポーショナル			
ラインプリンタ	LinePrinter-Bold .XXX	ROMA KATA	固定	スケーラブル	直立体	ボールド
Courier	Ncourier .XXX	*① ② ③ ⑤ ⑥	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Ncourier-Bold .XXX					ボールド
	Ncourier-Italic .XXX				イタリック体	標準
	Ncourier-BoldItalic .XXX					ボールド
Swiss	Swiss .XXX	*① ② ③ ⑤ ⑥	プロポーショナル	スケーラブル	直立体	標準
	Swiss-Bold .XXX					ボールド
	Swiss-Oblique .XXX				イタリック体	標準
	Swiss-BoldOblique.XXX					ボールド
Dutch	Dutch-Roman .XXX	*① ② ③ ⑤ ⑥	プロポーショナル	スケーラブル	直立体	標準
	Dutch-Bold .XXX					ボールド
	Dutch-Italic .XXX				イタリック体	標準
	Dutch-BoldItalic .XXX					ボールド
Symbol	Symbol .XXX	SYML SYMR	プロポーショナル	スケーラブル	直立体	ボールド

メモ

● 1バイトビットマップフォント表と1バイトスケーラブルフォント表の「*①～⑥」の部分には、次のようなグラフィックセットが入ります。

①	ISO_UK　ISO_USA　ISO_S/F　ISO_N/D　ISO_JPN　ISO_GER　ISO_FRC ISO_ITY　ISO_SPN
②	88_UK　92_NL　92_UK　92_SWD　92_GER　92_FRC　96M_UK 96M_USA　96M_S/F　96M_N/D　96M_GER　96M_FRC　96X_USA 96P_UK　96P_USA　96P_S/F　96P_NOR　96P_GER　96P_FRC
③	CN_CND　CN_NL　CN_SWS　CN_UK　CN_USA　CN_SWD　CN_N/D CN_JPN　CN_GER　CN_FRC
④	IBMR1　IBMR2　IBM850　IBMP　IBM860　IBM863　IBM865　IBML
⑤	IBMR1　IBMR2　IBM850　IBM819　IBMP　IBM860　IBM863　IBM865 IBM1004　IBML　IBML2　Win31L　Win31R　Win98R　TURKISH
⑥	PSR　PSL

2バイトスケーラブルフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
明朝体	Mincho-Medium.XXX	J78　J90	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Mincho-Medium-PS.XXX		プロポーショナル			
角ゴシック体	Gothic-Medium.XXX	J78　J90	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Gothic-Medium-PS.XXX		プロポーショナル			

付録A

2 N201について

N201エミュレーションのページフォーマット

設定値名	実寸　縦（Fmode1）	実寸　横（Fmode2）
	カット紙の場合のページフォーマット	
ページフォーマット	PC-PR201/80A：縦置き レーザショット：縦送り　横送り ABCDE PC-PR201/80Aプリンタにカット紙を縦置きにセットしてプリントするときのフォーマット。PC-PR201/80Aプリンタと同じ改行ピッチ、文字間隔で、実寸、ポートレイトでプリント	PC-PR201/80A：横置き レーザショット：縦送り　横送り ABCDE PC-PR201/80Aプリンタにカット紙を横置きにセットしてプリントするときのフォーマット。PC-PR201/80Aプリンタと同じ改行ピッチ、文字間隔で、実寸、ランドスケープでプリント
用紙サイズ	A3,B4,A4,B5,A5,はがきサイズ。N201専用セットアップメニューの［ヨウシイチ］で［チュウオウ］（カットシートフィーダ使用）と［ヒダリ］（カットシートフィーダ不使用）を選択できます。	Fmode1と同じ
印字文字	初期状態で10ポイントのフォント	Fmode1と同じ
イメージの印字	プリンタの解像度が異なるため、PC-PR201/80Aプリンタとは印字結果が若干異なります	Fmode1と同じ
印字領域	A4サイズ 上6mm、左5mm、右5mm、下6mm ■ 印字領域	A4サイズ 上6mm、左5mm、右5mm、下6mm ■ 印字領域
第一文字目の印字位置	先頭行（TOF行）の左マージン位置	Fmode1と同じ
右マージン	用紙サイズに関係なく、初期状態で345.4mm（13.6"）、またはN201専用セットアップメニューやコントロールコマンドで設定した右マージン位置（有効印字領域の右端を越えた場合は、はみ出たデータはプリントされません）	Fmode1と同じ
ボトム位置	PC-PR201/80Aプリンタのカットシートフィーダの用紙エンド検出とほぼ同じ位置、またはN201専用セットアップメニューやコントロールコマンドで設定したページ長	Fmode1と同じ

2／3　縦（Fmode7）		2／3　横（Fmode8）	
カット紙の場合のページフォーマット			
PC-PR201/80A	レーザショット	PC-PR201/80A	レーザショット
縦置き	縦送り　横送り	横置き	縦送り　横送り
PC-PR201/80Aプリンタに縦置きにセットしたカット紙を縦方向、横方向ともに2/3に縮小してプリントするときのフォーマット。用紙のほぼ中央にポートレイトでプリント		PC-PR201/80Aプリンタに横置きにセットしたカット紙を縦方向、横方向ともに2/3に縮小してプリントするときのフォーマット。用紙のほぼ中央にランドスケープでプリント	
Fmode1と同じ		Fmode1と同じ	
初期状態で８ポイントのフォントを、若干縮小して印字		Fmode7と同じ	
プリンタの解像度の違いや縮小印刷のため、PC-PR201/80Aプリンタの印字結果とは見た目が異なります		Fmode7と同じ	
中央印字モード（B4サイズの場合）　左端印字モード（A4/A3/B5/B4サイズの場合） 6mm 13mm 13mm 6mm　6mm 5mm 5mm 6mm 印字領域		中央印字モード（A4サイズの場合） 6mm 33mm 33mm 6mm 左端印字モード（A4/A3/B5/B4サイズの場合） 6mm 5mm 5mm 6mm 印字領域	
Fmode1と同じ		Fmode1と同じ	
用紙サイズに関係なく、初期状態で345.4mm（13.6"）（有効印字領域の右端を越えた場合は、はみ出たデータはプリントされません）		Fmode7と同じ	
Fmode1と同じ		Fmode1と同じ	

付録A

<table>
<tr><th>設定値名</th><th colspan="2">10”→A4　縦（Fmode3）</th><th colspan="2">15”→A4　横（Fmode4）</th></tr>
<tr><td rowspan="3">ページフォーマット</td><td colspan="4">連続用紙の場合のページフォーマット</td></tr>
<tr><td>PC-PR201/80A
10"×11"
ABCDE
10"×11"</td><td>レーザショット
縦送り ABCDE A4
横送り ABCDE A4</td><td>PC-PR201/80A
15"×11"
ABCDE
15"×11"</td><td>レーザショット
縦送り ABCDE A4
横送り ABCDE A4</td></tr>
<tr><td colspan="2">PC-PR201/80Aプリンタに10"×11"の連続用紙をセットしてプリントするときのフォーマット。A4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）にポートレイトでプリント</td><td colspan="2">PC-PR201/80Aプリンタに15"×11"の連続用紙をセットしてプリントするときのフォーマット。A4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）にランドスケープでプリント</td></tr>
<tr><td>用紙サイズ</td><td colspan="2">A3,B4,A4サイズ（A4より小さい用紙へのプリントは保証しません）
A3,B4サイズを使用した場合でもA4サイズと同じ比率で縮小されプリント</td><td colspan="2">Fmode3と同じ</td></tr>
<tr><td>印字文字</td><td colspan="2">初期状態で10ポイントのフォントを、文字間をつめて印字</td><td colspan="2">初期状態で８ポイントのフォントを、行間をつめて印字</td></tr>
<tr><td>イメージの印字</td><td colspan="2">Fmode7と同じ</td><td colspan="2">Fmode7と同じ</td></tr>
<tr><td>印字領域</td><td colspan="2">標準モード（A4サイズの場合）
13mm 13mm 6mm 7mm
ワイド領域モード（A3サイズの場合）
6mm 7mm 6mm 8mm
標準領域モードの印字領域
ワイド領域モードの印字領域</td><td colspan="2">標準モード（A4サイズの場合）
10mm 10mm 33mm 33mm
ワイド領域モード（A3サイズの場合）
6mm 7mm 6mm 8mm
標準領域モードの印字領域
ワイド領域モードの印字領域</td></tr>
<tr><td>第一文字目の印字位置</td><td colspan="2">標準領域モード：先頭行（TOF行）の左マージン位置</td><td colspan="2">Fmode3と同じ</td></tr>
<tr><td>右マージン</td><td colspan="2">標準領域モード：用紙サイズに関係なく、初期状態で345.4mm（13.6"）（有効印字領域の右端を越えた場合は、はみ出たデータはプリントされません）
ワイド領域モード：有効印字領域の右端とほぼ同じ位置</td><td colspan="2">Fmode3と同じ</td></tr>
<tr><td>ボトム位置</td><td colspan="2">標準領域モード:初期状態の印字開始位置から279.4mm（11"）（実際の用紙上では269.2mm {10.6"}）下、またはN201専用セットアップメニューやコントロールコマンドで設定したページ長
ワイド領域モード:有効印字領域の下端とほぼ同じ位置</td><td colspan="2">標準領域モード:初期状態の印字開始位置から279.4mm（11"）（実際の用紙上では210.8mm {8.3"}）下、またはN201専用セットアップメニューやコントロールコマンドで設定したページ長
ワイド領域モード:有効印字領域の下端とほぼ同じ位置</td></tr>
</table>

15”→B4　横（Fmode6）	
連続用紙の場合のページフォーマット	
PC-PR201/80A	レーザショット
PC-PR201/80Aプリンタに15"×11"の連続用紙をセットしてプリントするときのフォーマット。B4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）にランドスケープでプリント	
A3,B4サイズ（B4より小さい用紙へのプリントは保証しません。） A3サイズを使用した場合でもB4サイズと同じ比率で縮小されプリント	
初期状態で10ポイントのフォントを、行間をつめて印字	
Fmode3と同じ	
標準モード（B4サイズの場合） 標準領域モードの印字領域 ワイド領域モードの印字領域	
Fmode3と同じ	
Fmode3と同じ	
標準領域モード：初期状態の印字開始位置から279.4mm（11"）（実際の用紙上では241.3mm{9.5"}）下、またはN201専用セットアップメニューやコントロールコマンドで設定したページ長 ワイド領域モード：有効印字領域の下端とほぼ同じ位置	

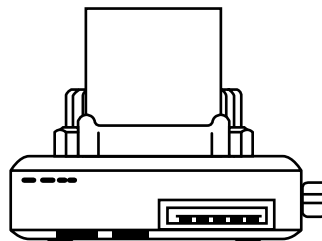
メモ

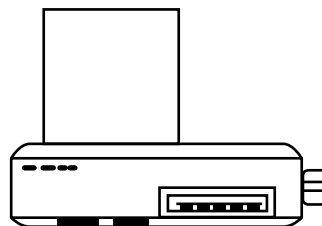
- ［2／3　タテ］および［2／3　ヨコ］では中央印字モードと左端印字モードとで用紙サイズによって印字領域が異なります。
- ［2／3　タテ］および［2／3　ヨコ］の中央印字モードでは、PC-PR201/80Aプリンタの印字範囲を2/3に縮小して、用紙のほぼ中央にプリントします。
- ［2／3　タテ］および［2／3　ヨコ］の左端印字モードでは、印字データを横方向、縦方向とも2/3に縮小して、本プリンタの有効印字領域の左端から右端までを印字領域としてプリントします。
- アプリケーションソフトで設定した用紙サイズに合わせて、プリンタ側の用紙サイズも変更します。N201専用セットアップメニューの［ヨウシサイズ］（→P.90）で設定します。［カレントヨウシ］を選択すると、用紙サイズに関係なく現在選択されている給紙元から給紙されます。
- ［10"→A4　タテ］［15"→A4　ヨコ］［15"→B4　ヨコ］では用紙の余白を有効に使ってプリントできるワイド領域モードが使えます。
- 10"×11"の連続用紙のサイズは、254mm×279.4mmです。15"×11"の連続用紙のサイズは、381mm×279.4mmです。

●PC-PR201/80Aプリンタのカットシートフィーダについて

PC-PR201/80Aプリンタでは、カット紙を連続給紙するために、カットシートフィーダを使用します。カットシートフィーダを使用するかしないかで、印字開始位置が異なります。本プリンタでは、カットシートフィーダを使用するときのモードを「中央印字モード」、カットシートフィーダを使用しないときのモードを「左端印字モード」といいます。

中央印字モード

PC-PR201/80Aプリンタでカットシートフィーダを使用するときのモードで、カットシートフィーダにセットした用紙の左端からプリントを開始するために、用紙の左側にあらかじめ余白を設定してプリントするモードです（通常は、アプリケーションソフト側で書式設定をすると、自動的にこの余白が設定されて、PC-PR201/80Aプリンタにデータが送られてきます）。
本プリンタで、このモードをエミュレートするには、N201専用セットアップメニューの［ヨウシイチ］（P.84）を［チュウオウ］に設定します。用紙サイズに応じて余白が設定されます。

左端印字モード

PC-PR201/80Aプリンタでカットシートフィーダを使用しないときのモードで、用紙の左端0mmの位置からプリントを開始し、用紙の右端いっぱいまでプリントします。
本プリンタで、このモードをエミュレートするには、N201専用セットアップメニューの［ヨウシイチ］（P.84）を［ヒダリ］に設定します。
ただし、本プリンタは用紙の左端より5mm内側からプリントを開始し、用紙の右端より5mm内側までしかプリントできません（本プリンタの有効印字領域による）。したがって、本プリンタはPC-PR201/80Aに比べて、左端から右端まででプリントできる範囲が約10mm短くなります。

●ページフォーマットと印字範囲

標準領域モード

（桁数10cpi、行数６lpi）

ﾍﾟｰｼﾞﾌｫｰﾏｯﾄ		印字範囲	A3	B4	A4	B5	A5	はがき
Fmode 1		文字数	112	97	78	67	54	35
		行　数	96	83	67	57	45	31
Fmode 2		文字数	136	136	112	97	78	54
		行　数	67	57	46	39	32	20
Fmode 3		文字数	98	90	80	×	×	×
		行　数	66	66	66	×	×	×
Fmode 4		文字数	136	136	136	×	×	×
		行　数	66	66	66	×	×	×
Fmode 6		文字数	136	136	×	×	×	×
		行　数	66	66	×	×	×	×
Fmode 7	中央	文字数	136	136	118	100	80	52
		行　数	144	124	100	86	68	47
	左端	文字数	169	145	118	101	81	53
		行　数	144	124	100	86	68	47
Fmode 8	中央	文字数	136	136	136	136	118	80
		行　数	100	86	69	59	48	30
	左端	文字数	242	209	169	145	118	81
		行　数	100	86	69	59	48	30

×：印字不可能または印字データが欠落する場合があります。
表中の文字数／行数は、上余白、用紙位置微調整、右マージン既定値初期状態の場合です。

ワイド領域モード

（桁数10cpi、行数６lpi）

ﾍﾟｰｼﾞﾌｫｰﾏｯﾄ	印字範囲	A3	B4	A4	B5	A5	はがき
Fmode 3	文字数	116	100	80	×	×	×
	行　数	98	85	68	×	×	×
Fmode 4	文字数	242	209	169	×	×	×
	行　数	99	85	69	×	×	×
Fmode 6	文字数	161	139	×	×	×	×
	行　数	77	66	×	×	×	×

×：印字不可能または印字データが欠落する場合があります。
表中の文字数／行数は、上余白、用紙位置微調整、右マージン既定値初期状態の場合です。

PC-PR201/80A プリンタとの違い

N201エミュレーションモードでは、N201対応アプリケーションソフトによるプリントができますが、PC-PR201/80A プリンタとは異なる点があります。プリントにあたっては以下の点にご注意ください。

●解像度の違いについて

PC-PR201/80A プリンタの解像度 160dpi に対し、本プリンタは解像度 600dpi または 300dpi で、各ページフォーマット毎の縮小率によってデータを変換します。これによって、プリント結果が PC-PR201/80A プリンタと異なることがあります。

イメージデータ

解像度／縮小率によってドットパターンが変換されるため、線の太さやグラフィックパターンが異なって見えることがあります。
とくに［15"→B4　ヨコ］では水平方向と垂直方向の縮小率が異なるため、イメージ全体が横長になります。

登録文字

24 × 24 ドット構成の外字は 8 ポイント相当、32 × 32 ドット構成の外字は 10 ポイント相当のドット構成に変換されるため、印字したときに文字パターンが変化したように見えることがあります。ダウンロード文字セットも同様にドット構成が変換されます。

印字間隔等

解像度／縮小率によって印字間隔が変換されるため、半端な値によって印字にズレを生じることがあります。

右マージン

文字が右マージンをわずか（１ドット未満）でも超える場合は、改行します。

●文字パターンの違いについて

文字サイズ

［ジッスンタテ］［ジッスンヨコ］［10" → A4　タテ］［15" → B4　ヨコ］では 10 ポイント、［15" → A4　ヨコ］［２／３　タテ］［２／３　ヨコ］では８ポイントの文字が印字されるため、PC-PR201/80Aプリンタより若干小さめに見えることがあります。特に縮小モードでは、ページフォーマットの縮小率よりも小さな文字サイズになります。また、ローマン文字では英数のみ文字幅が細めになります。

フォントデザイン

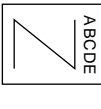
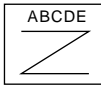
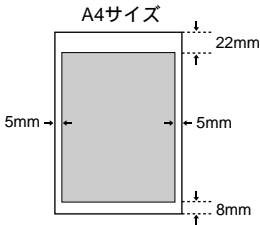
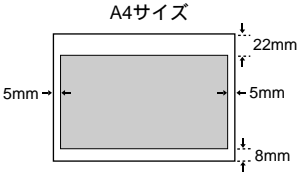
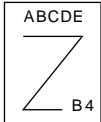
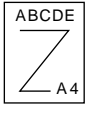
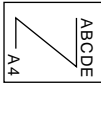
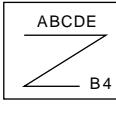
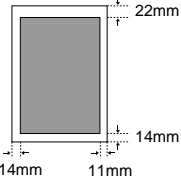
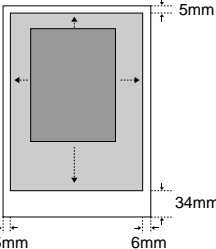
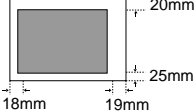
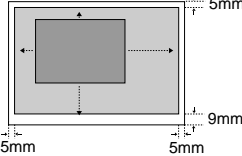
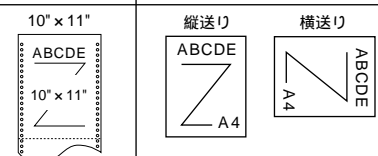
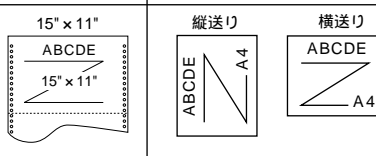
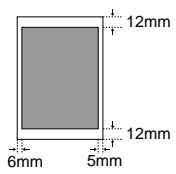
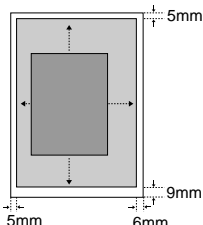
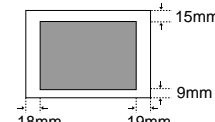
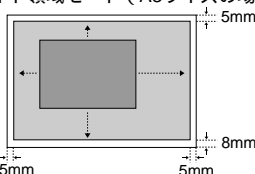
PC-PR201/80A プリンタとはフォントのデザインが異なります。このため、特殊文字等の字形や ANK ／漢字のバランスが若干異なって見えるようになります。

２バイトコードの未定義領域

２バイトコードの中で、N201では未定義の領域に本プリンタ専用の文字パターンが割り当てられている部分があります。このため、この部分のコードを印字すると本プリンタ特有のパターンが印字されます。

●その他の制限

登録文字数とメモリオーバー

文字の登録を行っているとき等にメモリが不足すると、「23　ダウンロードメモリ　フル」のメッセージが表示されます。
登録文字数を増やしたい場合は､以下のような方法で空きメモリを増やして再度プリントしてください。

- オプションの拡張 RAM の増設
- 共通セットアップメニュー／印字調整グループの［インジ　ドウサ］の項目を［トウロクユウセン］､［フォームキャッシュメモリ］の項目を［ツカワナイ］に設定して再立ち上げ

白紙の排出

N201 エミュレーションモードでは、ページ内に印字データがないと排紙を行いません。

3 ESC/P について

ESC/P エミュレーションのページフォーマット

設定値名	実寸　縦（Fmode1）	実寸　横（Fmode2）
	カット紙の場合のページフォーマット	
	ESC/P準拠プリンタ：縦置き ABCDE レーザショット：縦送り ABCDE／横送り ABCDE	ESC/P準拠プリンタ：横置き ABCDE レーザショット：縦送り ABCDE／横送り ABCDE
ページフォーマット	ESC/P準拠プリンタにカット紙を縦置きにセットしてプリントするときのフォーマット。ESC/P準拠プリンタと同じ改行ピッチ、文字間隔で、実寸、ポートレイトでプリント	ESC/P準拠プリンタにカット紙を横置きにセットしてプリントするときのフォーマット。ESC/P準拠プリンタと同じ改行ピッチ、文字間隔で、実寸、ランドスケープでプリント
用紙サイズ	A3,B4,A4,B5,A5,はがきサイズ A3サイズにプリントするときにワイド領域モードを設定できます。	Fmode1と同じ
印字文字	初期状態で10ポイントのフォント	Fmode1と同じ
イメージの印字	プリンタの解像度が異なるため、ESC/P準拠プリンタとは印字結果が若干異なります	Fmode1と同じ
印字領域	A4サイズ 上 22mm、左 5mm、右 5mm、下 8mm ■ 印字領域	A4サイズ 上 22mm、左 5mm、右 5mm、下 8mm ■ 印字領域
第一文字目の印字位置	先頭行（TOF行）の左マージン位置	Fmode1と同じ
右マージン	用紙サイズに関係なく、初期状態で345.4mm（13.6"）、またはESC/P専用セットアップメニューやコントロールコマンドで設定した右マージン位置（有効印字領域の右端を越えた場合は、はみ出たデータはプリントされません）	Fmode1と同じ
ボトム位置	ESC/P準拠プリンタのカットシートフィーダの用紙エンド検出とほぼ同じ位置、またはESC/P専用セットアップメニューやコントロールコマンドで設定したページ長	Fmode1と同じ

<table>
<tr><th colspan="2">B4→A4　縦（Fmode7）</th><th colspan="2">B4→A4　横（Fmode8）</th></tr>
<tr><td colspan="4">カット紙の場合のページフォーマット</td></tr>
<tr><td>ESC/P準拠プリンタ</td><td>レーザショット</td><td>ESC/P準拠プリンタ</td><td>レーザショット</td></tr>
<tr><td>縦置き
ABCDE B4</td><td>縦送り ABCDE A4
横送り ABCDE A4</td><td>横置き
ABCDE B4</td><td>縦送り ABCDE A4
横送り ABCDE A4</td></tr>
<tr><td colspan="2">ESC/P準拠プリンタにB4サイズのカット紙を縦置きにセットしてプリントするときのフォーマット。
A4サイズに縮小し用紙のほぼ中央（ワイド領域では有効印字領域ほぼいっぱい）に、ポートレイトでプリント</td><td colspan="2">ESC/P準拠プリンタにB4サイズのカット紙を横置きにセットしてプリントするときのフォーマット。A4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）に、ランドスケープでプリント</td></tr>
<tr><td colspan="2">A3,B4,A4サイズ（A4より小さい用紙へのプリントは保証しません）
A3,B4サイズを使用した場合でも、A4サイズと同じ比率で縮小されプリント</td><td colspan="2">Fmode7と同じ</td></tr>
<tr><td colspan="2">初期状態で８ポイントのフォントを、若干縮小して印字</td><td colspan="2">Fmode7と同じ</td></tr>
<tr><td colspan="2">プリンタの解像度の違いや縮小印刷のため、ESC/P準拠プリンタの印字結果とは見た目が異なります</td><td colspan="2">Fmode7と同じ</td></tr>
<tr><td colspan="2">標準モード（A4サイズの場合）
22mm 14mm 14mm 11mm
ワイド領域モード（A3サイズの場合）
5mm 34mm 5mm 6mm
標準領域モードの印字領域
ワイド領域モードの印字領域</td><td colspan="2">標準モード（A4サイズの場合）
20mm 25mm 18mm 19mm
ワイド領域モード（A3サイズの場合）
5mm 9mm 5mm 5mm
標準領域モードの印字領域
ワイド領域モードの印字領域</td></tr>
<tr><td colspan="2">標準領域モード：（TOF行）の左マージン位置</td><td colspan="2">Fmode7と同じ</td></tr>
<tr><td colspan="2">標準領域モード：用紙サイズに関係なく、初期状態で345.4mm（13.6"）（有効印字領域の右端を越えた場合は、はみ出たデータはプリントされません）
ワイド領域モード：印字領域は本プリンタの有効印字領域とほぼ同じです</td><td colspan="2">Fmode7と同じ</td></tr>
<tr><td colspan="2">標準領域モード：ESC/P準拠プリンタのカットシートフィーダの用紙エンド検出とほぼ同じ位置、またはESC/P専用セットアップメニューやコントロールコマンドで設定したページ長
ワイド領域モード：有効印字領域の下端とほぼ同じ位置</td><td colspan="2">Fmode7と同じ</td></tr>
</table>

設定値名	10”→A4 縦（Fmode3）	15”→A4 横（Fmode4）
ページフォーマット	連続用紙の場合のページフォーマット ESC/P準拠プリンタ：10"×11" レーザショット：縦送り／横送り ESC/P準拠プリンタに10"×11"の連続用紙をセットしてプリントするときのフォーマット。A4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）にポートレイトでプリント	ESC/P準拠プリンタ：15"×11" レーザショット：縦送り／横送り ESC/P準拠プリンタに15"×11"の連続用紙をセットしてプリントするときのフォーマット。A4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）にランドスケープでプリント
用紙サイズ	Fmode7と同じ	Fmode7と同じ
印字文字	初期状態で10ポイントのフォントを、文字間をつめて印字	初期状態で８ポイントのフォントを、行間をつめて印字
イメージの印字	Fmode7と同じ	Fmode7と同じ
印字領域	標準モード（A4サイズの場合） ワイド領域モード（A3サイズの場合） 標準領域モードの印字領域 ワイド領域モードの印字領域	標準モード（A4サイズの場合） ワイド領域モード（A3サイズの場合） 標準領域モードの印字領域 ワイド領域モードの印字領域
第一文字目の印字位置	Fmode7と同じ	Fmode7と同じ
右マージン	Fmode7と同じ	Fmode7と同じ
ボトム位置	標準領域モード:初期状態の印字開始位置から279.4mm（11"）（実際の用紙上では271.8mm{10.7"}）下、またはESC/P専用セットアップメニューやコントロールコマンドで設定したページ長 ワイド領域モード:有効印字領域の下端とほぼ同じ位置	標準領域モード:初期状態の印字開始位置から279.4mm（11"）（実際の用紙上では210.8mm{8.3"}）下、またはESC/P専用セットアップメニューやコントロールコマンドで設定したページ長 ワイド領域モード:有効印字領域の下端とほぼ同じ位置

15”→B4　横（Fmode6）	
連続用紙の場合のページフォーマット	
ESC/P準拠プリンタ	レーザショット
ESC/P準拠プリンタに15"×11"の連続用紙をセットしてプリントするときのフォーマット。B4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）にランドスケープでプリント	
A3,A4サイズ（B4より小さい用紙へのプリントは保証しません。） A3サイズを使用した場合でもB4サイズと同じ比率で縮小されプリント	
初期状態で10ポイントのフォントを、行間をつめて印字	
Fmode7と同じ	
Fmode7と同じ	
Fmode7と同じ	
標準領域モード：初期状態の印字開始位置から279.4mm（11"）（実際の用紙上では266.7mm{10.5"}）下、またはESC/P専用セットアップメニューやコントロールコマンドで設定したページ長 ワイド領域モード：有効印字領域の下端とほぼ同じ位置	

- アプリケーションソフトで設定した用紙サイズに合わせて、プリンタ側の用紙サイズも変更します。ESC/P専用セットアップメニューの［ヨウシサイズ］（→P.111）で設定します。［カレントヨウシ］を選択すると、用紙サイズに関係なく現在選択されている給紙元から給紙されます。
- ［ジッスンタテ］［ジッスンヨコ］でESC/P専用セットアップメニューの［ヨウシサイズ］を［A3］に設定している場合、および［10"→A4　タテ］［15"→A4　ヨコ］［15"→B4　ヨコ］［B4→A4　タテ］［B4→A4　ヨコ］では、用紙の余白を有効に使ってプリントできるワイド領域モードが使えます。
- 10"×11"の連続用紙のサイズは、254mm×279.4mmです。15"×11"の連続用紙のサイズは、381mm×279.4mmです。

●ページフォーマットと印字範囲

標準領域モード

（桁数　10cpi、行数　6 lpi）

ページフォーマット	印字範囲	A3	B4	A4	B5	A5	はがき
Fmode 1	文字数	112	97	78	67	54	35
	行　数	92	78	63	54	42	28
Fmode 2	文字数	136	136	112	97	78	54
	行　数	63	52	42	36	28	16
Fmode 3	文字数	80	80	80	×	×	×
	行　数	66	66	66	×	×	×
Fmode 4	文字数	136	136	136	×	×	×
	行　数	66	66	66	×	×	×
Fmode 6	文字数	136	136	×	×	×	×
	行　数	66	66	×	×	×	×
Fmode 7	文字数	97	97	97	×	×	×
	行　数	78	78	82	×	×	×
Fmode 8	文字数	136	136	136	×	×	×
	行　数	52	52	52	×	×	×

×：印字不可能または印字データが欠落する場合があります。
表中の文字数／行数は、上余白、用紙位置微調整、右マージン既定値初期状態の場合です。

ワイド領域モード

（桁数　10cpi、行数　6 lpi）

ページフォーマット	印字範囲	A3	B4	A4	B5	A5	はがき
Fmode 1	文字数	112	—	—	—	—	—
	行　数	95	—	—	—	—	—
Fmode 2	文字数	161	—	—	—	—	—
	行　数	66	—	—	—	—	—
Fmode 3	文字数	115	99	80	×	×	×
	行　数	98	84	68	×	×	×
Fmode 4	文字数	215	186	150	×	×	×
	行　数	99	85	68	×	×	×
Fmode 6	文字数	161	139	×	×	×	×
	行　数	77	66	×	×	×	×
Fmode 7	文字数	150	129	104	×	×	×
	行　数	127	109	88	×	×	×
Fmode 8	文字数	215	186	150	×	×	×
	行　数	88	76	61	×	×	×

×：印字不可能または印字データが欠落する場合があります。
表中の文字数／行数は、上余白、用紙位置微調整、右マージン既定値初期状態の場合です。

ESC/P準拠プリンタとの違い

ESC/Pエミュレーションモードでは、ESC/P対応アプリケーションソフトによるプリントができますが、ESC/P準拠プリンタとは異なる点があります。プリントにあたっては以下の点にご注意ください。

●解像度の違いについて

ESC/P準拠プリンタの解像度180dpiに対し、本プリンタは解像度600dpiまたは300dpiで、各ページフォーマット毎の縮小率によってデータを変換します。これによって、プリント結果がESC/P準拠プリンタと異なることがあります。

イメージデータ

解像度／縮小率によってドットパターンが変換されるため、線の太さやグラフィックパターンが異なって見えることがあります。
とくに［15"→B4　ヨコ］では水平方向と垂直方向の縮小率が異なるため、イメージ全体が横長になります。

登録文字

24×24ドット構成の外字は、８ポイント相当、32×32ドット構成の外字は10ポイント相当のドット構成に変換されるため、印字したときに文字パターンが変化したように見えることがあります。ダウンロード文字セットも同様にドット構成が変換されます。

印字間隔等

解像度／縮小率によって印字間隔が変換されるため、半端な値によって印字にズレを生じることがあります。

右マージン

文字が右マージンをわずか（１ドット未満）でも超える場合は、改行します。

●文字パターンの違いについて

文字サイズ

［ジッスンタテ］［ジッスンヨコ］［10"→A4　タテ］［15"→B4　ヨコ］では10ポイント、［15"→A4　ヨコ］［B4→A4　タテ］［B4→A4　ヨコ］では８ポイントの文字が印字されるため、ESC/P準拠プリンタより若干小さめに見えることがあります。特に縮小モードでは、ページフォーマットの縮小率よりも小さな文字サイズになります。また、ローマン文字では英数のみ文字幅が細めになります。

フォントデザイン

ESC/P準拠プリンタとはフォントのデザインが異なります。このため、特殊文字等の字形やANK／漢字のバランスが若干異なって見えるようになります。

２バイトコードの未定義領域

２バイトコードの中で、ESC/Pでは未定義の領域に本プリンタ専用の文字パターンが割り当てられている部分があります。このため、この部分のコードを印字すると本プリンタ特有のパターンが印字されます。

●その他の制限

登録文字数とメモリオーバー

文字の登録を行っているとき等にメモリが不足すると、「23　ダウンロードメモリ　フル」のメッセージが表示されます。
登録文字数を増やしたい場合は､以下のような方法で空きメモリを増やして再度プリントしてください。

- オプションの拡張RAMの増設
- 共通セットアップメニュー／印字調整グループの［インジ　ドウサ］の項目を［トウロクユウセン］､［フォームキャッシュメモリ］の項目を［ツカワナイ］に設定して再立ち上げ

白紙の排出

ESC/Pエミュレーションモードでは、ページ内に印字データがないと排紙を行いません。

ESC/Pスーパー

ESC/PエミュレーションモードはESC/P24-J84仕様にのみ対応しているため、ESC/Pスーパーのプリンタ設定では正しくプリントされません。

付録 B

APPENDIX B

1 ダンプリスト

●ヘキサダンプリスト

動作モードメニューで［HEX-DUMP］を選択すると、パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずに、16 進コードでプリントします。
１行に 32 バイトの 16 進コードを印字します。16 進コードに対応する文字をリストの右側に印字します。A4 サイズポートレイトでのみプリントできます。
（操作方法→「動作モードメニューの操作の流れ」P.24）

Version : R0.08/BEP5C25I　　　　Page : 2

00660	E4 76 3D 1F 90 48 64 52	39 24 96 4D 27 94 4A 65	52 B9 64 B6 5D 2F 90 40	40 80 01 E0 50 38 24 16	ｺﾞv=. HdR9$ M' JeRｹdｶ]/ @@ .ｶﾞP8$.
00680	0D 07 84 42 61 50 B8 64	36 1D 0F 88 44 62 51 38	A4 56 2D 17 8C 46 63 51	B8 E4 76 3D 1F 90 48 64	.. BaPｸd6.. DbQ8,V-. FcQｸｺﾞv=. Hd
006A0	52 39 24 96 4D 27 94 4A	65 52 B9 64 B6 5D 2F 90	40 40 80 01 E0 50 38 24	16 0D 07 84 42 61 50 B8	R9$ M' JeRｹdｶ]/ @@ .ｶﾞP8$... BaPｸ
006C0	64 36 1D 0F 88 44 62 51	38 A4 56 2D 17 8C 46 63	51 B8 E4 76 3D 1F 90 48	64 52 39 24 96 4D 27 94	d6.. DbQ8,V-. FcQｸｺﾞv=. HdR9$ M'
006E0	4A 65 52 B9 64 B6 5D 2F	90 40 40 80 01 E0 50 38	24 16 0D 07 84 42 61 50	B8 64 36 1D 0F 88 44 62	JeRｹdｶ]/ @@ .ｶﾞP8$... BaPｸd6.. Db
00700	51 38 A4 56 2D 17 8C 46	63 51 B8 E4 76 3D 1F 90	48 64 52 39 24 96 4D 27	94 4A 65 52 B9 64 B6 5D	Q8,V-. FcQｸｺﾞv=. HdR9$ M' JeRｹdｶ]
00720	2F 90 40 40 80 01 E0 50	38 24 16 0D 07 84 42 61	50 B8 64 36 1D 0F 88 44	62 51 38 A4 56 2D 17 8C	/ @@ .ｶﾞP8$... BaPｸd6.. DbQ8,V-.
00740	46 63 51 B8 E4 76 3D 1F	90 48 64 52 39 24 96 2D	01 00 0F 00 FE 00 04 00	01 00 00 00 00 00 00 00	FcQｸｺﾞv=. HdR9$ -....ｹ...........
00760	00 01 03 00 01 00 00 00	91 00 00 00 01 01 03 00	01 00 00 00 25 00 00 00	02 01 03 00 01 00 00 00	....................%...........
00780	08 00 00 00 03 01 03 00	01 00 00 00 05 00 00 00	06 01 03 00 01 00 00 00	03 00 00 00 11 01 04 00	....
007A0	05 00 00 00 18 06 00 00	15 01 03 00 01 00 00 00	01 00 00 00 16 01 04 00	01 00 00 00 08 00 00 00	....
007C0	17 01 04 00 05 00 00 00	2C 06 00 00			....

● LIPS ダンプリスト

動作モードメニューで［LIPS-DUMP］を選択すると、パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずに、LIPS のコントロールコマンドの形式でプリントします。
現在選択されている給紙元の用紙サイズでプリントします。
（操作方法→「動作モードメニューの操作の流れ」P.24）

```
                    Version : 02.00.R1.00/BEP5D189/FT5D18                Page :  1

00000  [ec c] [ec P 4 1 ; 6 0 0 J ec ¥] [ec <] [ec [ 1 1 h] [ec [ ? 6 ␣ I] [ec [ 3 0 0 0 ; 1 . r] 72 65 67 72 65 67

00042  72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65

            * * *  s k i p  2960 Byte  * * *

03016  65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 [ec [ 0 ; 1 x] [ec [ {] [ec [ 0 ; 4 x] [ec [ }] [ec [ 0

03057  ; 0 x] [ec [ 5 0 0 ; 5 0 0 f] F I L E ␣ N A M E ␣ - - - > ␣ H E I G H T . 0 0 4 ␣ ␣ T . K A W A I

03104  [ec P z M i n c h o - M e d i u m . J 7 8 ec ¥] [ec [ ? 3 5 0 ␣ K] [ec [ 1 0 0 0 ␣ C] [ec [ 3 0 0 0 ; 4

03150  5 0 0 f] ! v ! v ! v ! ! J 8 ; z 9 b ; X D j L ? N a ! ! ! v ! v ! v [ec [ ? 8 5 0 ␣ K] [ec [ 3 5 0

03197  ␣ C] [ec [ 5 0 0 0 ; 1 5 0 0 f] [ec [ 4 m] ! v J 8 ; z 9 b ; X D j L ? N a $ G ; X D j $ 7 $ ? [ec [
```

枠囲みパターンについて

コマンドとして解釈できるものは、コマンド単位で枠で囲み印字されます。テキストモードからベクタモードへ、またはベクタモードからテキストモードへ移行した場合は、改行によって区別します。

改行・改ページを示す記号

|　|　| ：　lf（改行）、vt（垂直タブ）、nl（復帰改行）による改行を伴うコマンド、または ff（改ページ）による改ページを伴うコマンドがあった場合に印字されます。（例：lf｜）

異常終了を知らせる記号

| ! | ：　命令終了コードが送られるまえに、命令開始コードが送られた場合、または、16進コードのダウンロードで16進コード以外の文字が送られた場合に印字されます。

【例】　　　!

00000 |ec [| |ec [5 m| A B C D

LIPS ダンプリストの文字・記号の表記

制御データは次に示す省略記号を使って印字します。

	0	1	7	8	9	F
0	nu(NUL)	dl(DLE)		80	dc(DCS)	
1	sh(SHO)	d1(DC1)		81	91	
2	sx(STX)	d2(DC2)		82	92	
3	ex(ETX)	d3(DC3)		83	93	
4	et(EOT)	d4(DC4)		ix(IDX)	94	
5	eq(ENQ)	nk(NAK)		nl(NEL)	95	
6	ak(ACK)	sy(SYN)		86	96	
7	bl(BEL)	eb(ETB)		87	97	
8	bs(BS)	cn(CAN)		hs(HTS)	98	
9	ht(HT)	em(EM)		89	99	
A	lf(LF)	sb(SUB)		vs(VTS)	9A	
B	vt(VT)	ec(ESC)		pd(PLD)	cs(CSI)	
C	ff(FF)	fs(FS)		pu(PLU)	st(ST)	
D	cr(CR)	gs(GS)		ri(RI)	9D	
E	so(SO)	rs(RS)		s2(SS2)	9E	
F	si(SI)	us(US)	de(DEL)	s3(SS3)	9F	FF(DEL)

ベクタモードの LIPS ダンプリスト

- 命令は全角文字で印字されます
- パラメータは 10 進コードで、文字パターンは 16 進コードでそれぞれ印字されます。
- パラメータが 2 つ以上連続するときは、パラメータの間にスペースが入ります。

メモ

●通常の文字で印字されるデータはそのまま印字されます。
●ダウンロードするデータが多い場合は、先頭から20バイトと最後から20バイトのみを印字し、その間のデータを印字しません。
●文字コード２０ｈ（16 進コード）は「␣」、文字コードＡ０ｈ（16 進コード）は「Ａ０」で印字されます。
●制御コードは大文字で、省略記号は小文字で印字されます。
【例】　ＦＦｈ（16 進コード）→ＦＦ　　　改ページ→ｆｆ

2 動作モード共通のリスト

●共通ステータスプリント

搭載している RAM の容量や共通プリント環境の設定内容などがプリントされます。

操作方法

1. **（オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。**
2. **（ユーティリティ）キーを押して、ユーティリティメニューを表示します。**
3. **（∨）キーを押します。**

Canon　STATUS PRINT　LASER SHOT LBP-1610

A3　ZOOM　1100 MAX　16MB　両面　USB
自動　自動　セントロニクス　平成明朝　平成角ゴ　拡張

バージョン：R1.07/MOM0J22A
サブバージョン：15.00/2EI-4113-C410-66.7-100/34/00
エンジンバージョン：MA1/004c
フォントバージョン：20000705

給紙モード：自動
排紙モード：フェースダウン
両面モード：片面印刷

全体メモリ搭載状況：16 (16 MB + 0 MB)
空きメモリ量：2824 Kbytes
動作モード：自動
優先エミュレーション：N201

拡張機能グループ

コピー枚数：1枚
タイムアウト：15秒
パネルオフモード：15分
ブザー警告：1回
警告表示：する
トナー節約：使わない
トナー濃度：4
警告処理：継続
自動エラースキップ：使わない
表示言語：日本語
自動切替／LIPS：使う
自動切替／N201：使う
自動切替／ESC/P：使う
特殊モードA：モード2
特殊モードB：使わない
特殊モードC：使わない

給紙グループ

トレイ用紙サイズ：A4
デフォルト用紙サイズ：A4
用紙の向き：自動
トレイ優先：しない
自動選択／トレイ：使う
自動選択／カセット1：使う
自動選択／カセット2：使う
自動選択／カセット3：使う
デフォルト用紙タイプ：普通紙
用紙名称／トレイ：
用紙名称／カセット1：
用紙名称／カセット2：
用紙名称／カセット3：

インタフェースグループ

インタフェース選択：自動
Busy-Ack：A-B-A
セントロスピード受信：高速
セントロスピード送信：高速
インプットプライム：動作モード依存
双方向：ECP

印字調整グループ

スーパースムーズ：使う
解像度：ファイン
階調処理：標準
ドット補正：使わない
中間調選択：パターン1
バンド制御：する
画質警告：継続
フォームキャッシュメモリ：使わない
印字動作：自動

レイアウトグループ

縦補正：0.0mm
横補正：0.0mm
綴じ方向：長手
綴じ幅：0.0mm

デバイスID
Manufacturer：Canon
Model：LASER SHOT LBP-1610
Description：Canon LASER SHOT LBP-1610
CompatibleID：

搭載コントローラ

LIPS	Ver.01.22	LIPSは、キヤノン株式会社の商標です。
N201	Ver.01.60	
ESC/P	Ver.01.60	ESC/Pは、セイコーエプソン株式会社の商標です。

USB
ベンダーID：0x04a9
プロダクトID：0x2604
シリアルナンバー：000000000000

Page Count : 0000548

●共通フォントリスト

本プリンタに搭載されているフォントの一覧がプリントされます。

操作方法

1. （オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。
2. （ユーティリティ）キーを押して、ユーティリティメニューを表示します。
3. （>）キーを押して、［フォントリスト］を表示します。
4. （V）キーを押します。

Canon　FONT LISTS　LASER SHOT LBP-1610

フォント名称	フォントＩＤ	フォント見本書体
Mincho-Medium-H	001	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Mincho-Medium-HPS	013	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Mincho-Medium	002	あいうえおカキクケコ差氏巣背
Mincho-Medium-PS	014	あいうえおカキクケコ差氏巣背
Gothic-Medium-H	003	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Gothic-Medium-HPS	015	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Gothic-Medium	004	あいうえおカキクケコ差氏巣背
Gothic-Medium-PS	016	あいうえおカキクケコ差氏巣背
LinePrinter-Bold	020	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Garland-Medium-HP	021	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Garland-Medium-H	022	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Dutch-Roman		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Dutch-Bold		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Dutch-Italic		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Dutch-BoldItalic		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Swiss		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Swiss-Bold		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Swiss-Oblique		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Swiss-BoldOblique		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier-Bold		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier-Italic		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier-BoldItalic		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Symbol		ΑΒΧΔΕΦΓΗΙθΚΛΜΝΟαβχδεφγηιφ
Ncourier10		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier10B		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij

Page Count : 0000549

印字サンプル
実際の書体を確認できます。

付録B

3 動作モード専用のリスト

● LIPS ステータスプリント

共通ステータスプリントの内容に加えて、LIPS 専用セットアップメニューの設定内容がプリントされます。

操作方法

1. **（オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。**
2. **（ユーティリティ）キーを押して、ユーティリティメニューを表示します。**
3. **（＞）キーを押して、［LIPS ユーティリティ］を表示します。**
4. **（∨）キーを押して、［ステータスプリント］を表示します。**
5. **（∨）キーを押します。**

Canon　STATUS PRINT　LASER SHOT LBP-1610

A3　ZOOM　1100 MAX　16MB　両面　USB
自動　自動　セントロニクス　明朝　角ゴ　拡張

バージョン : R1.07/MOM0J22A
サブバージョン : 15.00/2EI-4113-C410-66.7-100/34/00
エンジンバージョン : MAL004c
フォントバージョン : 20000705

給紙モード : 自動
排紙モード : フェースダウン
両面モード : 片面印刷

全体メモリ搭載状況 : 16 (16 MB + 0 MB)
空きメモリ量 : 2824 Kbytes
動作モード : 自動
優先エミュレーション : N201

拡張機能グループ

コピー枚数 : 1枚
タイムアウト : 15秒
パネルオフモード : 15分
ブザー警告 : 1回
警告表示 : する
トナー節約 : 使わない
トナー濃度 : 4
警告処理 : 継続
自動エラースキップ : 使わない
表示言語 : 日本語
自動切替／LIPS : 使う
自動切替／N201 : 使う
自動切替／ESC/P : 使う
特殊モードA : モード2
特殊モードB : 使わない
特殊モードC : 使わない

給紙グループ

トレイ用紙サイズ : A4
デフォルト用紙サイズ : A4
用紙の向き : 自動
トレイ優先 : しない
自動選択／トレイ : 使う
自動選択／カセット1 : 使う
自動選択／カセット2 : 使う
自動選択／カセット3 : 使う
デフォルト用紙タイプ : 普通紙
用紙名称／トレイ :
用紙名称／カセット1 :
用紙名称／カセット2 :
用紙名称／カセット3 :

インタフェースグループ

インタフェース選択 : 自動
Busy-Ack : A-B-A
セントロスピード受信 : 高速
セントロスピード送信 : 高速
インプットプライム : 動作モード依存
双方向 : ECP

印字調整グループ

スーパースムーズ : 使う
解像度 : ファイン
階調処理 : 標準
ドット補正 : 使わない
中間調選択 : パターン1
バンド制御 : する
画質警告 : 継続
フォームキャッシュメモリ : 使わない
印字動作 : 自動

レイアウトグループ

縦補正 : 0.0mm
横補正 : 0.0mm
綴じ方向 : 長手
綴じ幅 : 0.0mm

フォント

漢字コード : JIS
文字サイズ : 10ポイント
漢字書体 : 明朝
ANK書体 : 明朝
漢字グラフィックセット : JIS90

レイアウト

行数 : 6LPI
桁数 : 自動
自動改ページ : する
自動改行 : する
LF機能 : LFのみ
CR機能 : CRのみ
ページの向き : 縦
スタートアップマクロ : 30

拡張機能

LIPSジョブタイムアウト : しない
拡大／縮小 : しない
複数ページ印刷 : しない
複数ページ余白 : パターン1
白紙節約 : 使う
網かけ解像度 : クイック
オーバレイ1 : しない
オーバレイ2 : しない

LIPS

LBP Image Processing System

登録領域のサイズ : 2878464バイト
登録領域の空きサイズ : 2824192バイト

NVRAM : 未確保
LIPSバージョン : Ver.01.22

Page Count : 0000551

LIPS 専用セットアップメニューの設定値

付録B

●LIPS フォントリスト

LIPS モードで使用できるフォントの一覧がプリントされます。

操作方法

1. 〔オンライン〕キーを押して、キーを消灯させます。
2. 〔ユーティリティ〕キーを押して、ユーティリティメニューを表示します。
3. 〔>〕キーを押して、［LIPS ユーティリティ］を表示します。
4. 〔V〕キーを押します。
5. 〔>〕キーを押して、［フォントリスト］を表示します。
6. 〔V〕キーを押します。

メモ

●この他に、本プリンタに内容が登録されている場合にのみ、「LIPS オーバレイリスト」、「LIPS マクロリスト」、「LIPS フォームリスト」、「LIPS オーバレイプリント」がプリントできます。

● N201 ステータスプリント

共通ステータスプリントの内容に加えて、N201専用セットアップメニューの設定内容がプリントされます。

操作方法

1. **（オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。**
2. **（ユーティリティ）キーを押して、ユーティリティメニューを表示します。**
3. **（>）キーを押して、［N201 ユーティリティ］を表示します。**
4. **（V）キーを押して、［ステータスプリント］を表示します。**
5. **（V）キーを押します。**

Canon　STATUS PRINT　LASER SHOT LBP-1610

A3　ZOOM　1100 MAX　16MB　両面　USB
自動　自動　セントロニクス　平成明朝　平成角ゴ　拡張

バージョン：R1.07/MOM0J22A
サブバージョン：15.00/2EI-4113-C410-66.7-100/34/00
エンジンバージョン：MAL/004c
フォントバージョン：20000705

給紙モード：自動
排紙モード：フェースダウン
両面モード：片面印刷

全体メモリ搭載状況：16 (16 MB + 0 MB)
空きメモリ量：2824 Kbytes
動作モード：自動
優先エミュレーション：N201

拡張機能グループ

コピー枚数：1枚
タイムアウト：15秒
パネルオフモード：15分
ブザー警告：1回
警告表示：する
トナー節約：使わない
トナー濃度：4
警告処理：継続
自動エラースキップ：使わない
表示言語：日本語
自動切替／LIPS：使う
自動切替／N201：使う
自動切替／ESC/P：使う
特殊モードA：モード2
特殊モードB：使わない
特殊モードC：使わない

給紙グループ

トレイ用紙サイズ：A4
デフォルト用紙サイズ：A4
用紙の向き：自動
トレイ優先：しない
自動選択／トレイ：使う
自動選択／カセット1：使う
自動選択／カセット2：使う
自動選択／カセット3：使う
デフォルト用紙タイプ：普通紙
用紙名称／トレイ：
用紙名称／カセット1：
用紙名称／カセット2：
用紙名称／カセット3：

インタフェースグループ

インタフェース選択：自動
Busy-Ack：A-B-A
セントロスピード受信：高速
セントロスピード送信：高速
インプットプライム：動作モード依存
双方向：ECP

印字調整グループ

スーパースムーズ：使う
解像度：ファイン
階調処理：標準
ドット補正：使わない
中間調選択：パターン1
バンド制御：する
画質警告：継続
フォームキャッシュメモリ：使わない
印字動作：自動

レイアウトグループ

縦補正：0.0mm
横補正：0.0mm
綴じ方向：長手
綴じ幅：0.0mm

ＰＣ－ＰＲ２０１／８０Ａ　エミュレーション　Ver.01.60

ページレイアウト

ページフォーマット　：実寸縦置
用紙位置　：中央印字
上余白　：０
用紙位置微調整　：０
領域　：標準
右マージン既定値　：１３６桁
用紙サイズ　：カレント用紙
２ページ印刷指定　：使用しない

フォント

漢字書体の選択　：明朝
フォントＩＤ　：使用しない
漢字サイズ　：システム設定
ゼロ書体（１バイト系）　：斜線無し
国別文字　：日本
漢字グラフィックセット　：ＪＩＳ７８

印字機能

イメージの補正　：しない
外字サイズ　：１０．８ポイント
グラフィック　：ネイティブ

その他

登録レベル　：一時登録

ＶＦＣ

単票用紙長機能　：無効
用紙長機能　：無効
用紙長設定　：６６行
ミシン目スキップ　：０行

印字動作

ＣＲ機能　：復帰のみ
印字指令　：ＣＲのみ
バッファフル　：復帰／改行

ＰＣ－ＰＲ２０１／８０Ａは、日本電気株式会社の商標です。

Page Count : 0000563

● ESC/P ステータスプリント

共通ステータスプリントの内容に加えて、ESC/P専用セットアップメニューの設定内容がプリントされます。

操作方法

1. **（オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。**
2. **（ユーティリティ）キーを押して、ユーティリティメニューを表示します。**
3. **（>）キーを押して、［ESC/P ユーティリティ］を表示します。**
4. **（∨）キーを押して、［ステータスプリント］を表示します。**
5. **（∨）キーを押します。**

Canon　STATUS PRINT　LASER SHOT LBP-1610

A3　ZOOM　1100 MAX　16MB　両面　USB
自動　自動　セントロニクス　平成明朝　平成角ゴ　拡張

バージョン : R1.07/MOM0J22A
サブバージョン : 15.00/2EI-4113-C410-66.7-100/34/00
エンジンバージョン : MA1/004c
フォントバージョン : 20000705

給紙モード : 自動
排紙モード : フェースダウン
両面モード : 片面印刷

全体メモリ搭載状況 : 16 (16 MB + 0 MB)
空きメモリ量 : 2824 Kbytes
動作モード : 自動
優先エミュレーション : N201

拡張機能グループ
コピー枚数 : 1枚
タイムアウト : 15秒
パネルオフモード : 15分
ブザー警告 : 1回
警告表示 : する
トナー節約 : 使わない
トナー濃度 : 4
警告処理 : 継続
自動エラースキップ : 使わない
表示言語 : 日本語
自動切替／LIPS : 使う
自動切替／N201 : 使う
自動切替／ESC/P : 使う
特殊モードＡ : モード２
特殊モードＢ : 使わない
特殊モードＣ : 使わない

給紙グループ
トレイ用紙サイズ : A4
デフォルト用紙サイズ : A4
用紙の向き : 自動
トレイ優先 : しない
自動選択／トレイ : 使う
自動選択／カセット１ : 使う
自動選択／カセット２ : 使う
自動選択／カセット３ : 使う
デフォルト用紙タイプ : 普通紙
用紙名称／トレイ :
用紙名称／カセット１ :
用紙名称／カセット２ :
用紙名称／カセット３ :

インタフェースグループ
インタフェース選択 : 自動
Busy-Ack : A-B-A
セントロスピード受信 : 高速
セントロスピード送信 : 高速
インプットプライム : 動作モード依存
双方向 : ECP

印字調整グループ
スーパースムーズ : 使う
解像度 : ファイン
階調処理 : 標準
ドット補正 : 使わない
中間調選択 : パターン１
バンド制御 : する
画質警告 : 継続
フォームキャッシュメモリ : 使わない
印字動作 : 自動

レイアウトグループ
縦補正 : 0.0mm
横補正 : 0.0mm
綴じ方向 : 長手
綴じ幅 : 0.0mm

ＥＳＣ／Ｐ　エミュレーション　Ｖｅｒ．０１．６０

ページレイアウト
ページフォーマット ：実寸縦置
上余白 ：０
用紙位置微調整 ：０
領域 ：標準
右マージン既定値 ：１３６桁
用紙サイズ ：カレント用紙
２ページ印刷指定 ：使用しない

フォント
漢字書体の選択 ：明朝
フォントＩＤ ：使用しない
漢字サイズ ：システム設定
文字コード表の選択 ：カタカナ
国別文字 ：日本

印字機能
イメージの補正 ：しない
縮小文字印刷 ：しない

その他
登録レベル ：一時登録

ＶＦＣ
連続用紙長 ：システムで設定
単票用紙長 ：システムで設定
ミシン目スキップ ：しない

印字動作
改行機能の切り替え ：ＬＦを待つ

ＥＳＣ／Ｐは、セイコーエプソン株式会社の商標です。

Page Count : 0000564

ESC/P専用セットアップメニューの設定値

4 本プリンタについての注意事項

本プリンタは従来のレーザショットシリーズと仕様が異なる点があり、操作の仕方やプリントの結果が異なることがあります。以下に、本プリンタと従来シリーズとの違いについて主な注意点を説明します。

従来 LIPS III シリーズとの違いについて

従来 LIPS III シリーズとは、LBP-A309GII、A304GII、A304EII、A304E、B406GII、B406G、B406EII、B406E、B406S、B406D、A404F、A404GII、A404E、A404、A405Jr. です。

●フォント

- 本プリンタ内蔵の明朝体・角ゴシック体は「平成」書体を採用しています。従来シリーズとは書体が異なるため文字のデザインや太さなど印字結果が異なります。また、楷書体フォントについても従来シリーズの書体と異なっています。
- 従来機で使用していたグラフィックセット「J83」を「J90」に改名し、JISX0208-1990 で追加された 2 文字（コード 7425 および 7426）を追加しました。
- クーリエのスケーラブルフォントや従来の JBM1 フォントカード相当など、追加されたフォントがあるため LIPS モードで正確なフォント選択をしていなかった場合、追加されたフォントでプリントされることがあります。

●データ処理解像度

- 従来のシリーズでは 300dpi ／ 240dpi で入力データを処理していましたが、本プリンタでは 1200dpi ／ 600dpi ／ 300dpi で処理をしています。このため、プリント結果などに細かな違いが出てくる場合があります。LIPS ／エミュレーション各モードでの主な注意点は各モード（→ P.169 以降）の注意点をご参照ください。
- 本プリンタはスーパーファインモード／ファインモード／クイックモードの 3 種類のデータ処理解像度が指定できます。スーパーファインモードまたはファインモードを指定した時に、メモリが不足した場合などスーパーファインモードでは 600dpi または 300dpi に、ファインモードでは 300dpi に描画結果を変換してプリントします。

●描画処理の違い

- 図形や文字のプリントの描画処理が効率化・統合化等のために変更されており、線のパターンや接続・強調印字など細かなプリント結果やスピードに違いが出ることがあります。

●メニュー操作

- 従来シリーズと環境設定メニューの構造が異なっており、LIPS／エミュレーション共通メニューと各動作モード固有のメニューに分かれています。また、設定したメニュー値は操作の都度記憶されリセットや電源オフをしても引き継がれます。
- 本プリンタでは複数のエミュレーションの切り替えをサポートしておりLIPSでもエミュレーションでもひとつのプリント単位を「ジョブ」として取り扱います。ひとつの「ジョブ」が終了するとプリント環境などが初期化されます。
- 本プリンタでは、A4、B5、A5、LT（レター）、EX（エグゼクティブ）サイズの用紙は横置きと縦置きを選ぶことができます。

●インタフェース関連

- 従来のシリーズではME-CARD以外のエミュレーションではインタフェースを切り替えることができませんでしたが、本プリンタではすべてのエミュレーションでセントロニクス以外のインタフェースも使用して切り替えることができます。ただし、5577／359／5273エミュレーションなどでホスト側で固有のインタフェースを必要とする場合は、自動インタフェース切り替え・動作モード自動切り替えをオフにする必要があります。詳しくは各エミュレーションのマニュアルをご覧ください。
- 自動インタフェース切り替えでは従来のシリーズと異なりすべてのインタフェースからのデータを同時に受信します。

●メモリ

- 従来のシリーズとはメモリ管理の方法が異なっており印字データや登録データで使用可能なメモリ容量が異なります。

●オプションのメモリなど

- 従来シリーズの拡張RAM、コントロールROM、拡張インタフェースボードは使用できません。本プリンタ専用のオプションをご使用ください。

以下に各モード固有の注意について記載します。

● LIPS III モード

- リセット時などの論理用紙サイズの初期化は、従来シリーズではカセットの用紙サイズに従っていましたが、本プリンタではメニューの［デフォルトヨウシサイズ］の大きさに初期化します。これにより複数の印字データが連続したときの処理の効率化を図っています。
- 従来のシリーズでは文字セット登録時、文字セット登録補助命令でスケーラブルするかどうかを指定しましたが、本プリンタでは指定に関わらずスケーラブル化して登録します。このため、プリント時に正しいサイズを指定していなかった場合、従来と異なるサイズで印字が行われます。
- ファインモードでの注意点

  ファインモードでは600dpiでデータを処理するためベクタモードの座標範囲が約5.5m四方から半分の約2.8m四方になります。

  600dpiでプリントされるため、罫線等の太り方やパターン等に微妙な違いが出ることがあります。

  また、メモリの不足などで600dpiで処理できない場合に300dpiに変換されるとき、変換の処理により細かな誤差が出る場合があります。
- スーパーファインモードでの注意点

  スーパーファインモードでは、1200dpiでデータを処理するためベクタモードの座標範囲が約5.5m四方から1/4の約1.4m四方になります。

  1200dpiでプリントされるため、罫線等の太り方やパターン等に微妙な違いが出ることがあります。

  また、メモリの不足などで1200dpiで処理できない場合に600dpiに変換されるとき、変換の処理により細かな誤差が出る場合があります。

● LIPS II モード

- 従来シリーズではLIPS II モードは240dpiで処理されていましたが、本プリンタでは1200dpi／600dpi／300dpiで処理します。このため以下のような違いが出ることがあります。

  塗りつぶしパターンの細かさや線の太さが若干異なります。

  書体の違いに加えてスケーラブルフォントを使用することによるプリント結果の違いやスピードの違いがあります。

  イメージデータや文字登録データなど240dpiのドットパターンは1200dpi／600dpi／300dpiに自動的に変換されるため、プリント結果の見た目が異なります。

  従来240dpiで印字位置を処理していたのに対し、1200dpi／600dpi／300dpiで処理するため図形や文字などの印字位置に微妙な違いが出ることがあります。

  ベクタモードの座標範囲はLIPS IIIでのスーパーファインモードおよびファインモードの注意に加えてクイックモードでも80%の大きさ（約6.9m四方→約5.5m四方）となります。

- リセット時などの論理用紙サイズの初期化は、従来シリーズではカセットの用紙サイズに従っていましたが、本プリンタではメニューの［デフォルトヨウシサイズ］の大きさに初期化します。これにより複数の印字データが連続したときの処理の効率化を図っています。
- 描画処理の違いにより網掛けを重ねあわせたときにプリント結果が異なることがあります。

●内蔵エミュレーション

- 従来シリーズでは内蔵エミュレーションは240dpiで処理されていましたが、本プリンタでは600dpi／300dpiで処理します。このため以下のような違いが出ることがあります。

  塗りつぶしパターンの細かさや線の太さが若干異なります。

  書体の違いに加えてスケーラブルフォントを使用することによるプリント結果の違いやスピードの違いがあります。

  イメージデータや文字登録データなどのドットパターンは600dpi／300dpiに自動的に変換されるため、プリント結果の見た目が異なります。また、イメージの補正処理の選択はできません。

  本プリンタでは印字位置を600dpi／300dpiで処理するため図形や文字などの印字位置に微妙な違いが出ることがあります。
- 従来シリーズのPCN-201H/4やPCA-AX/3に搭載されていたキヤノン独自の拡張機能には対応していません。
- ジョブタイムアウトやメニュー操作によりエミュレーションのプリンタ設定は初期化されます。
- 描画処理の違いにより修飾文字を重ねたときの見た目が異なる場合があります。
- 内蔵エミュレーションモードでは、スーパーファインモード（1200dpi）でのプリントはできません。ファインモード（600dpi）でプリントされます。

LIPS IVc搭載のカラーBJとの違いについて

LIPS IVはLIPS IVcを包含したコマンド体系ですが、ハード的な違いなど以下のような注意点があります。

- カラーBJはLIPS IVcのコマンドを360dpiで処理しますが、本プリンタは600dpi／300dpiで処理するためプリント結果の見た目が異なることがあります。
- カラーBJとは上余白／下余白（非有効印字領域）が異なります。
- 本プリンタはモノクロのプリンタなので、冗長な色情報が含まれているカラープリント用のデータは効率的ではありません。一般的にカラープリントとモノクロプリントを指定できる場合は、モノクロプリントを選択することをおすすめします。また、本プリンタ専用ドライバが選択できる場合はそちらを選択してください。

本プリンタの制限事項

- 本プリンタで、動作モード自動切り替えおよびインタフェース自動切り替えが可能な環境は以下のとおりです。エミュレーションモードの種類によっては、独自のインタフェース処理を行っているため、自動切り替えができない場合があります。

動作モード＼インタフェース	セントロニクスインタフェース		USB	拡張ネットワーク*
	直結パソコン	プリントサーバアダプタ*		
LIPS	○	○	○	○
内蔵N201	○	○	○	○
内蔵ESC/P	○	○	○	○
N201*	○	○	○	○
ESC/P*	○	○	○	○
I5577*	△	○	○	○
F359*	△	○	○	○
N5273*	△	○	○	○
HP-GL*	○	○	○	○

「*」印がついているものには、オプション製品が必要です。オプション製品の詳細については、ユーザーズガイド　付録「オプションについて」をご覧ください。

○：動作モード自動切り替えおよびインタフェース自動切り替えが可能です。

△：動作モード自動切り替えもインタフェース自動切り替えも行えないことがあります。その場合は、自動切り替えを設定せずに、選択している動作モードとインタフェースに固定させてお使いください。

- 薄いグレーパターンで枠内を塗りつぶしたり、文字や線を印字する場合などにグレーパターンが正しく印字されないことがあります。
- テキストモードで縦書きに文字を印字する場合２バイト和文プロポーショナルフォント（Mincho-Medium-PS.XXX、Gothic-Medium-PS.XXX）は使用できません。文字ピッチが固定しているフォントをお使いください。
- LIPSメニューより拡大／縮小を行う場合、LIPS II+モード用ユーザ登録文字セット、およびビットマップフォントGarlandPS11/ALP10/ALP15/ALP1125は、印字されないことがあります。
- 印字データや登録データで使用可能なメモリ容量は、プリンタの機種により異なります。また使用する拡張インタフェースボードによっても異なります。
- オプションのフラッシュメモリをご利用になる場合、必ず本プリンタ対応のものをお使いください。
- オプションの拡張RAMをご利用になる場合、必ず本プリンタ対応のもの（RD-16MS、RD-32MS、RD-64MS、RD-128MS）をお使いください。

■ オプションのプリントサーバをご利用になる場合、必ずLIOスロットV2対応のものをお使いください。

スーパーファインモード（1200dpi）時の制限事項

●プリント速度

■ A4（横送り、カセット給紙時）で8.1枚／分になります。

●メモリについて

■ スーパーファインモード（1200dpi）に設定されていても、処理に必要なメモリが不足した結果メモリエラーが発生し、解像度を600dpiまたは300dpiに落としてプリントすることがあります。スーパーファインモードでは、クイックモード、ファインモードに比べて印字データの処理に必要なメモリが不足しがちなため、次のようなメモリエラーが発生しやすくなります。

例：「23　ダウンロードメモリ　フル」　「26　システムメモリ　フル」
「28　ビョウガメモリ　フル」　「30　メモリ　フル」
「33　ワークメモリ　フル」　「38　ガシツ　テイカ」

●塗りつぶし

■ 閉領域塗りつぶし命令は動作しません。閉領域塗りつぶし命令を受信すると、「52　ヌリツブシメイレイ　フカ」とエラーメッセージが表示されます。

（オンライン）キーを押すと、閉領域塗りつぶし命令だけをスキップしてプリントします。

●無視される設定項目

■ スーパースムージング処理の設定は無視されます。
→「スムージング処理の設定をする」P.49

■ 階調処理の設定は無視されます。
→「ファインモード時の階調処理の方法を選択する」P.56

■ トナー節約の設定は無視されます。
→「トナーを節約してプリントする」P.36

●エミュレーションモードでの使用

■ LIPS以外のモードでは、スーパーファインモードを使用できません。

●座標範囲

■ スーパーファインモードでは、1200dpiでデータを処理するため、ベクタモードの座標範囲が1.38m四方になります。ベクタモード座標の最大・最小値は、どの解像度の場合でも-32640～+32639ドット（XY座標とも）です。したがって、解像度が上がると、ベクタモード座標範囲は狭くなります。

●文字の修飾

- アウトライン修飾とシャドウ修飾を使用した場合、搭載されているメモリによっては、修飾できないことがあります。

解像度	搭載メモリ	修飾保証
1200dpi	16MB 以上	100 ポイントまで
	32MB 以上	250 ポイントまで

上記のサイズ以上の文字に対して修飾をした場合、アウトライン修飾、シャドウ修飾がかからないことがあります。

ただし、上記の条件を満たした場合も、複雑な形状の文字の場合、印字位置によってはアウトライン修飾、シャドウ修飾がかからないことがあります。

●ビットマップフォント

- LIPS II+モード用フォント GarlandPS11/ALP10/ALP15/ALP1125 は、単純拡大されるため品位が低下する文字があります。

用語索引

記号

A

B

C

D

E

F

I

J

L

N

T

V

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

キー

メニューの表示方法

商標について

Canon、Canonロゴ、LBP、LIPS、NetSpotは、キヤノン株式会社の商標です。
LASER SHOTは、キヤノン株式会社の登録商標です。
Microsoft、MS-DOS、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標または商標です。
Apple、Macintoshは米国Apple Computer, Inc.の登録商標または商標です。
IBMは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
Ethernetは、米国Xerox Corporationの商標です。
HP、HP-GLは、米国Hewlett-Packard Companyの米国の商標です。
PC-PR201/80Aは、日本電気株式会社の商品名です。
ESC/Pは、セイコーエプソン株式会社の商標です。
Unixは、X/Open Company,Ltd.が独占的にライセンスしている米国および他の国における登録商標です。

下記の書体は、米国ビットストリーム社よりライセンスを受けています。
Dutch 801 Bold, Dutch 801 Bold Italic, Dutch 801 Italic, Dutch 801 Roman,
Swiss 721, Swiss 721 Bold, Swiss 721 Bold Oblique, Swiss 721 Oblique, Symbol

Century 702 Century Schoolbook, Century 702 Century Schoolbook Bold,
Century 702 Century Schoolbook Bold Italic, Century 702 Century Schoolbook Italic,
Chancery 801 ITC Zapf Chancery Medium Italic, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Book,
Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Book Oblique, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Demi, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique, ITC ZapfDingbats,
Revival 711 ITC Bookman Demi, Revival 711 ITC Bookman Demi Italic, Revival 711 ITC Bookman Light, Revival 711 ITC Bookman Light Italic, Swiss 721 Narrow, Swiss 721 Narrow Bold, Swiss 721 Narrow Bold Oblique, Swiss 721 Narrow Oblique, Zapf Calligraphic 801,
Zapf Calligraphic 801 Bold, Zapf Calligraphic 801 Bold Italic, Zapf Calligraphic 801 Italic,
Zapf Humanist 601, Zapf Humanist 601 Bold, Zapf Humanist 601 Italic

下記の書体名は米国ビットストリーム社の商標です。
Dutch 801, Swiss 721
下記の書体名は米国インターナショナルタイプフェイス社の商標です。
ITC Avant Garde Gothic, ITC Bookman, ITC Zapf Chancery, ITC Zapf Dingbats

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。
本プリンタで使用している明朝体、ゴシック体のフォントは、それぞれ平成明朝体™W3、平成角ゴシック体™W5を使用しています。これらのフォントは(財)日本規格協会文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

Canon

■■■■■■■■■ ソフトウェアのバージョンアップについて ■■■■■■■■■

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報及びソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容についてご了解いただいたものとさせていただきます。

■ 情報の入手方法

インターネット、ＦＡＸ情報サービス、パソコン通信を利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

❏ キヤノン販売ホームページ（http://www.canon-sales.co.jp/）

商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

❏ キヤノンFAX情報サービス

札幌（011）728-0485　秋田（018）826-0441　仙台（022）211-5730　東京（03）3455-5962
名古屋（052）936-0758　大阪（06）4795-9011　広島（082）240-6729　高松（087）826-1621
福岡（092）411-9510

音声メッセージにしたがって操作をしてください。
ダイヤル回線をご利用の場合は、トーン切り換えを行ってください。
情報BOX番号は「各種ドライバ入手方法 ご案内：10001」「ドライバ郵送サービス一覧：11001」となります。

❏ @niftyキヤノンステーション（http://www.nifty.com）

@niftyアクセス後、キヤノンステーションへのGOコマンド「SCANON」を入力してください。「電子会議」の「【プリンタ LASER SHOT】インフォメーション」内に掲載されています。
※キヤノンステーションは会員制のスクエアです。@niftyで予め入会の手続きをお取りください。

■ ソフトウェアの入手方法

ダウンロードサービスおよび郵送サービスにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

❏ キヤノン販売ホームページ（http://www.canon-sales.co.jp/）

キヤノン販売ホームページにアクセス後、ダウンロードサービスをクリックしてください。

❏ @niftyキヤノンステーション（http://www.nifty.com）

@niftyアクセス後、キヤノンステーションへのGOコマンド「SCANON」を入力してください。「データライブラリ」の「【LASER SHOT】ドライバ・ライブラリ」にプリンタドライバが登録されています。
※キヤノンステーションは会員制のスクエアです。@niftyで予め入会の手続きをお取りください。

❏ CD-ROM・FDの郵送サービス

郵送サービス手数料を郵便振替にてお払い込みいただき、プリンタドライバなどのソフトウェアのＣＤ-ＲＯＭもしくはFＤを郵送にてお届けいたします。お申し込み方法、ソフトウェアの種類、内容、金額はFAX情報サービス、キヤノン販売ホームページ（FAQ）などでご確認いただき、下記振込先へお払い込みください。

口座番号：00160-1-51418
口座名称：セザックス株式会社キヤノンプリンタドライバ係

- 「通信欄」には必ず「メディア名称・品番」をご記入ください。
- 「払込住所氏名欄」の記載住所へ発送いたします。なお、当サービスの対象エリアは日本国内とさせていただきます。
- お客様のお電話番号は必ずご記入ください。
- お払い込みには郵便局備え付けの払込書をご利用ください。払込料金はお客様負担となります。
- ソフトウェアの種類により、CD-ROM/FDのメディアが異なります。

キリトリ線

メニュースタートアップ

各メニューを表示したあとのメニュー項目（内容）については、該当するMAP AからMAP Cをご覧ください。

MAP A 共通セットアップメニューを表示する

1. （オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。

2. （セットアップ）キーを押します。
セットアップメニューが表示されます。

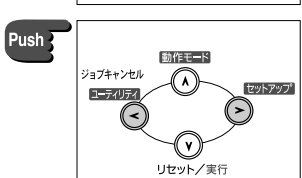
```
セットアップ
カクチョウ　キノウ　　　→
```

MAP A LIPS専用セットアップメニューを表示する

1. （オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。

2. （セットアップ）キーを押します。
セットアップメニューが表示されます。

```
セットアップ
カクチョウ　キノウ　　　→
```

3. 「LIPSセットアップ」を表示します。
（<）キーまたは（>）キーを押します。

```
セットアップ
LIPS　セットアップ　　　→
```

4. 下の階層へ進みます。
（V）キーを押します。
LIPS専用セットアップメニューが表示されます。

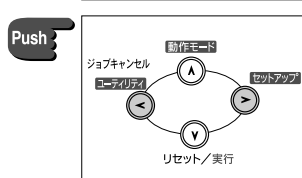
```
LIPS　セットアップ
カクダイ／シュクショウ　→
```

MAP B ESC/P専用セットアップメニューを表示する

1. （オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。

2. （セットアップ）キーを押します。
セットアップメニューが表示されます。

```
セットアップ
カクチョウ　キノウ　　　→
```

3. 「ESC/Pセットアップ」を表示します。
（<）キーまたは（>）キーを押します。

```
セットアップ
ESC/P　セットアップ　　　→
```

4. 下の階層へ進みます。
（V）キーを押します。
ESC/P専用セットアップメニューが表示されます。

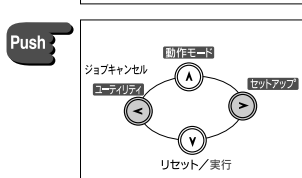
```
ESC/P　セットアップ
ページレイアウト　　　→
```

MAP B N201専用セットアップメニューを表示する

1. （オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。

2. （セットアップ）キーを押します。
セットアップメニューが表示されます。

```
セットアップ
カクチョウ　キノウ　　　→
```

3. 「N201セットアップ」を表示します。
（<）キーまたは（>）キーを押します。

```
セットアップ
N201　セットアップ　　　→
```

4. 下の階層へ進みます。
（V）キーを押します。
N201専用セットアップメニューが表示されます。

```
N201　セットアップ
ページレイアウト　　　→
```

MAP C 動作モードメニューを表示する

1. （オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。

2. （動作モード）キーを押します。
動作モードメニューが表示されます。

```
ドウサ　モード
=ジドウ　センタク　　　→
```

MAP C 優先エミュレーションメニューを表示する

1. （オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。

2. （動作モード）キーを約3秒以上押します。
優先エミュレーションメニューが表示されます。

```
ユウセン　エミュレーション
=N201　　　→
```

MAP C 給紙選択メニューを表示する

1. （オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。

2. （給紙選択）キーを押します。
給紙選択メニューが表示されます。

```
キュウシ　モード
　　　　　　　→
```

MAP C ユーティリティメニューを表示する

1. （オンライン）キーを押して、キーを消灯させます。

2. （ユーティリティ）キーを押します。
ユーティリティメニューが表示されます。

```
ユーティリティ
ステータス　プリント　　→
```

※ 両面メニューでは、ディスプレイには何も表示されません。

MAP A メニュールートマップ

共通&LIPSセットアップ編

拡張機能 ＞＜ 給紙 → 下段に続く

拡張機能
- コピー枚数 P.34: 1 / 2000
- タイムアウト P.34: 5秒 / 15秒 / 300秒 / しない
- パネルオフモード P.35: 5分 / 15分 / 30分 / 60分
- ブザー P.36: 1回 / 連続
- 警告表示 P.36: する / しない
- トナー節約 P.36: 使わない / 使う
- トナー濃度 P.37: 1 / 4 / 8
- 警告処理 P.37: 継続 / 停止
- 自動エラースキップ P.37: 使わない / 使う
- 表示言語 P.38: 日本語 / ENGLISH
- 自動切替 P.38
  - LIPS: 使う / 使わない
  - N201: 使う / 使わない
  - ESC/P: 使う / 使わない
  - オプション*: 使う / 使わない
- 特殊モードA P.39: モード1 / モード2 / モード3
- 特殊モードB P.39: 使わない / 使う
- 特殊モードC P.39: 使わない / 使う

給紙
- トレイ用紙サイズ P.40: A4 / A4R / B4 / A3 / レター / レターR / リーガル / レジャー / エグゼクティブ / エグゼクティブR / フリー / ユーザペーパー / はがき / 往復はがき / 封筒Y4 / B6 / A5 / A5R / B5 / B5R
- デフォルト用紙サイズ P.41: A4 / B4 / A3 / B6 / A5 / B5
- 用紙の向き P.42: 自動 / 縦送り / 横送り
- トレイ優先 P.42: しない / する
- 自動選択 P.43
  - トレイ: 使う / 使わない
  - カセット1: 使う / 使わない
  - カセット2*: 使う / 使わない
  - カセット3*: 使う / 使わない
- デフォルト用紙タイプ P.44: 普通紙 / 厚紙 / 厚紙H / OHP / 普通紙L

上段から続く レイアウト ＞＜ 印字調整 インタフェース → 下段に続く

レイアウト
- 縦補正 P.45: -50.0mm / 0.0mm / +50.0mm
- 横補正 P.45: -50.0mm / 0.0mm / +50.0mm
- とじ方向 P.46: 長手 / 短手
- とじ幅 P.47: -30.0mm / 0.0mm / +30.0mm

印字調整
- スーパースムーズ P.49: 使わない / 使う
- 解像度 P.50: ファイン / スーパーファイン / クイック
- ドット補正 P.51: 使わない / 使う
- 中間調選択 P.51: パターン1 / パターン2
- バンド制御 P.52: する / しない
- 画質警告 P.52: 継続 / 停止
- フォームキャッシュメモリ P.53: 使わない / 使う*
- 印字動作 P.54: 自動 / 画質優先 / 登録優先
- 階調処理 P.56: 標準 / 高階調

インタフェース
- インタフェース選択 P.57: 自動 / セントロニクス / USB / 拡張ネットワーク*
- セントロニクス設定*
  - busy-ack P.58: A-B-A / A-B / B-A
  - セントロ受信速度 P.58: 高速 / 中速 / 低速
  - セントロ送信速度 P.59: 高速 / 中速 / 低速
  - インデックスプライム P.59: 動作モード依存 / リセット
  - 双方向 P.60: ECP / ニブル / 使わない
- 拡張ネットワーク*
  - TCP/IP P.61
    - フレームタイプ: ETHERNET2 / 無効
    - IPモード: 手動 / 自動
    - プロトコル
      - DHCP: オフ / オン
      - BOOTP: オフ / オン
      - RARP: オフ / オン
    - アドレス
      - IPアドレス: 数値
      - サブネットマスク: 数値
      - ゲートウェイアドレス: 数値
  - 設定登録 P.62
  - 設定初期化 P.62
- コネクション認識* P.63: する / しない

上段から続く LIPSセットアップ ＞＜ その他のエミュレーション

LIPSセットアップ
- 拡大／縮小 P.66: しない / ↓A3 / ↓B4 / ↓A4 / ↓B5 / ↓A5 / ↓B6 / ↓ハガキ / ↓往復ハガキ / ↓リーガル / ↓レター
- 複数ページ印刷 P.67: しない / 2ページ左 / 2ページ右 / 4ページ横左 / 4ページ横右 / 4ページ縦左 / 4ページ縦右
- 複数ページ余白 P.69: パターン1 / パターン2
- ページの向き P.70: 縦 / 横
- オーバレイ1 P.71: しない / 0 / 32767
- オーバレイ2 P.71: しない / 0 / 32767
- スタートアップマクロ P.72: 0 / 30 / 32767
- 漢字コード P.72: JIS / シフトJIS / EUC / DEC
- 文字サイズ P.74: 10ポイント / 12ポイント / 8ポイント
- 漢字書体 P.74: 明朝 / ゴシック
- ANK書体 P.75: 明朝 / ゴシック / ラインプリンタ
- 漢字グラフィックセット P.75: JIS90 / JIS78
- 行数 P.76: 6LPI / 8LPI / 10〜99
- 桁数 P.76: 自動 / 10CPI / 12CPI / 15CPI / 10〜200
- 自動改ページ P.77: する / しない
- 自動改行 P.77: する / しない
- CR機能 P.78: CRのみ / CR+LF
- LF機能 P.78: LFのみ / LF+CR
- 網かけ解像度 P.79: クイック / ファイン
- ジョブタイムアウト P.79: しない / する
- 白紙節約 P.80: 使う / 使わない

N201セットアップ / **ESC/Pセットアップ** → MAP B MAP Bをご参照ください

パネル設定初期化 P.70

ルートマップの見かた

- 拡張機能 ＞＜ ←キー操作
- ←「グループ」の階層をあらわしています。
- コピー枚数 ←「設定項目」の階層をあらわしています。
- 1 / 2000 ←「設定値」の階層をあらわしています。アミがかかっている設定値は、工場出荷時の値をあらわしています。

●ルートマップ中の「┈┈」は、設定値を省略していることをあらわしています。

●「＊」印の設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは、本文中の説明をご覧ください。

●キー操作について
メニュー項目の指定は、操作パネルの∧∨＜＞の4つのキーを使って操作します。
∧ 上の項目に戻る。
∨ 下の項目に進む。または項目を決定する。
＜ 左の項目を選択する。
＞ 右の項目を選択する。

キリトリ線

メニュールートマップ

N201・ESC／P セットアップ編

ルートマップの見かた

●ルートマップ中の「▪┅▪」は、設定値を省略していることをあらわしています。

●「＊」印の設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは、本文中の説明をご覧ください。

●キー操作について
メニュー項目の指定は、操作パネルの∧∨＜＞の４つのキーを使って操作します。
∧ 上の項目に戻る。
∨ 下の項目に進む。または項目を決定する。
＜ 左の項目を選択する。
＞ 右の項目を選択する。

キリトリ線

MAP C
メニュールートマップ
その他のメニュー編
動作モードメニュー
動作モードメニューの操作の流れ→P.24
動作モードメニューを設定する→P.124
優先エミュレーションメニュー
優先エミュレーションメニューの操作の流れ→P.25
優先エミュレーションメニューを設定する→P.127
ユーティリティメニュー
ユーティリティメニューの操作の流れ→P.26
ユーティリティメニューを設定する→P.129
給紙選択メニュー
給紙選択メニューの操作の流れ→P.29
給紙選択メニューを設定する→P.132
両面メニュー
両面メニューの操作の流れ→P.31
両面メニューを設定する→P.135
自動選択
その他のエミュレーションモード
LIPS
N201
ESC/P
HEX-DUMP
LIPS-DUMP
N201
ESC/P
なし
その他のエミュレーションモード
LIPS
ステータスプリント
フラッシュメモリ
その他のエミュレーションモード
LIPSユーティリティ
ステータスプリント P.129
フォントリスト P.129
オーバレイリスト P.129
マクロリスト P.129
フォームリスト P.129
オーバレイプリント P.130
N201ユーティリティ
ステータスプリント P.130
オーバレイプリント P.130
ESC/Pユーティリティ
ステータスプリント P.130
オーバレイプリント P.130
フォントリスト
クリーニング用紙
クリーニング実行
拡張I/F プリント
給紙モード
自動
カセット1
カセット2
カセット3
トレイ
トレイ用紙サイズ
A4
A4R
B4
A3
レター
レターR
リーガル
レジャー
エグゼクティブ
エグゼクティブR
フリー
ユーザペーパー
ハガキ
往復ハガキ
封筒Y4
B6
A5
A5R
B5
B5R
片面
両面
*
「*」印の設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。
詳しくは、本文中の説明をご覧ください。

お客様ご相談窓口について

LASER SHOT LBP-1610の取り扱い方法、消耗品などのお問い合わせ、および修理サービスについてのご相談は、お買い上げの販売店または下記の窓口にご相談ください。

■ 製品取り扱い方法ご相談窓口

技術的なご質問・お取り扱い方法については、下記の窓口にご相談ください。

お客様相談センター　全国共通電話番号　　キヤノンお客様サポートネット

TEL 0570-01-9000 <該当番号：42>*1

全国6４ヶ所の最寄りのサービス拠点までの通話料金のみで製品に関するご質問に電話でお答えします。
なお、携帯電話等をご使用の場合は、（043）211-9627をご利用ください。

上記窓口の受付時間*2は以下のとおりです。

月曜～金曜（祝日を除く）：9:00～12:00、13:00～18:00、19:00～21:00
土、日、祝日（1/1～1/3は休み）：10:00～12:00、13:00～17:00

*1 該当番号は予告なく変更することがあります。音声メッセージに従って該当番号を選択してください。
*2 受付時間は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

■ 消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、上記**お客様相談センター**までご相談ください。

■ 修理サービスのご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。ご不明な場合は、上記**お客様相談センター**までご相談ください。